

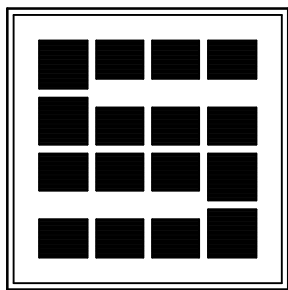
平成 2 8 年 度 箕 輪 町 図 書 館 耐 震 改 修 工 事

平成 2 8 年 7 月

建 築 工 事						電 気 設 備 工 事			機 械 設 備 工 事		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺 A 2	図面番号	図 面 番 号	縮 尺 A 2	図面番号	図 面 番 号	縮 尺 A 2	図面番号	図 面 番 号	縮 尺 A 2
A - 0 1	改修特記仕様書（１）	N.S	S - 0 1	構造特記仕様書	N.S	E - 0 1	改修特記仕様書	N.S	M - 0 1	特記仕様書	N.S
A - 0 2	改修特記仕様書（２）	N.S	S - 0 2	構造標準図－１	N.S	E - 0 2	分電盤図・照明機器姿図	N.S	M - 0 2	機器表・凡例	N.S
A - 0 3	改修特記仕様書（３）	N.S	S - 0 3	構造標準図－２	N.S	E - 0 3	１階 改修後 弱電設備図	1/100	M - 0 3	現状・撤去 １階平面図（暖房設備）	1/100
A - 0 4	改修特記仕様書（４）	N.S	S - 0 4	基礎伏図	1/100	E - 0 4	２階 改修後 弱電設備図	1/100	M - 0 4	現状・撤去 ２階平面図（暖房設備）	1/100
A - 0 5	改修特記仕様書（５）	N.S	S - 0 5	基礎詳細図	1/30	E - 0 5	１階 改修後 電灯コンセント設備図	1/100	M - 0 5	現状・撤去 １階平面図（換気設備）	1/100
A - 0 6	解体工事特記仕様書	N.S	S - 0 6	２階・Ｒ階 梁伏図（改修後）	1/100	E - 0 6	改修後 ２階 電灯コンセント設備図	1/100	M - 0 6	現状・撤去 ２階平面図（換気設備）	1/100
A - 0 7	配置図・付近見取図・仮設計画図	1/600	S - 0 7	Ｙ２・Ｙ３・Ｙ４・Ｙ５ 通り 軸組図（改修後）	1/100	E - 0 7	１階 改修後 自動火災報知設備図	1/100	M - 0 7	改修後 １階 平面図（換気設備）	1/100
A - 0 8	仕 上 表	N.S	S - 0 8	Ｚ１・Ｚ２ 通り 軸組図（改修後）	1/100	E - 0 8	改修後 ２階 自動火災報知設備図	1/100	M - 0 8	改修後 ２階 平面図（換気設備）	1/100
A - 0 9	１階平面図（改修前）	1/100	S - 0 9	Ｘ０・Ｘ３ 通り 軸組図（改修後）	1/100	E - 0 9	現状・撤去 １階 弱電設備図	1/100	M - 0 9	現状・撤去 １階 （衛生設備）	1/100
A - 1 0	１階平面図（改修後）	1/100	S - 1 0	Ｚ１通り 構造詳細図	1/30・1/10	E - 1 0	現状・撤去 ２階 弱電設備図	1/100	M - 1 0	１階 改修後 （衛生設備）	1/100
A - 1 1	２階平面図（改修前）	1/100	S - 1 1	Ｙ２通り 構造詳細図	1/30	E - 1 1	現状・撤去 １階電灯コンセント設備図	1/100			
A - 1 2	２階平面図（改修後）	1/100	S - 1 2	Ｙ５通り 構造詳細図	1/30・1/10	E - 1 2	現状・撤去 ２階幹線・動力・弱電設備図	1/100			
A - 1 3	立面図（改修前）	1/100	S - 1 3	新設水平ブレース 構造詳細図	1/20・1/10	E - 1 3	現状・撤去 １階自動火災報知設備図	1/100			
A - 1 4	立面図（改修後）	1/100				E - 1 4	現状・撤去 ２階自動火災報知設備図	1/100			
A - 1 5	矩 計 図（改修前）	1/40									
A - 1 6	矩 計 図（改修後）	1/40・1/10									
A - 1 7	詳細図－１	1/40									
A - 1 8	詳細図－２	1/30									
A - 1 9	トイレ廻り詳細図	1/40・1/30									
A - 2 0	１階 閲覧室・事務室・司書室 展 開 図	1/50									
A - 2 1	１階 トイレ・ホール 展 開 図	1/50									
A - 2 2	２階 一般閲覧室・会議室 展 開 図	1/50									
A - 2 3	２階 児童閲覧室・ラウンジ・書庫 展 開 図	1/50									
A - 2 4	１階天井伏図（改修前・改修後）	1/100									
A - 2 5	２階天井伏図（改修前・改修後）	1/100									
A - 2 6	建 具 表	1/100									



みのわまち
箕輪町
Mi nowa -Town



創和

株式会社
創和設計

4-1 外壁 改修工事 共通事項		<div>・ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレンー許ビ系等 (4.2.2)</div> <table><tr><th colspan="2">曲げ強さ (N/mm2)</th><th colspan="2">圧縮強さ (N/mm2)</th><th colspan="3">接着強さ (N/mm2)</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2"></th><th>標準時</th><th>湿潤時</th><th>低湿時</th></tr><tr><td colspan="2">6.0以上</td><td colspan="2">20.0以上</td><td>1.0以上</td><td>0.8以上</td><td>0.5以上</td></tr></table> <div>表面状態 だれの下がりは量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</div> <div>・ポリマーセメントスラリー (4.2.2)</div> <table><tr><th>応がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮)</th><th>引張接着性 (材齢28日)</th><th>曲げ性能 (材齢28日)</th><th>吸水性 (72時間)</th><th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th></tr><tr><td>3以上</td><td>3%以下</td><td>0.5N/mm2以上</td><td>5.0N/mm2以上</td><td>15%以下</td><td>5.0N/mm2以上</td></tr></table> <div>保水係数 0.35～0.55 粘弾係数 0.50～1.00</div> <div>・吸水調整材 (4.2.2)</div> <table><tr><th>項目</th><th>全固形分 (%)</th><th>吸水性 (g)</th><th>接着強さ (N/mm2)</th><th>界面破壊率 (%)</th></tr><tr><td>品質・性能</td><td>表示値±1%以内</td><td>30分間で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50%以上</td></tr></table> <div>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</div>	曲げ強さ (N/mm2)		圧縮強さ (N/mm2)		接着強さ (N/mm2)							標準時	湿潤時	低湿時	6.0以上		20.0以上		1.0以上	0.8以上	0.5以上	応がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上	項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm2)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上	4. 浮き部改修工法	<table><tr><th colspan="2">改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)</th><th>フカビ」の本数 (本/m)</th><th>注入口の箇所数 (箇所/m)</th><th>充てん量</th></tr><tr><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th><th>注入力</th></tr><tr><td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td colspan="2"></td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※50ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td colspan="2"></td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※50ml</td></tr></table> <div>アンカーピン 材質 ※ｽﾎﾟﾗｽSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・</div> <div>注入口付アンカーピン 材質 ※ｽﾎﾟﾗｽSUS304、呼び径外径6mm ・</div>	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)		フカビ」の本数 (本/m)	注入口の箇所数 (箇所/m)	充てん量	一般部	指定部	一般部	指定部	注入力	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50ml	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml	4-5 ①既存塗膜等の除去 及び下地処理	<div>既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 (4.6.3) (表4.6.1～表4.6.4)</div> <table><tr><th>工 法</th><th>処 理 範 囲</th><th>下 地 面 の 補 修</th></tr><tr><td>・サンダー工法</td><td>※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)</td><td>4-1又は4-3による</td></tr><tr><td>※高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上</td><td>※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の劣化部とする)</td><td></td></tr><tr><td>・塗膜はく離削工法</td><td>※既存仕上面全体</td><td></td></tr><tr><td>・水洗い工法</td><td>※上記処理範囲以外の既存仕上面全体</td><td></td></tr></table> <div>※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル (※C-1 ・C-2 ・) ・防水形仕上げ塗材主材を使用</div> <div>種類、仕上げの形状、工法 (4.1.4) (4.2.2) (表4.2.3) (表4.2.4)</div> <table><tr><th>種 類</th><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th></tr><tr><td>・薄付け仕上塗材</td><td>・外装薄塗材 S i ・可とう形外装薄塗材 S i ・外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E ・防水形外装薄塗材 E ・外装薄塗材 S</td><td>・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 ・砂壁状</td></tr><tr><td>・複層仕上塗材</td><td>・複層塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E ・防水形複層塗材 R S</td><td>・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 耐候性 ※耐候性3種 ・上塗材 消媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う</td></tr><tr><td>○可とう系改修用 仕上塗材</td><td>○可とう系改修塗材 E ・可とう系改修塗材 R E ・可とう系改修塗材 C E</td><td>・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状</td></tr></table> <div>防水材料の指定が必要な場合 ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。</div>	工 法	処 理 範 囲	下 地 面 の 補 修	・サンダー工法	※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	4-1又は4-3による	※高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上	※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の劣化部とする)		・塗膜はく離削工法	※既存仕上面全体		・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体		種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i ・可とう形外装薄塗材 S i ・外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E ・防水形外装薄塗材 E ・外装薄塗材 S	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 ・砂壁状	・複層仕上塗材	・複層塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E ・防水形複層塗材 R S	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 耐候性 ※耐候性3種 ・上塗材 消媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う	○可とう系改修用 仕上塗材	○可とう系改修塗材 E ・可とう系改修塗材 R E ・可とう系改修塗材 C E	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	②下地調整材	③仕上げ塗材仕上げ	4-2 外壁 改修工事 コンクリート 打放し仕 上げ外壁	1. ひび割れ部改修工法	<div>※樹脂注入工法 (4.1.4) (4.3.4～4.3.6)</div> <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入力 (ml/m)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ 樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0以下</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂 注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>※50～100</td><td>※40</td><td>・</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂 注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>※100～200</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂 注入工法</td><td>0.5以上～1.0以下</td><td>※150～250</td><td>※130</td><td>・</td></tr></table> <div>注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形) ・</div> <div>検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取部の補修方法:)</div> <div>・ウカットシール材充てん工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)</div> <table><tr><th>充てん材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1 成形成又は2 成形成 ポリウレタン系シーリング材 ・</td><td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td></td><td></td></tr></table> <div>・シール工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.6)</div> <table><tr><th>シール材料</th><th>品質・規格等</th></tr><tr><td>・パテ状エポキシ樹脂</td><td></td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td></td></tr></table> <div>2. 欠損部改修工法</div> <div>※充てん工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)</div> <table><tr><th>シール材料</th><th>品質・規格等</th></tr><tr><td>・エポキシ樹脂モルタル</td><td></td></tr><tr><td>・ポリマーセメントモルタル</td><td></td></tr></table>	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入力 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ 樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※		・手動式エポキシ樹脂 注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・	・機械式エポキシ樹脂 注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・	・手動式エポキシ樹脂 注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・	充てん材料	品質・規格等	備 考	・シーリング用材料	※1 成形成又は2 成形成 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う	・可とう性エポキシ樹脂			シール材料	品質・規格等	・パテ状エポキシ樹脂		・可とう性エポキシ樹脂		シール材料	品質・規格等	・エポキシ樹脂モルタル		・ポリマーセメントモルタル		4-4 外壁 改修工事 タイル 張り仕 上げ外壁	1. 既存タイル張りの撤去	<div>・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・薄付けモルタルまで ・タイルのみ</div>	2. ひび割れ部改修工法	<div>改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) (4.1.4) (4.3.4) (4.4.5)</div> <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入力 (ml/m)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ 樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0以下</td><td>※200～300</td><td>※</td><td></td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂 注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>※50～100</td><td>※40</td><td>・</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂 注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>※100～200</td><td>※70</td><td>・</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂 注入工法</td><td>0.5以上～1.0以下</td><td>※150～250</td><td>※130</td><td>・</td></tr></table> <div>注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取部の補修方法:)</div> <div>・ウカットシール材充てん工法 (既存タイル張り撤去面) (4.1.4) (4.2.2) (4.4.3)</div> <table><tr><th>充てん材料</th><th>品質・規格等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・シーリング用材料</td><td>※1 成形成又は2 成形成 ポリウレタン系シーリング材 ・</td><td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う</td></tr><tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td></td><td></td></tr></table> <div>・タイル部分張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.5.7)</div> <table><tr><th>接着剤の種類</th><th>品質・規格等</th></tr><tr><td>※ポリマーセメントモルタル ・変成シリコン樹脂 ・エポキシ樹脂 ・ポリウレタン樹脂 ・シリコン樹脂 ・タイル部分張替え工法用接着剤</td><td>『建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装 タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)』における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基 準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1 であって監督 職員の承諾するもの又は特記による。</td></tr></table> <div>・タイル張替え工法 (4.1.4) (4.5.8) 伸縮目地調整及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修</div>	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入力 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ 樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※		・手動式エポキシ樹脂 注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・	・手動式エポキシ樹脂 注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・	・機械式エポキシ樹脂 注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・	充てん材料	品質・規格等	備 考	・シーリング用材料	※1 成形成又は2 成形成 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う	・可とう性エポキシ樹脂			接着剤の種類	品質・規格等	※ポリマーセメントモルタル ・変成シリコン樹脂 ・エポキシ樹脂 ・ポリウレタン樹脂 ・シリコン樹脂 ・タイル部分張替え工法用接着剤	『建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装 タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)』における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基 準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1 であって監督 職員の承諾するもの又は特記による。
曲げ強さ (N/mm2)		圧縮強さ (N/mm2)		接着強さ (N/mm2)																																																																																																																																																																																																																				
				標準時	湿潤時	低湿時																																																																																																																																																																																																																		
6.0以上		20.0以上		1.0以上	0.8以上	0.5以上																																																																																																																																																																																																																		
応がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																																																			
3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上																																																																																																																																																																																																																			
項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm2)	界面破壊率 (%)																																																																																																																																																																																																																				
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上																																																																																																																																																																																																																				
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)		フカビ」の本数 (本/m)	注入口の箇所数 (箇所/m)	充てん量																																																																																																																																																																																																																				
一般部	指定部	一般部	指定部	注入力																																																																																																																																																																																																																				
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25			※25ml																																																																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml																																																																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50ml																																																																																																																																																																																																																			
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16			※25ml																																																																																																																																																																																																																			
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml																																																																																																																																																																																																																			
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml																																																																																																																																																																																																																			
工 法	処 理 範 囲	下 地 面 の 補 修																																																																																																																																																																																																																						
・サンダー工法	※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	4-1又は4-3による																																																																																																																																																																																																																						
※高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上	※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の劣化部とする)																																																																																																																																																																																																																							
・塗膜はく離削工法	※既存仕上面全体																																																																																																																																																																																																																							
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																																																																																																																																							
種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状																																																																																																																																																																																																																						
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i ・可とう形外装薄塗材 S i ・外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E ・防水形外装薄塗材 E ・外装薄塗材 S	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 ・砂壁状																																																																																																																																																																																																																						
・複層仕上塗材	・複層塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E ・防水形複層塗材 R S	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 耐候性 ※耐候性3種 ・上塗材 消媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う																																																																																																																																																																																																																						
○可とう系改修用 仕上塗材	○可とう系改修塗材 E ・可とう系改修塗材 R E ・可とう系改修塗材 C E	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状																																																																																																																																																																																																																						
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入力 (ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																																																				
※自動式低圧エポキシ 樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※																																																																																																																																																																																																																					
・手動式エポキシ樹脂 注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・																																																																																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂 注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・																																																																																																																																																																																																																				
・手動式エポキシ樹脂 注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・																																																																																																																																																																																																																				
充てん材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																						
・シーリング用材料	※1 成形成又は2 成形成 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う																																																																																																																																																																																																																						
・可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																								
シール材料	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																							
・パテ状エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																								
・可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																								
シール材料	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																							
・エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																																																								
・ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																								
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入力 (ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																																																				
※自動式低圧エポキシ 樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※																																																																																																																																																																																																																					
・手動式エポキシ樹脂 注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・																																																																																																																																																																																																																				
・手動式エポキシ樹脂 注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・																																																																																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂 注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・																																																																																																																																																																																																																				
充てん材料	品質・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																						
・シーリング用材料	※1 成形成又は2 成形成 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う																																																																																																																																																																																																																						
・可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																								
接着剤の種類	品質・規格等																																																																																																																																																																																																																							
※ポリマーセメントモルタル ・変成シリコン樹脂 ・エポキシ樹脂 ・ポリウレタン樹脂 ・シリコン樹脂 ・タイル部分張替え工法用接着剤	『建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装 タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)』における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基 準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1 であって監督 職員の承諾するもの又は特記による。																																																																																																																																																																																																																							

6

内装改修工事

7. 防腐・防蟻処理

防腐処理 ※行う（※図示あり）（表6.5.2）
防蟻処理 ※行う（※図示あり）
種類、品質
※表面処理用木材保存（防腐、防蟻）剤は、監督職員の承諾するものとする
※クロルピリホスを含むものを添加しないこと。

8. 床板張り用合板及びその他の合板

(表6.5.11)

種別	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表板の樹種名・品質等級・性能等	防虫処理	その他処理	間伐材等の適用
・普通合板		※1種・2種	・図示	・あり・なし	・難燃処理・なし	・難燃処理・なし	・
・天然木化粧合板		・特種※1種	・図示	・あり・なし	・難燃処理・なし	・防災処理	・
・構造用合板		・1種・2種	・図示	・あり・なし	・難燃処理・なし	・防災処理	・
・特殊加工化粧合板		・1種・2種	・図示	・あり・なし	・難燃処理・なし	・防災処理	・

⑨軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類（表6.6.2）（表6.6.1）
屋外（※19形・25形） 屋内（※19形・25形）
既存の埋込インサート ○使用する ・使用しない（表6.6.3）（表6.4）
あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う ・行わない（表6.4）
※天井ふところ1.5m以上の場合は吊りボルトの補強を行う
※天井ふところ3.0mを超える場合の補強 ※図示
耐震性を考慮した補強 ※図示
屋外軒天井及びビロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ※図示

⑩軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示あり（表6.7.3）（表6.7.1）

11. 床用塗料塗り

材料 ウレタン樹脂系塗料（※標準色あり）
仕上種類 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ
塗布量 プライマー塗りのうえ主剤3回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする

12. 防塵用塗料塗り

材料 水性アクリル系塗料（※標準色あり）
仕上種類 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ
塗布量 プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする

13. ビニル床シート張り

(表6.8.2)

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※NC	・無地	※2.5 ○2.0
・発泡層のあるもの		※柄物	・無地
・			
・			

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所：）（表6.8.3）

⑭ビニル床タイル張り

(表6.8.2)

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	K T	※2.0	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	C T S	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	H T	・2.0	
・			

15. 帯電防止床タイル張り

(表6.8.2)

種類	厚さ(mm)	性能
・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値(JIS K 6911による)1.0×10 ⁹ Ω以下、または、漏えい抵抗値(JIS A 1454による)×10 ¹⁰ Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	
・	・	
・	・	

16. 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする
屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300あり）
・レジンコンクリート製
屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300あり）

⑰ビニル幅木

高さ(mm) ・60 ・75 ○100（表6.8.2）

18. 合成樹脂塗床

(表6.10.3)(表6.10.3～表6.10.7)

種別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種

19. フローリング張り

(表6.11.2～6.11.7)(表6.11.1～表6.11.4)

種別	材種	工法	仕上り塗装等	間伐材等の適用
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法(C種)	※塗装品	・
・単層フローリング	・ひのき	・	・無塗装品	・
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

20. 畳敷き

(表6.12.2)(表6.12.3)(表6.12.1)

下地の種類	量の種類
改修構仕表6.5.9による床組	・A種 ※B種 ・C種 ・D種()
ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロンのもの)	※C種 ・D種()

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

21. ポリスチレンフォーム床下地材

ノンフロンのもの
畳下地 厚さ(mm) ※40 ・65 ・80 (不燃)
フローリング類 厚さ(mm) ※80 ・95 (不燃)

22. カーベット敷き

・織じゅうたん（表6.9.2）（表6.9.3）（表6.9.1）（表6.9.2）

種別	バイエル形状	色柄等	備考
・A種	・カットバイエル	※無地	
・B種	・ループバイエル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループバイエル併用	・	

帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

23. タフテッドカーベット

(表6.9.2)(表6.9.3)(表6.9.2)

バイエル形状	バイエル長(mm)	工法	備考
・カットバイエル	※5～7	※全面接着工法	
・ループバイエル	※4～6	・グリッパー工法	
・カット、ループ併用	・	・	

帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

24. タイルカーベット

(表6.9.2)(表6.9.3)(表6.9.2)

バイエル形状	種別	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ループバイエル	※第一種	※500×500	※6.5	
	・第二種	・	・	
・カットバイエル	・	・	・	
・カット、ループ併用	・	・	・	

帯電性 ※人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア設範囲）

25. セっこうボードその他ボード張り

(表6.13.2)(表6.13.1)

種類	厚さ(mm)、規格等
・硬質毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
・普通毛セメント板	・15 ・20 ・25 ・
・硬質木片セメント板	・15 ・20 ・25 ・
・普通木片セメント板	・30 ・
○けい酸カルシウム板	※0.8FK タイプ2（無石棉）○6 ・8 ・（ ） ・化粧ボード（ ・ ・ ）
○ロックウール化粧吸音板	※フラットタイプ（※9(不燃) ・12 ・（ ） ・凹凸タイプ（※12(不燃) ・15 ・19 ・（ ）
○せっこうボード	※2.5（不燃） ○9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
・シーシングせっこうボード	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	・12.5（不燃） ・15.0（不燃）
○せっこうラスボード	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	12.5（不燃） 幅40度程度 模様（※径目 ・径目）専用下地材付き
○普通合板（難燃処理）	・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による 厚さ1.2
・びんざり化粧板（「べー」ド）	・3 ・7 ・9 ・12
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板WN ・研磨板VS ・10 ・12 ・15 ・18
・ハードボード（素地）	・素地 ・RH-B ・RS-H ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード	・T-IB ・A-IB ・S-IB ・9 ・12 ・15 ・18
・ロックウール吸音ボード1号	※25
・グラスウール吸音ボード32K	※25

合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材

(表9.7.2)[表9.6.1]
※適用する（ ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド）
・適用しない

24. 吸音材

(表6.13.1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25 ・
・グラスウール吸音ボード64K	GW-B	※25 ・

25. 壁紙張り

(表6.14.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考
	紙	繊維(織物)	ブラ(ビニル)	その他(化学繊維)	無機質		
該当室	・	・	○	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃 ・難燃	

素地ごしらえ（表6.14.3）（表7.2.4）（表7.2.7）
モルタル、プラスター面 ※RB種 ・RA種（施工箇所：）
せっこうボード面 ※RB種 ・RA種（施工箇所：）
壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種

26. モルタル塗り材料

(表6.15.3)

吸水調整材	全固成分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/㎠)	界面破壊率(%)
	表示値±1.0以内	30分で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）

防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤（JIS A 1404による試験）

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験8において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294.0kPa/h

膨張性のひび割れ及びそりがないこと JIS R 5201の試験9
既装目地材 ※適用しない ・適用する

27. 陶磁器質タイル張り

(表6.16.3)

施工箇所	形状寸法(mm)	給水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材耐凍害性	備考
		I類 II類 III類	施ゆう	無ゆう	有 無 標準	特注	適用 有 無
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き ※行わない ・行う（※ 外壁タイル ・ ）
内壁タイル ※壁タイル接着剤張り ・積上げ張り

28. 新熱材

[19.9.2][19.9.3]

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・押出法 ポリスチレンフォーム 保温材	※2種b ・ ※3種b（※4層付）	※一般部 ・	

耐震改修工事	8	<div><一般事項> ①適用範囲</div> <div><鉄筋> ②鉄筋の種類</div> <div>3溶接金網</div> <div>④鉄筋の継手</div> <div>5帯筋</div> <div>⑥鉄筋のかぶり厚さ</div> <div>7圧接完了後の試験</div> <div><コンクリート> ⑧コンクリートの類別及び強度</div> <div>⑨普通コンクリートの材料</div>	※改修特記仕様書1仕様書1工事概要3工事項目に掲げる下記の工事項目番号 (番号〇～番号〇までの工事項目)のうち、改修標仕8.1.1適用範囲に定める工事内容 ・改修特記仕様書1仕様書1工事概要3工事項目に掲げる下記の工事項目番号 (番号〇～番号〇までの工事項目)のうち、改修標仕8.1.1適用範囲に定めるもの以外の工事内容 [8.2.1] [表8.2.1] <table><tr><th>規格の名称</th><th>種類の記号</th><th>使用箇所</th><th>呼び径(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)</td><td>○SD295A</td><td></td><td>※D16以下</td></tr><tr><td>○SD345</td><td></td><td>※D19以上</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 形状等 [8.2.2] <table><tr><th>種類</th><th>種類の記号</th><th>網目の形状、寸法、鉄筋の径(mm)</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>・溶接金網</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 継手方法 [8.3.4] <table><tr><th>適用箇所</th><th>継手方法及び適用径の範囲</th></tr><tr><td>・柱主筋</td><td>・ガス圧接(D19以上)</td></tr><tr><td>・梁主筋</td><td>・ガス圧接(D19以上)</td></tr><tr><td>・耐力壁</td><td>・重ね継手</td></tr><tr><td>○基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など</td><td>・ガス圧接() ○重ね継手()</td></tr></table> 鉄筋の継手位置 [8.3.4] [表8.3.2] [表8.3.3] ・構造図()による ・ 重ね継手 主筋及び耐力壁の重ね長さ ・構造図()による ・ 組立の形の種別 [8.3.4] ・構造図()による ・ 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ○改修標仕表8.3.6による ・構造図()による ・ 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ○無し ・有り 適用箇所() 主筋のかぶり厚さ ・最小かぶり厚さ()mm ・ 特殊な要求性能におけるコンクリートの部分(耐久性上不利な部分) ・無し ・有り 適用箇所() ・改修標仕表8.3.6に加える厚さ()mm ・ ・超音波探傷試験 [8.3.8] [5.4.9] [5.4.10] 箇所数 ・全圧接部 適用箇所 ・構造図()による ・標仕5.4.9(2)(i)による箇所数 適用箇所 ・構造図()による ・引張試験 適用箇所 ・構造図()による (5.4.9) (5.4.10)	規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径(mm)	鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	○SD295A		※D16以下	○SD345		※D19以上					種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄筋の径(mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子				適用箇所	継手方法及び適用径の範囲	・柱主筋	・ガス圧接(D19以上)	・梁主筋	・ガス圧接(D19以上)	・耐力壁	・重ね継手	○基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など	・ガス圧接() ○重ね継手()	⑩混和材料 ⑪モルタル及びグラウト材 ⑫型枠 ⑬無筋コンクリート ⑭高い強度のコンクリート ⑮あと施工アンカーの材料 ⑯あと施工アンカーの材料 ⑰あと施工アンカーの施工確認試験	①混和剤 (JIS A 6204に適合するA E剤、A E減水剤又は高性能A E減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。) ・混和材 (JIS A 6201に適合するフライアッシュのI種又はII種、JIS A 6206に適合よる高炉スラグ微粉末又はJIS A 6202に適合する膨張材) [8.2.5] [8.5.8] [8.2.10] [8.5.10] ・構造体用モルタル 材料 ・改修標仕 [8.2.5] 圧縮強度 ・構造図()による フロー値 ・構造図()による ①グラウト材 ○無収縮グラウト材(プレミックス形及び現場混合形) 圧縮強度 ○構造図(S-01)による ・ 無収縮グラウト材の品質・性能及び試験方法 <table><tr><td>混和材</td><td>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。</td></tr><tr><td>セメント</td><td>JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通または早強ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><td>砂</td><td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場混合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</td></tr></table> 無収縮グラウトの品質及び試験方法(現場混合形においては標準使用量・配合値) <table><tr><td>コンシステンシー</td><td>Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒</td></tr><tr><td>ブリージング</td><td>練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下</td></tr><tr><td>凝結時間</td><td>凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内</td></tr><tr><td>無収縮性</td><td>材齢7日 収縮しないこと</td></tr><tr><td>圧縮強度</td><td>材齢3日 2.0N/mm²以上² 材齢28日 3.0.0N/mm²以上²</td></tr><tr><td>付着強度</td><td>材齢28日 2.5N/mm²以上²</td></tr><tr><td>塩化物質</td><td>0.30kg/㎡以下</td></tr><tr><td>試験方法</td><td>1) 日本道路公団規格 (JHS) 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。なお、プレミックス形と現場混合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物質の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</td></tr></table> せき板の材料 [8.2.6] ○合板 ・床型特用鋼製デッキプレート ・ スリーブの材質 [8.2.6] [表8.2.4] ・改修標準仕様書 8.2.6(f) (2) 及び改修標準仕様書 表8.2.4による ・ 打増し厚さ [8.7.9] ○打増し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ○20mm ・打増し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・床型特用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ・10mm ・20mm 打増し範囲 ・恵広図による ・構造図()による(床型特用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し部に限る。)	混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。	セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通または早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場混合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	コンシステンシー	Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒	ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下	凝結時間	凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内	無収縮性	材齢7日 収縮しないこと	圧縮強度	材齢3日 2.0N/mm ² 以上 ² 材齢28日 3.0.0N/mm ² 以上 ²	付着強度	材齢28日 2.5N/mm ² 以上 ²	塩化物質	0.30kg/㎡以下	試験方法	1) 日本道路公団規格 (JHS) 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。なお、プレミックス形と現場混合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物質の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	<鉄骨> ⑬鉄骨製作工場 ⑭縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 20入熱、バス間温度の溶接条件 ⑭鋼材 ⑭高力ボルト 23溶融亜鉛めっき高力ボルト ⑭溶接溶接 ⑭溶接部の試験 ⑭構止め塗装 27耐火被覆材	製作工場の加工能力 [8.1.5] ※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(M) グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承認する製作工場 施工管理技術者 ※適用する ・適用しない 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等 ※構造図(S-03)による ※構造図(S-03)による 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・構造図()による ・ JIS 2 S312 による。 適用箇所 ・構造図()による ・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 鋼材の材質 [8.2.7] [表8.2.5] <table><tr><th>種類の記号</th><th>適用箇所</th><th>規格等</th></tr><tr><td>SN400B</td><td>鋼板類</td><td>※JIS規格による</td></tr><tr><td>SS400</td><td>その他</td><td>※JIS規格による</td></tr><tr><td>SSC400</td><td>軽量鋼材</td><td>※JIS規格による</td></tr></table> 区分 ○トルシ形高力ボルト 2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト 2種 (F10T) 高力ボルトの径 ※構造図による すべり係数試験 ※行わない ・行う セットの種類 [8.13.2] ・1種 (F8T相当) 摩擦面の処理 [7.12.4] ※ プラス処理(表面粗度50μmR以上) ・りん酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ・構造図()による スカラップの形状 [8.14.7] ○改良型 エンドタブの切除 ○行なう 適用箇所 ○全て ・構造図()による ・行なわない 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 [8.14.11~12] ※行う 塗料の種類 [8.16.2] [8.16.3] [7.3.2] [表7.3.1] [表7.3.2] 鉄鋼面 <table><tr><th>種類</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>○改修標仕 表7.8.1</td><td>○屋外(改修標仕8.16.2の範囲以外)</td></tr><tr><td>○改修標仕 表7.3.1 A種</td><td>○屋内(改修標仕8.16.2の範囲以外)</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> 亜鉛めっき面 <table><tr><th>種類</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・改修標仕 表7.3.2 A種</td><td>・屋外、屋内</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> 鋼製スリーブの内側(既存に溶接されたもの) <table><tr><th>種類</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・改修標仕 表7.3.1 A種</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> 種別等 [7.9.2~7] [8.17.2] <table><tr><th>種別</th><th>材料・工法</th><th>適用箇所(部位・部分)</th></tr><tr><td>・耐火材吹付け</td><td>・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・</td><td>P・S 押出成形セメント板上部</td></tr><tr><td>・耐火板張り</td><td>・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・</td><td></td></tr><tr><td>・耐火材巻付け</td><td>・高耐熱ロックウール ・</td><td></td></tr><tr><td>・9張り目移し建り</td><td>—</td><td></td></tr></table> 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。 性能 <table><tr><th>性能</th><th>適用箇所(部位・部分)</th></tr><tr><td>・30分耐火</td><td></td></tr><tr><td>・1時間耐火</td><td></td></tr><tr><td>・2時間耐火</td><td></td></tr><tr><td>・3時間耐火</td><td></td></tr></table>	種類の記号	適用箇所	規格等	SN400B	鋼板類	※JIS規格による	SS400	その他	※JIS規格による	SSC400	軽量鋼材	※JIS規格による	種類	適用箇所	○改修標仕 表7.8.1	○屋外(改修標仕8.16.2の範囲以外)	○改修標仕 表7.3.1 A種	○屋内(改修標仕8.16.2の範囲以外)	・	・	種類	適用箇所	・改修標仕 表7.3.2 A種	・屋外、屋内	・	・	種類	適用箇所	・改修標仕 表7.3.1 A種	・	・	・	種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・	P・S 押出成形セメント板上部	・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・		・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール ・		・9張り目移し建り	—		性能	適用箇所(部位・部分)	・30分耐火		・1時間耐火		・2時間耐火		・3時間耐火		⑬アンカーボルト ⑭柱底均しモルタル 30デッキプレート 31スタッドボルト 32溶融亜鉛めっき 34現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 35柱補強 36連続繊維シート巻き 37スリットの施工	材質 [7.2.4] ○構造用 ・SNR400B ・SNR490B ○ABR400B ・建方用 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げ ・構造用 ※ JSS II 13-2004 「(社)日本鋼構造協会規格／建築構造用軌道」 ねじアンカーボルト・ナット・座金のセット」 ・ ・建方用 ※ 普通ボルトによる ・ 保持及び埋込み工法 [7.10.3] (表7.10.1) ・構造用 ※ 構造図による ・建方用 ・標仕 表7.10.1 (・A種 ・B種 ・C種) による モルタルの種別 [7.2.9] (7.10.3) (表7.10.1) [8.2.10] ○無収縮モルタル 圧縮強度 ・構造図()による 無収縮モルタルの材料及び調査 材料、調査等 ・標仕 7.2.9による 品質及び試験方法 ・標仕 表7.2.6による 工法の種別 ・標仕 表7.10.2 ・A種 [モルタル厚さ50] ・B種 [モルタル厚さ50] 工法の種別 [7.2.7] ・合成スラブ ・床型特用 ・デッキ構造 材質、形状及び寸法 ・溶融亜鉛めっき鋼板 t=1.2 H=75・構造図()による 鉄骨部材への溶接方法 ・アークスポット溶接 ・構造図()による 耐火認定 ・あり ・なし [7.2.5] <table><tr><th>径(呼び名)</th><th>長さ(呼び長さ) mm</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>16φ</td><td>・80 ・100 ・120</td><td></td></tr><tr><td>19φ</td><td>・80 ・100 ・150 ・190</td><td></td></tr><tr><td>22φ</td><td>・80 ・100 ・130 ・150</td><td></td></tr></table> 種別等 [7.12.3] (表14.2.2) 亜鉛めっきの種別 材料 適用箇所 A種 (HD255) 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板 B種 (HD245) 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板 C種 (HD235) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板 ※構造図による ・ 既存コンクリートの目荒らしの程度 ○既存柱、梁面 打継ぎ面の15～30%程度 ○既存壁 打継ぎ面の10～15%程度 ・ 既存コンクリートの目荒らしの範囲 ○平均深さ 2～5mm (最大7mm) 程度の凹面を、全体にわたってつける。 ・ コンクリートの打込み工法の種類 [8.19.8] [8.21.5] ・流込み工法 ・圧入工法 柱補強 [8.21.5] ・溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 [8.21.6] ・鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 [8.21.7] ・連続繊維補強工法 材料・形状 [8.2.11] 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度(含浸硬化後) ・2500N/mm ² 以上 ・3000N/mm ² 以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 ⁵ N/mm ² 程度 ・2.00×10 ⁵ N/mm ² 以上 工法 [8.21.7] ※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 ひび割れ部の改修工法の種類 [8.21.7] ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法 柱の隅角部の面取り [8.21.7] ※工法の詳細内容による スリット部の配管等の調査 [8.22.2] ※調査器により調査し、配管等の位置の墨出を行う ・はつり出し	径(呼び名)	長さ(呼び長さ) mm	適用箇所	16φ	・80 ・100 ・120		19φ	・80 ・100 ・150 ・190		22φ	・80 ・100 ・130 ・150	
	規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径(mm)																																																																																																																																					
	鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	○SD295A		※D16以下																																																																																																																																					
		○SD345		※D19以上																																																																																																																																					
	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄筋の径(mm)	使用部位																																																																																																																																					
	・溶接金網																																																																																																																																								
	・鉄筋格子																																																																																																																																								
	適用箇所	継手方法及び適用径の範囲																																																																																																																																							
	・柱主筋	・ガス圧接(D19以上)																																																																																																																																							
・梁主筋	・ガス圧接(D19以上)																																																																																																																																								
・耐力壁	・重ね継手																																																																																																																																								
○基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など	・ガス圧接() ○重ね継手()																																																																																																																																								
混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。																																																																																																																																								
セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通または早強ポルトランドセメントとする。																																																																																																																																								
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場混合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。																																																																																																																																								
コンシステンシー	Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒																																																																																																																																								
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下																																																																																																																																								
凝結時間	凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内																																																																																																																																								
無収縮性	材齢7日 収縮しないこと																																																																																																																																								
圧縮強度	材齢3日 2.0N/mm ² 以上 ² 材齢28日 3.0.0N/mm ² 以上 ²																																																																																																																																								
付着強度	材齢28日 2.5N/mm ² 以上 ²																																																																																																																																								
塩化物質	0.30kg/㎡以下																																																																																																																																								
試験方法	1) 日本道路公団規格 (JHS) 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。なお、プレミックス形と現場混合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物質の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。																																																																																																																																								
種類の記号	適用箇所	規格等																																																																																																																																							
SN400B	鋼板類	※JIS規格による																																																																																																																																							
SS400	その他	※JIS規格による																																																																																																																																							
SSC400	軽量鋼材	※JIS規格による																																																																																																																																							
種類	適用箇所																																																																																																																																								
○改修標仕 表7.8.1	○屋外(改修標仕8.16.2の範囲以外)																																																																																																																																								
○改修標仕 表7.3.1 A種	○屋内(改修標仕8.16.2の範囲以外)																																																																																																																																								
・	・																																																																																																																																								
種類	適用箇所																																																																																																																																								
・改修標仕 表7.3.2 A種	・屋外、屋内																																																																																																																																								
・	・																																																																																																																																								
種類	適用箇所																																																																																																																																								
・改修標仕 表7.3.1 A種	・																																																																																																																																								
・	・																																																																																																																																								
種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																																							
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・	P・S 押出成形セメント板上部																																																																																																																																							
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・																																																																																																																																								
・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール ・																																																																																																																																								
・9張り目移し建り	—																																																																																																																																								
性能	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																																								
・30分耐火																																																																																																																																									
・1時間耐火																																																																																																																																									
・2時間耐火																																																																																																																																									
・3時間耐火																																																																																																																																									
径(呼び名)	長さ(呼び長さ) mm	適用箇所																																																																																																																																							
16φ	・80 ・100 ・120																																																																																																																																								
19φ	・80 ・100 ・150 ・190																																																																																																																																								
22φ	・80 ・100 ・130 ・150																																																																																																																																								
		株式会社 創和設計 [8.19.3] [8.20.3] [8.21.3] [8.19.3] [8.20.3] [8.21.3] [8.19.8] [8.21.5] [8.21.7] [8.21.7] [8.22.2]																																																																																																																																							
		図面名称 改修特記仕様書(5) 年月日 27・07																																																																																																																																							
		工事名称 平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事 図面番号 A-05 / 63																																																																																																																																							

平成２８年度　箕輪町図書館耐震改修工事
解体工事特記仕様書

I 解体工事概要

１．工事場所

長野県　上伊那郡　箕輪町大字中箕輪　１０２９５番地－１

２．敷地面積（㎡）

１、５２６　㎡

３．除却対象物

○建築物　　　・工作物　　　○建築設備　　　・家具等　　　・樹木　　　・その他

除却対象建築物等	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
図書館	S	2F	15.3	20.7	319.0	547.0

II 解体工事仕様

１．共通仕様

(１)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。))により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成22年版)」(以下「標準仕」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成22年度版)」(以下、「改修標準仕」という。))による。

２．特記仕様

(１)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(２)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
(３)特記事項に記載の(. . .)内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

章	項	目	特記事項									
1一般共通事項	①適用基準等	○工事写真の撮り方（改訂第三版）建築編 ○長野県建築工事の手引き ○建築物解体工事共通仕様書・同解説 ○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） ○建設副産物適正処理推進要綱（以下「推進要綱」という。） ○建設工事公衆災害防止対策要綱　建築工事編 ○長野県建設リサイクル推進指針	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 長野県建設施設課監修 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成24年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成22年版） 平成10年12月1日建設省経建策第333号 平成5年1月12日建設省経建策第1号									
	②電気保安技術者	※適用する ・適用しない	(1.3.3)									
	3.施工条件明示項目	・（ ）による	(1.3.5)									
	4.引渡しを要するもの	※引渡しを要するもの <table border="1"><thead><tr><th>名 称</th><th>仕 様 等</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ・現場説明書による	名 称	仕 様 等	備 考							(1.3.10)
	名 称	仕 様 等	備 考									
⑤解体工事施工技士	本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。											
2仮設工事	①足場その他	足場を設ける場合、「『手すり先行工法に関するガイドライン』について」（厚生労働省平成２1年４月）の『手すり先行工法等に関するガイドライン』によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。	<2. 1>									
	2 騒音・粉塵等の対策	騒音・粉塵等の対策 ※防音パネル ・防音シート 設置範囲及び高さ ※(図示 / 図による)	<2. 1>									
	③監督員事務所	・既存建物内の一部を使用する ・構内に設置する ○設けない	<2. 3. 1>									
	④工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・ 無償）										
	⑤工事用電力	構内既存の施設 ◎利用できない ・利用できる（※有償 ・ 無償）										
3解体施工	1 杭の解体	・行う ・行わない 杭の解体工法 ・引抜き工法 ・破砕による解体	<3. 8. 2>									
	2 樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 ・行う（ / 図による）	<3. 9. 1>									
	3 地下埋設物・埋設設備	地下埋設物及び埋設配管の解体 ・行う（ / 図による）	<3.10. 1>									
	④設備機器等	解体事前処理（油類タンク） ・解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。 ・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。 解体事前処理（冷媒） ・冷媒を屋外機にポンプダウンした後撤去を行う機器は下記による。 <table border="1"><thead><tr><th>図面番号</th><th>記 号</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table>	図面番号	記 号								
	図面番号	記 号										

●冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。

図面番号	記 号

5 屋外設備等

電柱の撤去 ・行う（ / 図による） ・行わない
外灯の撤去 ・行う（ / 図による） ・行わない

6 解体後の整地

解体後の埋戻し及び盛土
・行う
 整地高さ
 ・現状G.L. ・行う（ / 図による）
 埋戻し及び盛土の材料
 ・山砂の種類 ・他現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂
 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。
・行わない

<3.11. 1>

<4. 1. 1>

建設廃棄物の種類	備 考
○コンクリート	
○コンクリート及び鉄からなる建設資材（PC板、コングリート平板、コングリート二次製品）	
○木材	
○木材（縮減）	
・ﾌｽﾀｲﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	
○金属類	
・小型二次電池	
・蛍光ランプ、HIDランプ	
・硬質塩化ビニル管、継手	

※中間処理施設又は再資源化施設等の名称、所在地は現場説明書による

<4. 4. 1>

名 称	仕 様	数量	備 考

3 現場利用する再資源化された建設廃棄物

4 産業廃棄物広域認定制度の活用

<4. 4. 2>

種 類	備 考

※所在地は現場説明書による

<4. 4. 4>

名 称	仕 様	数量	備 考

6 処理に注意を要する建設廃棄物

<4. 5. 1>

名 称	仕 様	数量	備 考

※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による

5 分別調査

<5. 1. 3>

分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備 考
	・図示 ・箇所		
	・図示 ・箇所		
	・図示 ・箇所		
	・図示 ・箇所		

PCB含有シーリング分析調査<5. 4. 4>
○第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材質及び分析の要否を判定する。
・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。

・絶縁体のPCB含有量の分析は、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検討方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定（電気技術規定JECI201-1991）」により行う。

・焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱（平成13年4月25日付基発第401号）」により行う。

2 特別管理産業廃棄物の処理

3 PCBを含む機器類

④ PCB含有シーリン 材

5 特殊な建設副産物の改修及び処分

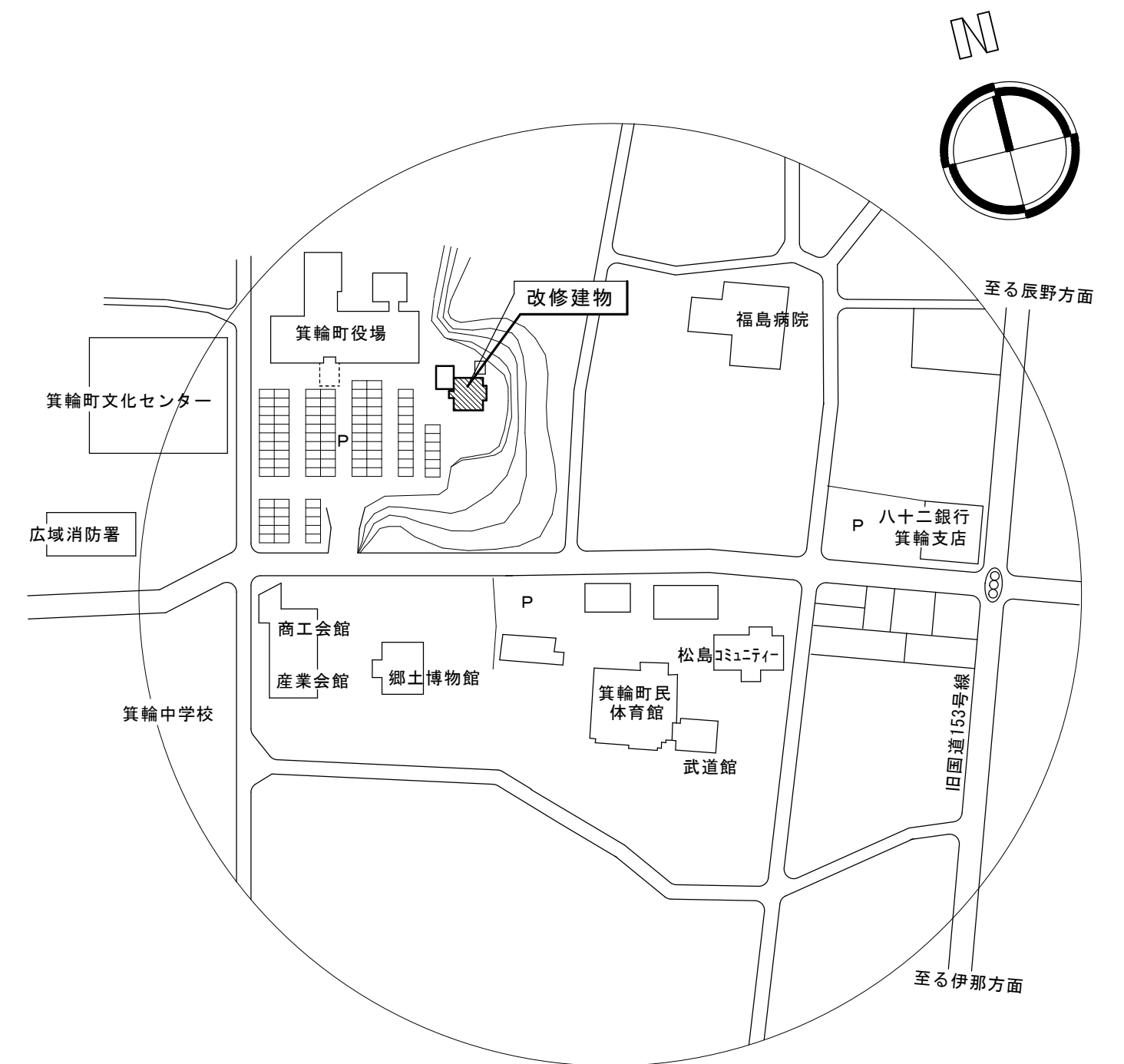
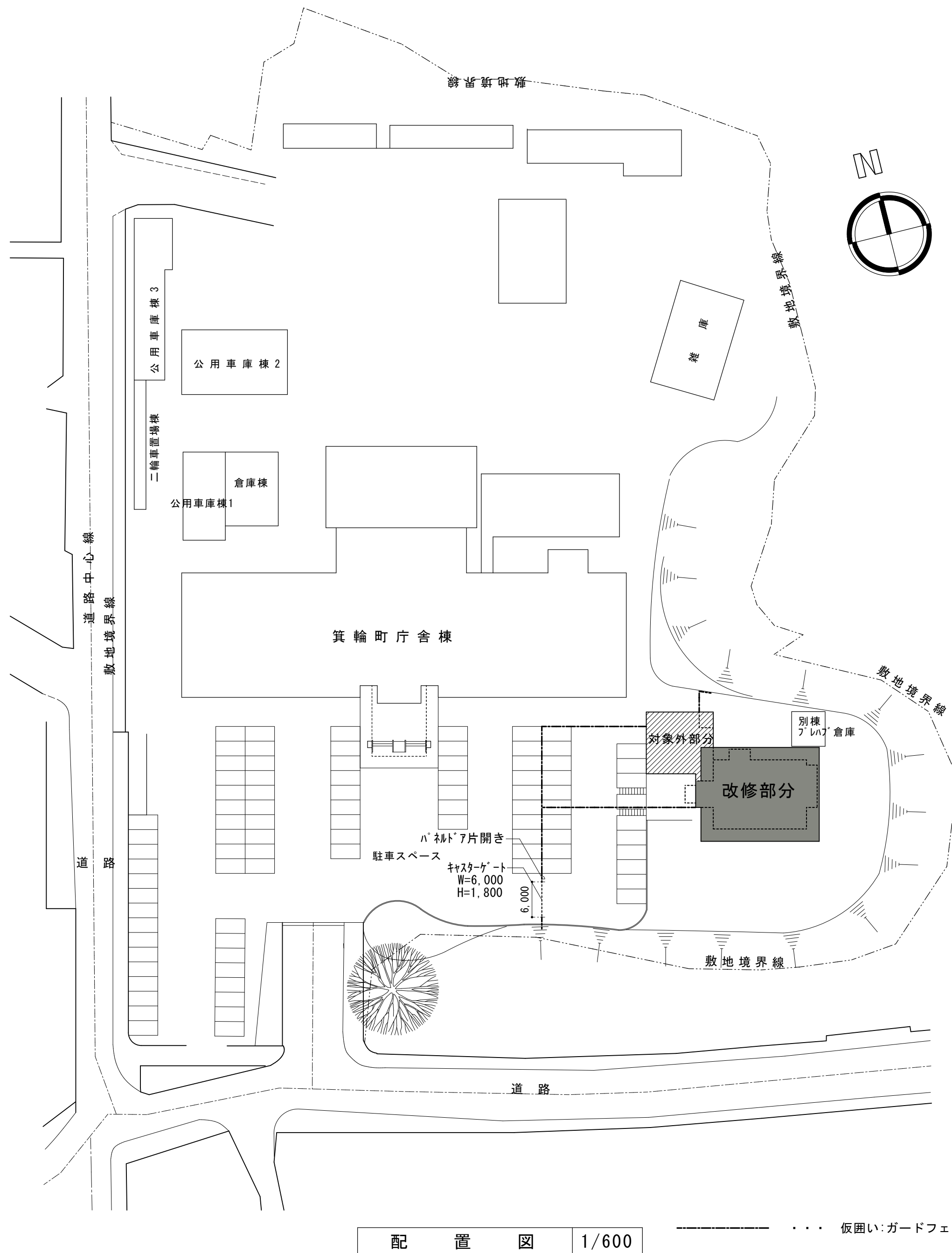
<5. 4. 3>

引渡しを要する機器類
・

撤去方法
○「標準施工要領書（日本シーリング工業協会組合連合会／日本シーリング 材工業会）」による。
・
撤去範囲
※（図示 / 図による）

<5. 5. 1>

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備 考

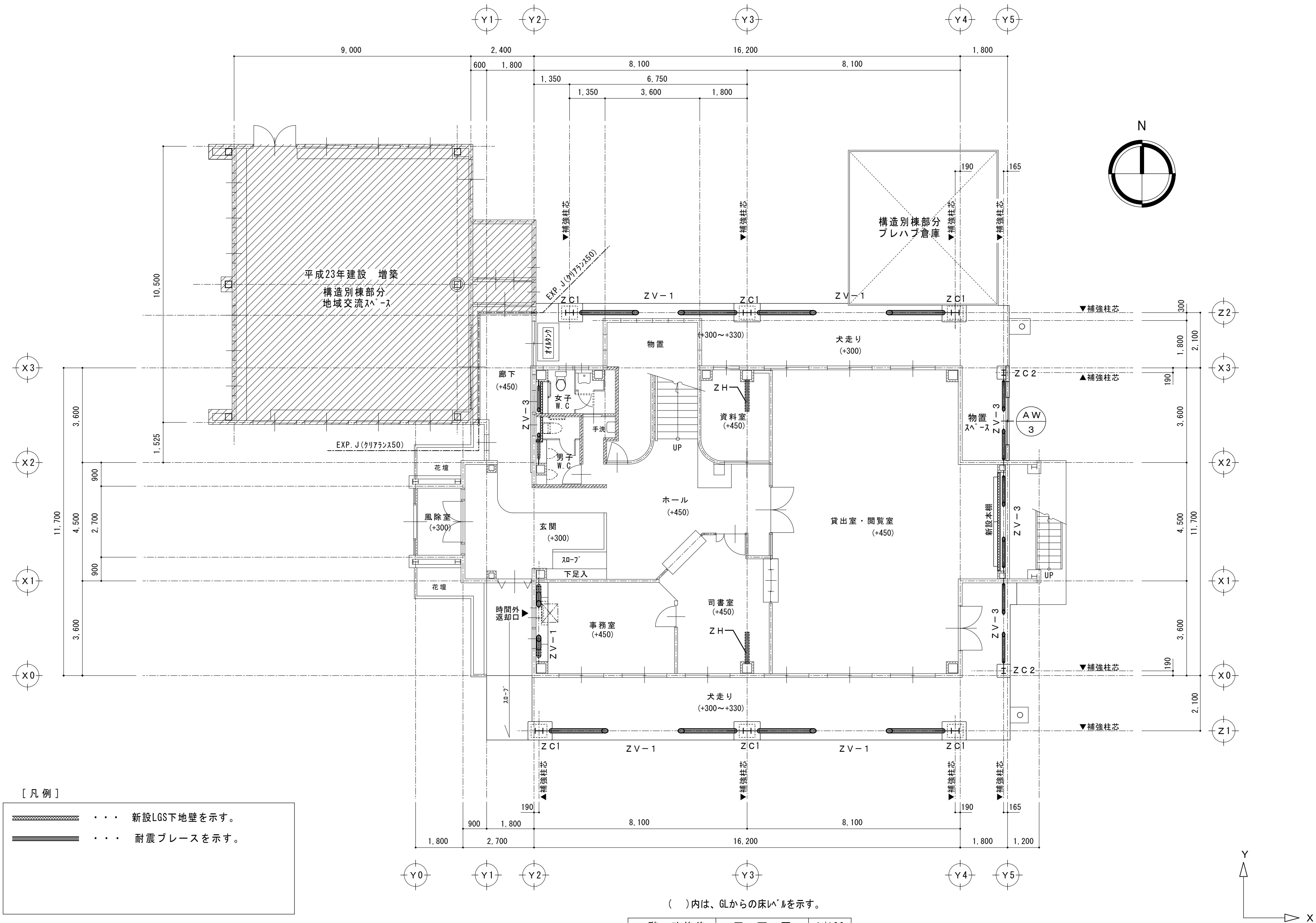


【耐震補強概要】	
1. 鉄骨ブレース補強	<p>X方向 1階・・・外付壁面ブレースフレーム設置 4構面 2階・・・外付壁面ブレースフレーム設置 4構面</p> <p>Y方向 1階・・・壁面ブレース設置 5構面 2階・・・壁面ブレース設置 2構面</p>
2. 鉄骨方杖補強	<p>Y方向 1階・・・方杖設置 2ヶ所 2階・・・方杖設置 4ヶ所</p>
3. 鉄骨水平ブレース補強	<p>1階・・・水平ブレース増設 20構面 2階・・・水平ブレース増設 19構面</p>
4. 外壁タイル貼り改修	外壁タイル貼り部分全面打音調査の上、浮き、剥がれ、クラック等のヶ所の改修

外 部 仕 上 表					【 記 号 ・ 名 称 】	
基 礎	現 状	珪砂刷毛引き	補強ブレース	鉄骨部 ： D P 塗装（3 級） 仕様は、共仕 18.7.1による。		GB-R ： せっこうボード【 9.5mm：QM-9823、12.5mm・15mm：NM-8612 】 GB-D（T）： 化粧せっこうボード（トラバーチン模様）【 9.5mm：QM-9824 】 FK ： けい酸カルシウム板【 NM-8578 】 DR ： ロックウール化粧吸音板【 NM-8599 】 FS ： 複層ビニル床シート FT ： 複層ビニル床タイル KT ： コンポジションビニル床タイル 【 塗 料 】 SOP ： 合成樹脂調合ペイント塗り DP ： 耐候性塗料塗り EP-G ： つや有合成樹脂エマルションペイント塗り UC ： ウレタン樹脂ワニス塗り CL ： クリヤラッカー塗り
	改修後	珪砂刷毛引き及びコンクリート打放し補修		上部アルミL型材笠木(W=350) 取付		
外 壁	現 状	ALC厚t=125 吹付タイル及び小口タイル貼り	屋 根			
	改修後	一部既存ALC撤去 ALC板復旧の上 水洗い工法、下地調整(RB種) 可とう形改修用複層塗材 R E 吹付				
		既存ALC吹付タイル部分 水洗い工法、下地調整(RB種) 可とう形改修用複層塗材 R E 吹付		現 状 A L C 厚100mm 長尺カラー鋼板 瓦棒葺		
		既存小口タイル貼り部 打音検査を行い、不具合なヶ所除去 下地補修の上 小口タイル接着工法貼り		改修後 現状のまま		
軒 天	現 状	LGS下地 FK 厚5mm 目かけ張り アクリルリシン吹付	犬 走 り	現 状 土間コンクリート打 厚100mm 珪砂金ゴテ押え		
	改修後	既存撤去（下地共）LGS下地(25形)@303 FK 6mm（一部有孔） 面取り突付張り EP-G		改修後 既存撤去後 土間コンクリート打 厚120mm 金ゴテ押え		

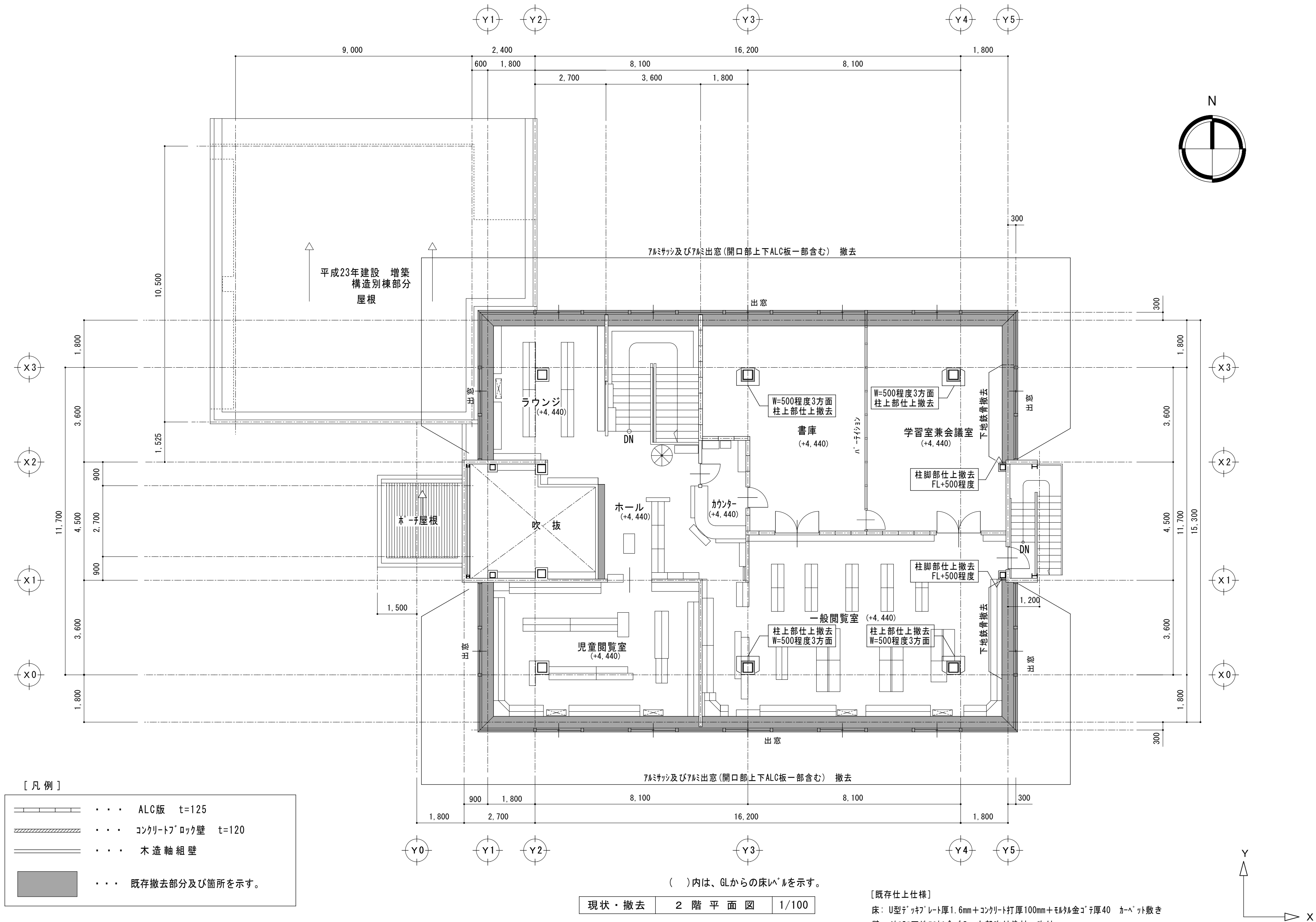
内 部 仕 上 表									
階	室 名	床 仕 上		巾 木 仕 上	壁 仕 上	天 井 仕 上	天井高	備 考	室 名
1	玄 関	現 状	珪砂塗り120角タイル（ニューエス同等品）	ミカゲ石（黒）H=150	珪砂塗り 吹付タイル（ウレタン系）	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ヒル石吹付 アクリル製 ルバーフ天井	6,650		玄 関
		改修後	現状のまま	現状のまま	現状のまま	現状のまま	6,650		
	ホ ー ル	現 状	珪砂金ゴテ コートカーベット（モネット同等品）	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 吹付タイル（ウレタン系）	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ヒル石吹付 一部吹抜	3,000		ホ ー ル
		改修後	現状のまま	現状のまま	吹抜上部 LGS下地GB-R厚12.5mm ビニルクロス貼り	既存撤去の上 LGS下地GB-R厚9.5mm ビニルクロス貼り 吹抜部 LGS下地GB-R厚9.5mm ビニルクロス貼り	3,000		
	司 書 室	現 状	珪砂金ゴテ下地 タイルカーベット貼り	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ビニルクロス貼り	3,000		司 書 室
		改修後	現状のまま	現状のまま	一部撤去 メタル下地珪砂金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-D(T) 厚9.5mm張り	3,000	耐震方杖補強設置	
	事務室	現 状	珪砂金ゴテ KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ヒル石吹付	3,000	時間外返却投入口	事 務 室
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-D(T) 厚9.5mm張り	3,000	時間外返却投入口 ・ 横型ブラインド 耐震補強ブレース設置	
	貸出室兼 閲覧室	現 状	珪砂金ゴテ KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ヒル石吹付	3,000		貸出室兼 閲覧室
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-R 厚9.5mm 下張り DR厚9mm張り	3,000	造付本棚 耐震補強ブレース設置	
	資 料 室	現 状	珪砂金ゴテ KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ヒル石吹付	3,000		資 料 室
		改修後	現状のまま	現状のまま	一部撤去 メタル下地珪砂金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-D(T) 厚9.5mm張り	3,000	耐震方杖補強設置	
	（男）W. C （女）W. C	現 状	珪砂塗り モザイクタイル貼り		珪砂塗り 100角タイル貼り	LGS下地 GB-R 厚9mm下張り GB-D厚9mm張り	2,500		（男）W. C （女）W. C
		改修後	男W.C：床撤去の上 珪砂金ゴテFT厚2.0mm貼り 女W.C：現状のまま 一部撤去		撤去部分復旧 LGS下地 耐水合板（1類）厚12mm 100角タイル接着貼り	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-D(T) 厚9.5mm張り	2,500	耐震補強ブレース設置 床点検口	
	ボイラー室 物置スペース	現 状	珪砂金ゴテ押え	珪砂金ゴテ押え	珪砂金ゴテ押え	LGS下地 FK 厚5mm 目スリ張り	3,400		ボイラー室 物置スペース
		改修後	既存床撤去の上 コンクリート打金ゴテ押え		一部既存壁撤去 既存珪砂面下地調整の上及び 新設ALC面 可とう形改修用複層塗材吹付	既存撤去（下地共） LGS下地 FK 厚6mm 面取突付張り EP-G	3,400		
	階 段 室	現 状	珪砂金ゴテ カーベット敷き	テラゾーブロック	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ヒル石吹付			階 段 室
		改修後	現状のまま	現状のまま	現状のまま	LGS下地 GB-R 厚9.5mm 下張り DR厚9mm及び12mm張り			
2	ホ ー ル ラウンジ	現 状	珪砂金ゴテ カーベット敷き	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ヒル石吹付	2,700		ホ ー ル ラウンジ
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	一部LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm ビニルクロス貼り	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-R 厚9.5mm 下張り DR厚9mm張り	2,700	横型ブラインド 本棚新設	
	一般閲覧室 学習室	現 状	珪砂塗り KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ヒル石吹付	3,000		一般閲覧室 学習室
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	一部撤去 メタル下地珪砂金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-R 厚9.5mm 下張り DR厚9mm張り	2,800	横型ブラインド 耐震補強ブレース、方杖補強設置	
	児童閲覧室	現 状	珪砂塗り KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm張り ヒル石吹付	3,000		児童閲覧室
		改修後	現状のまま	現状のまま	現状のまま	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-R 厚9.5mm 下張り DR厚9mm張り	2,800	横型ブラインド	
	会議室	現 状	珪砂金ゴテ カーベット敷き	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm下張り GB-D厚9mm張り	3,000		会議室
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	一部撤去 メタル下地珪砂金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-D(T) 厚9mm張り	2,800	横型ブラインド 耐震補強ブレース、方杖補強設置	
	書 庫	現 状	珪砂塗り KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪砂塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R 厚9mm下張り GB-D厚9mm張り	3,000		書 庫
		改修後	現状のまま	現状のまま	一部撤去 メタル下地珪砂金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去（下地共） LGS下地 GB-D(T) 厚9mm張り	2,800	耐震方杖補強設置	


MEMORANDUM		TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div>株式会社 創和設計</div> <div>長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222（代） 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972（代） 一般建築士 大匠登録 第352433号 一般建築士事務所登録第（上伊）F-87121号 小 河 薫</div>	SHEET NO. <div>A-08</div> <div>63</div>
		平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	内 外 仕 上 表	N . S	H 2 8 . 7	設備設計一級建築士 第13507号		
						一般建築士 第13507号 小河 節郎		
						一般建築士 第32432号 小河 薫 一般建築士 第23929号 伊東 和典		

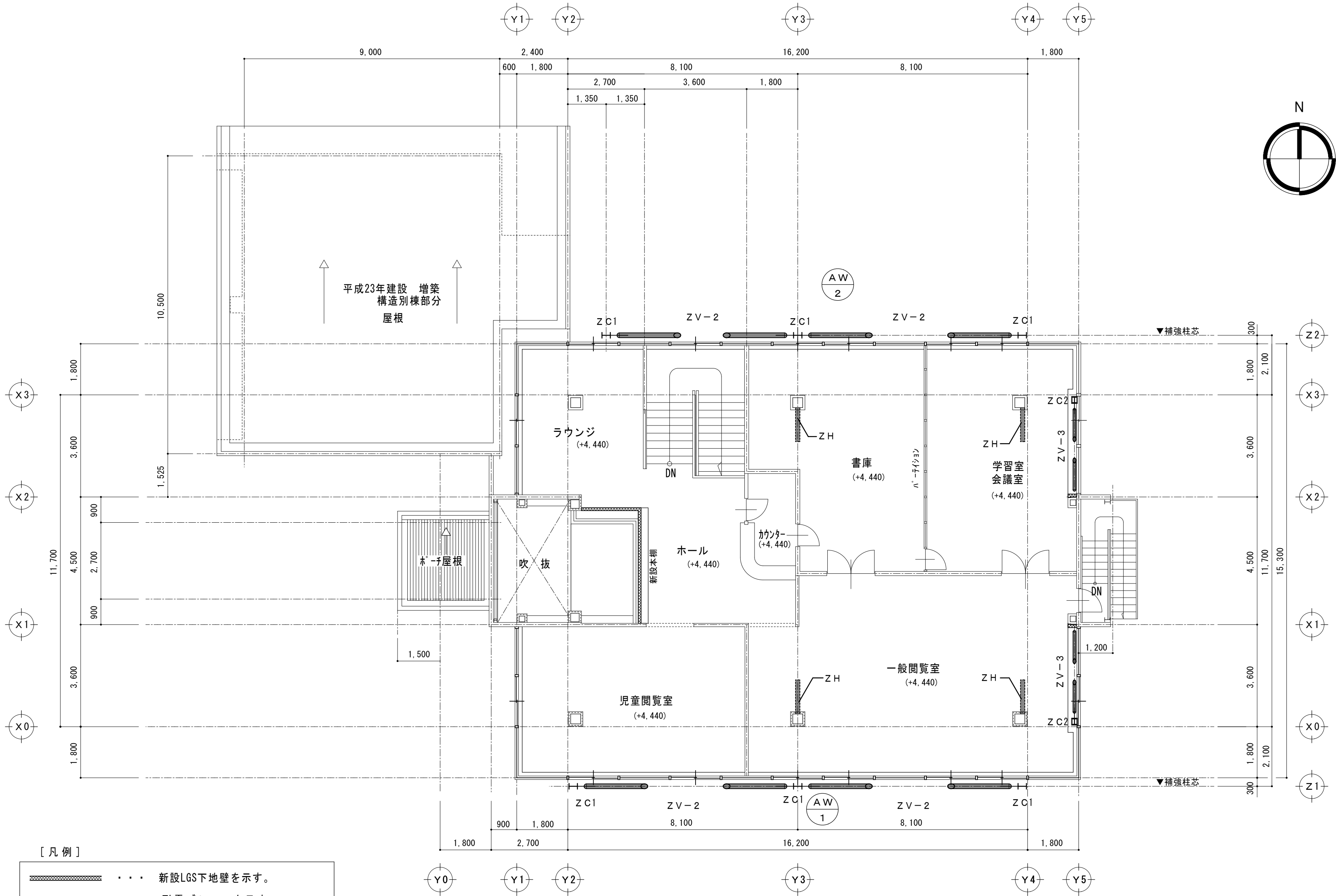


()内は、GLからの床レベルを示す。

1階 改修後	平面図	1/100
--------	-----	-------



MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div> 株式会社 創和設計</div> <div>長野県上伊那郡深根町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代)</div> <div>長野県長野市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代)</div> <div>一般建築士 大田登録 第352433号</div> <div>一般建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小 河 豪</div>	SHEET NO. <div>A-11 / 63</div>
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現 状 ・ 撤 去 2 階 平 面 図	A2:1/100	H 2 8 . 7	設備設計一般建築士 第13507号		
					一般建築士 第13507号 第35432号 小河 節郎 一般建築士 第22923号 伊東 紀典		



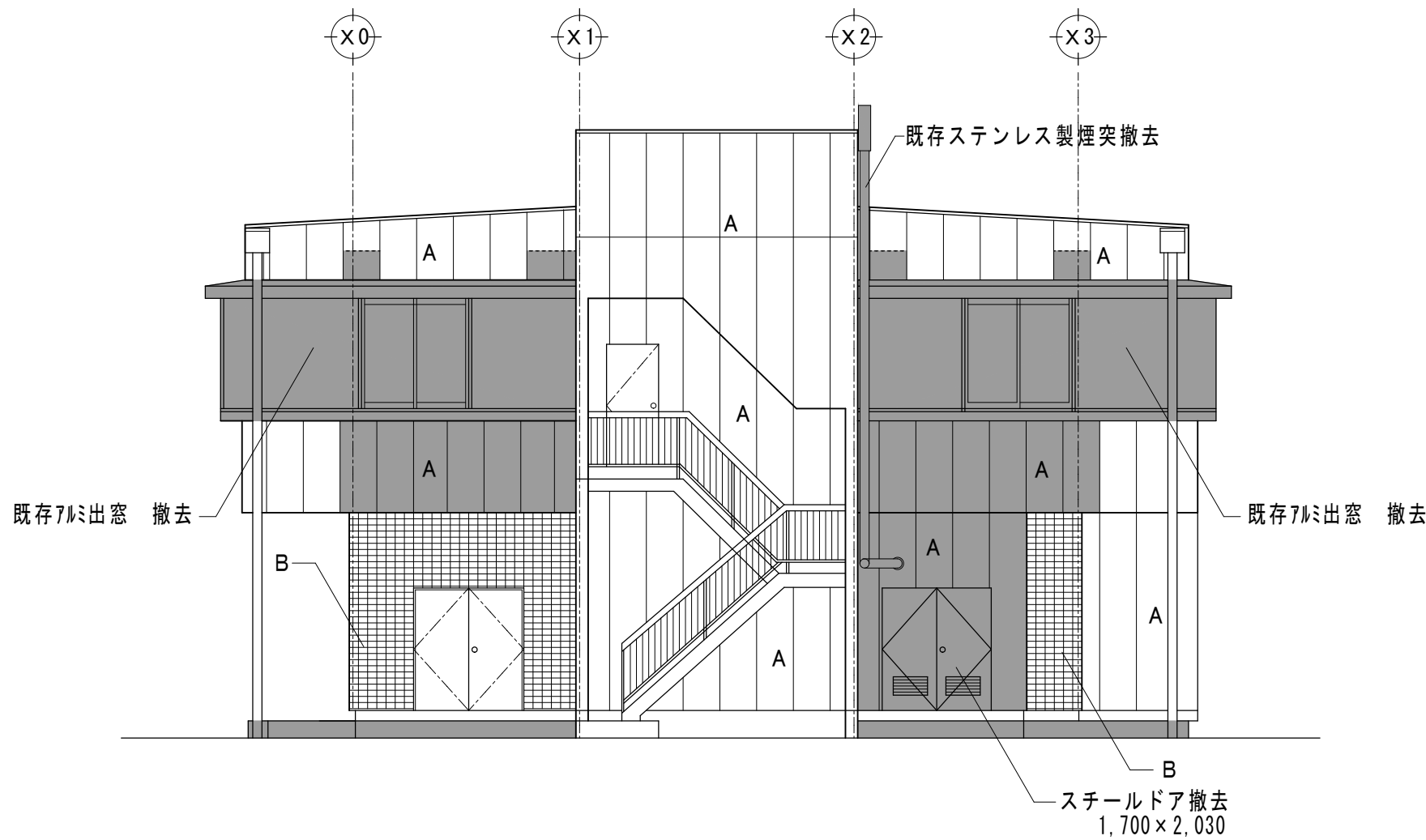
[凡 例]

..... 新設LGS下地壁を示す。

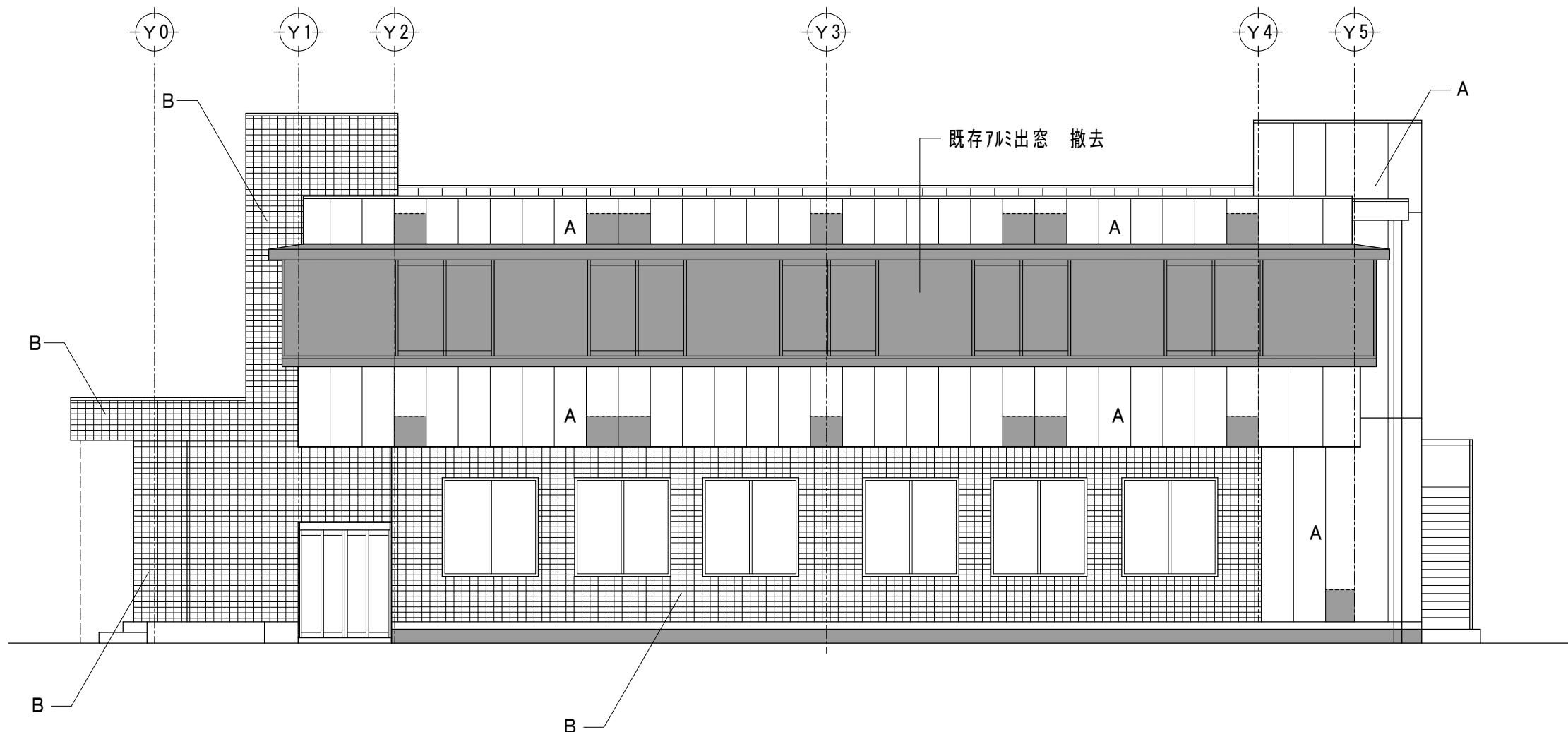
..... 耐震ブレースを示す。

()内は、GLからの床レベルを示す。

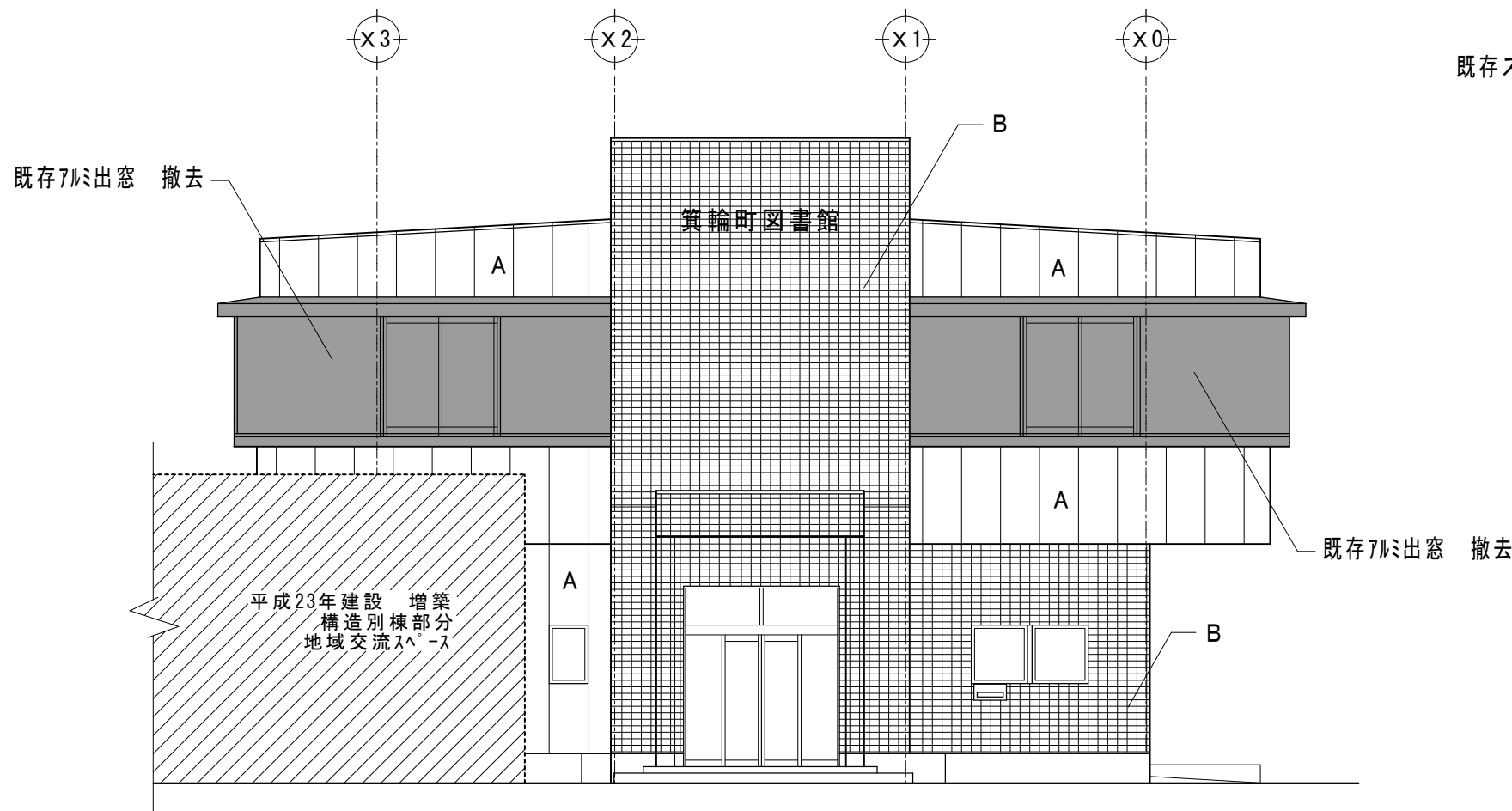
改修後	2 階 平 面 図	1/100
-----	-----------	-------



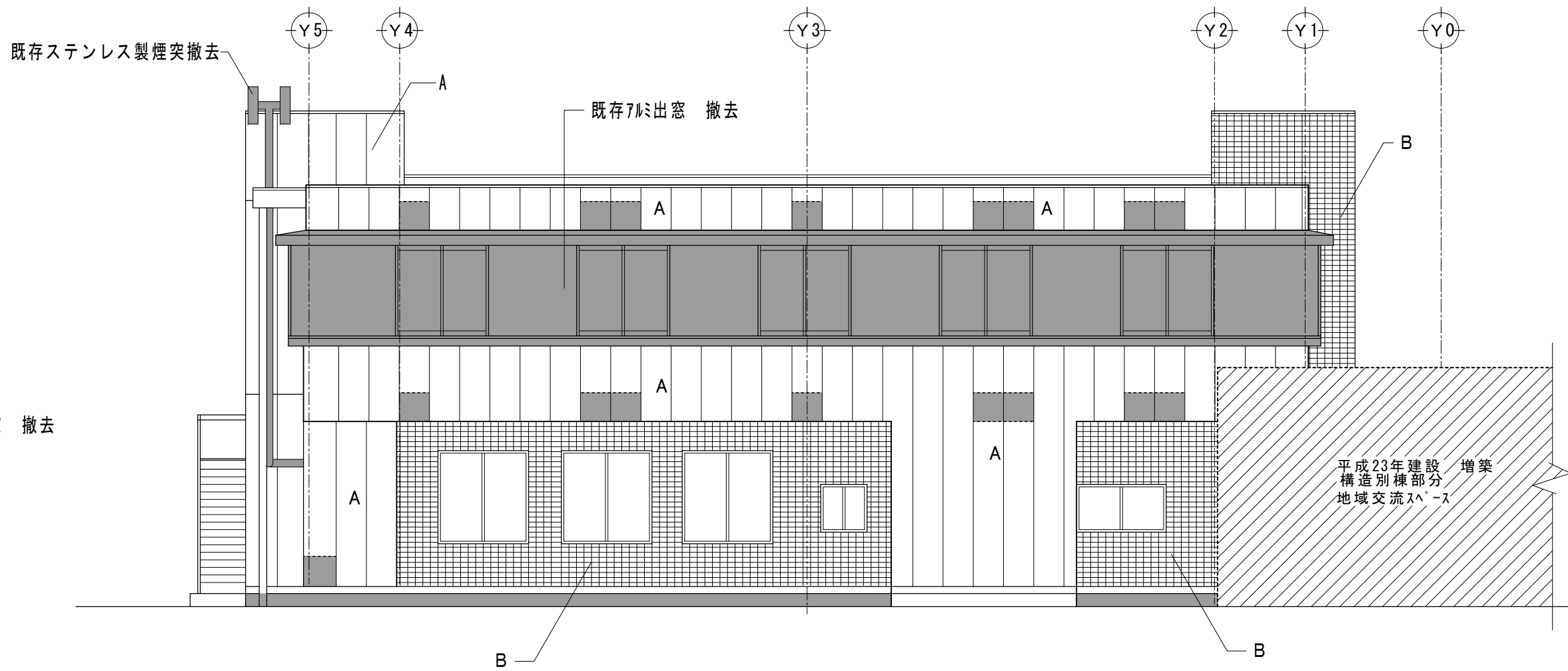
東面	立面図	1/100
----	-----	-------



南面	立面図	1/100
----	-----	-------



西面	立面図	1/100
----	-----	-------

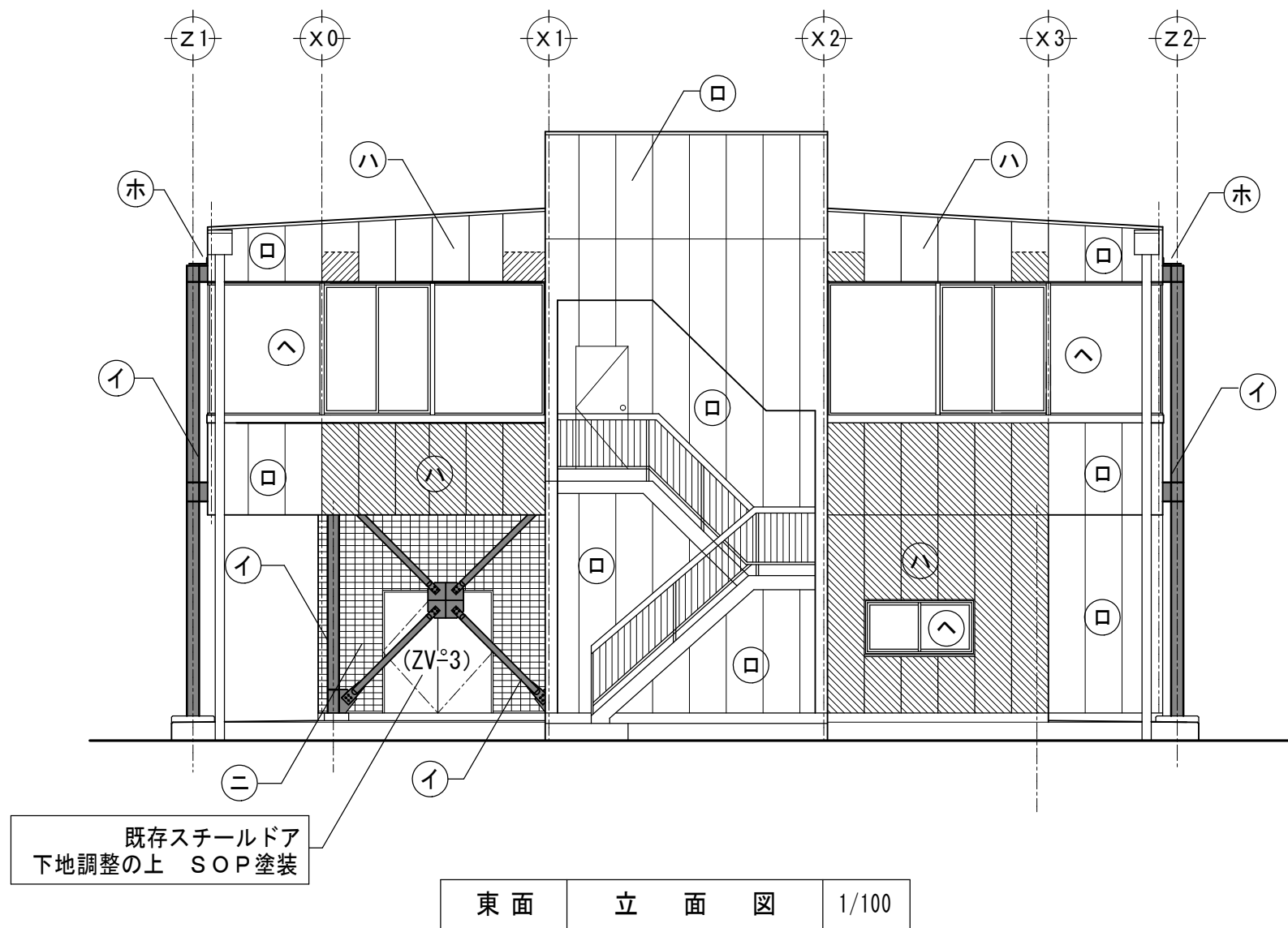


北面	立面図	1/100
----	-----	-------

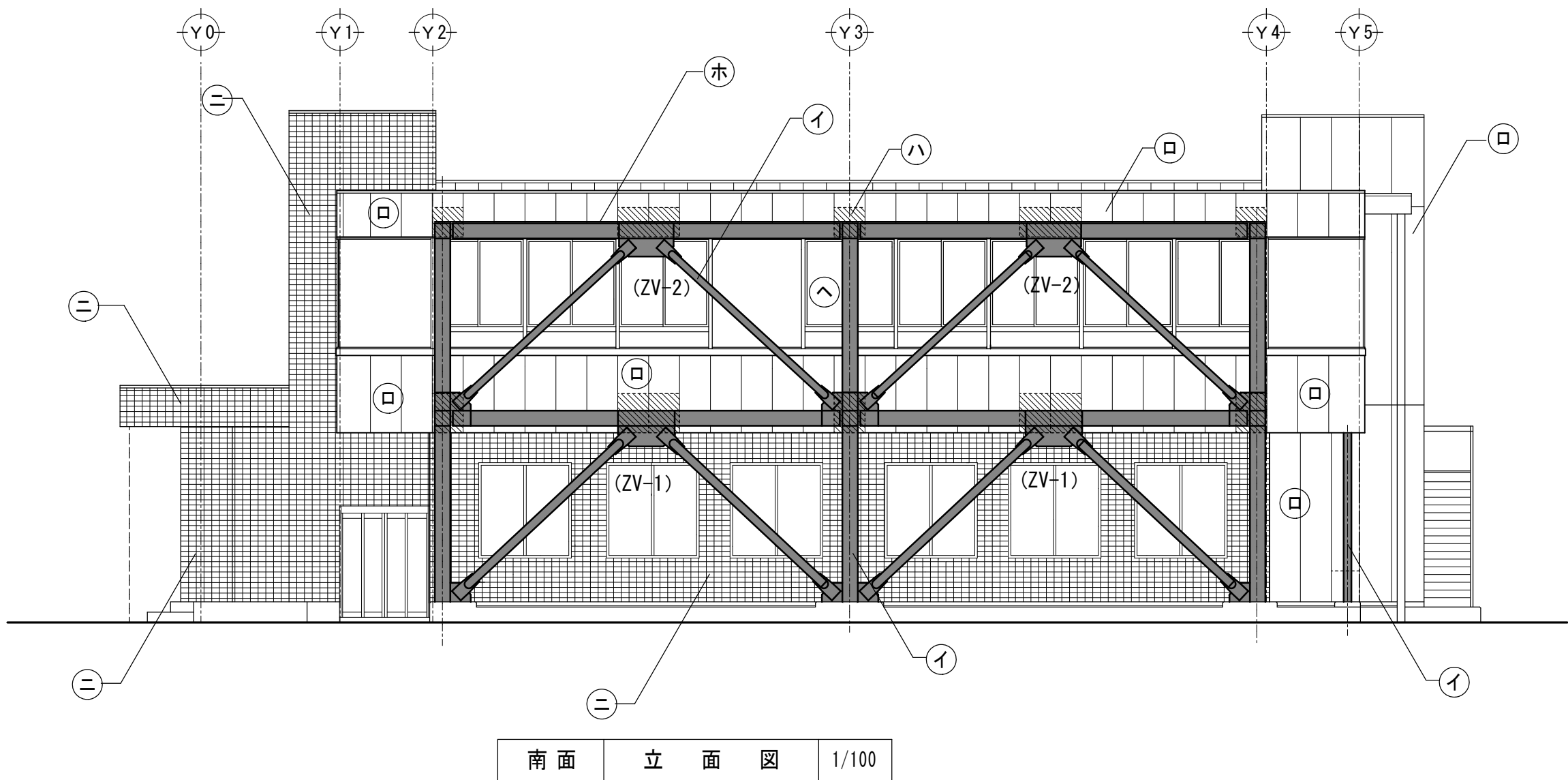
■ . . . 撤去部分を示す。

※ B タイル貼り部分全面 打音検査を行う

A . . . ALC厚t=125下地 吹付タイル
B . . . ALC厚t=125下地 小口タイル貼



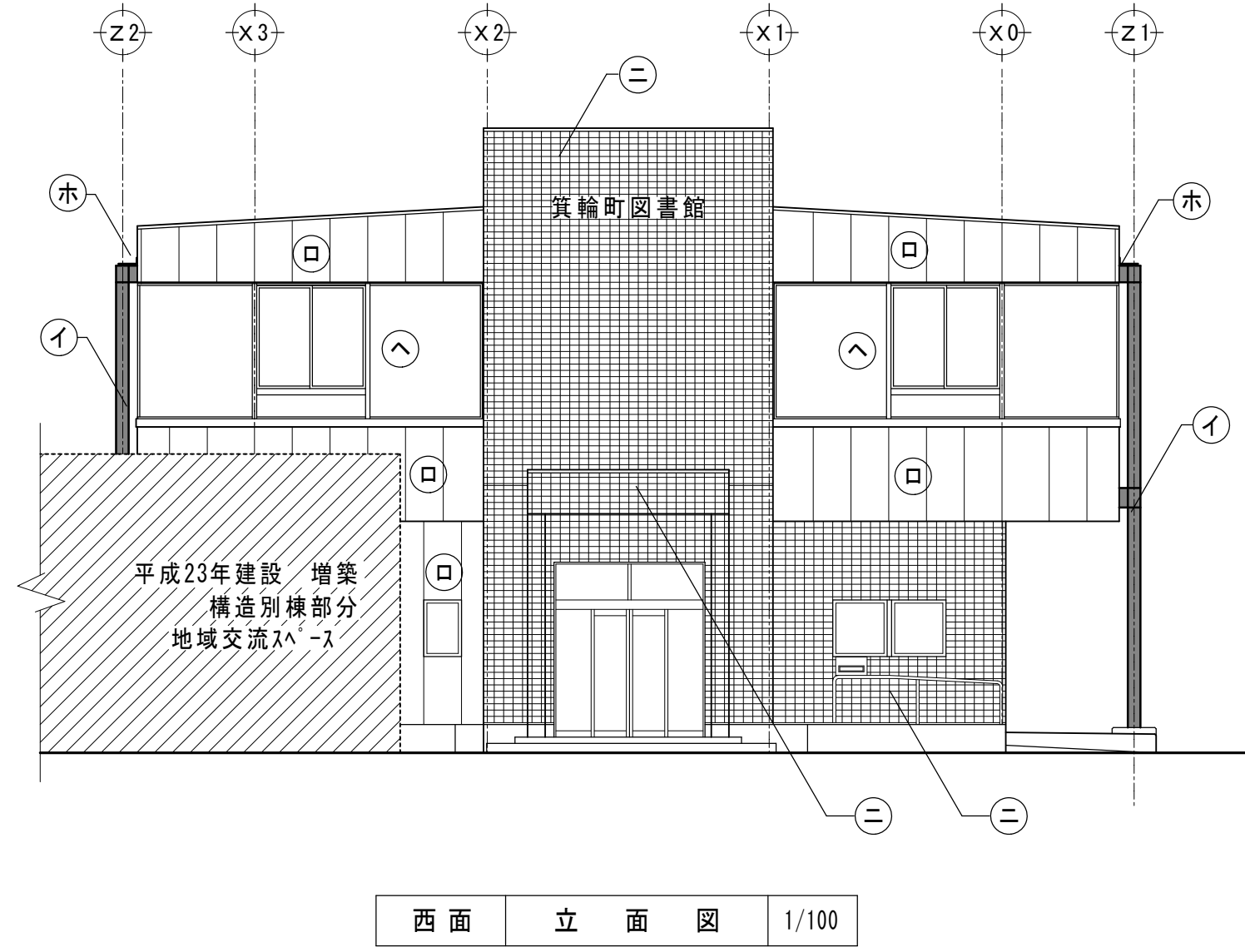
東面 立面図 1/100



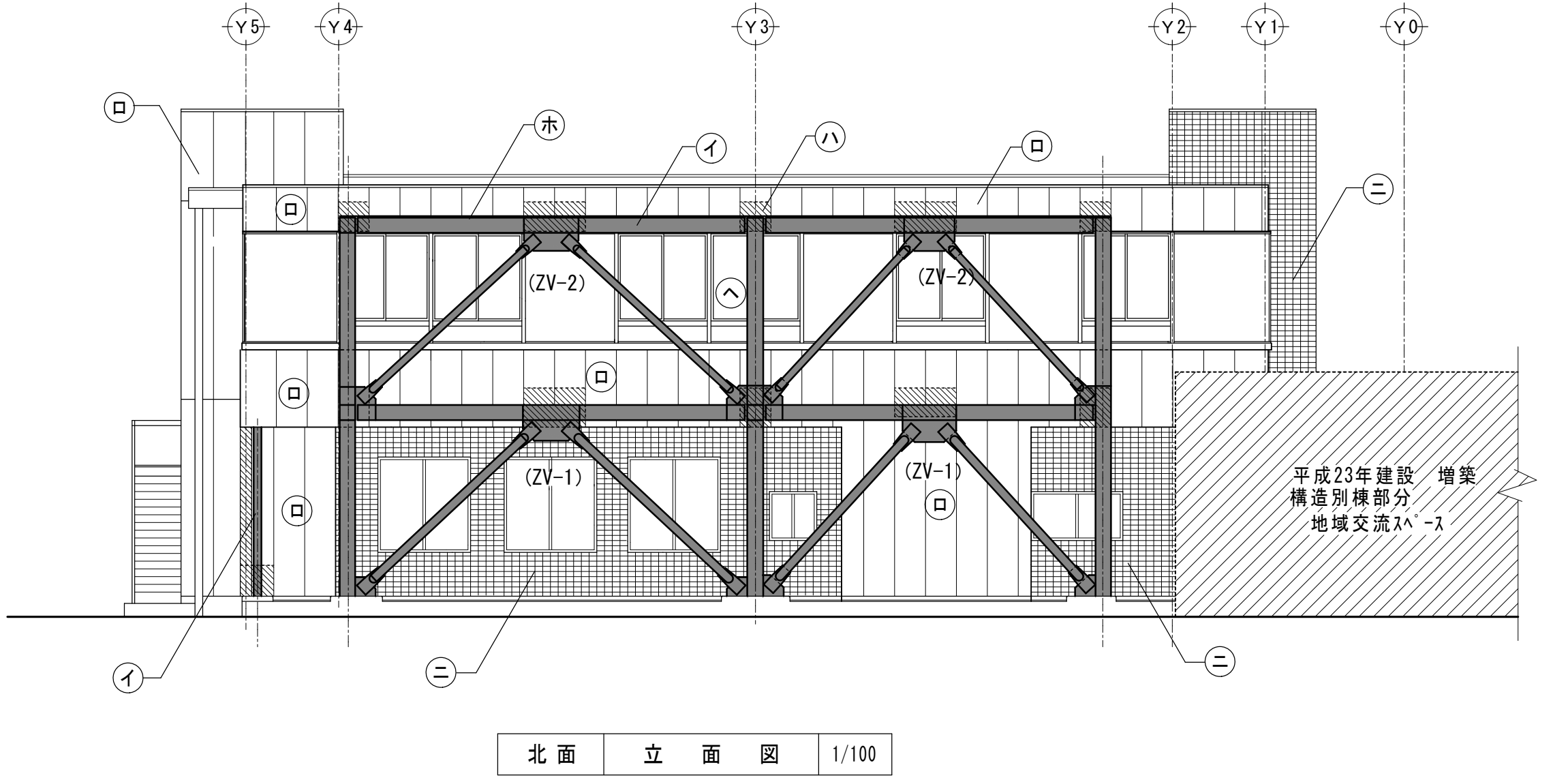
南面 立面図 1/100

【 凡 例 】

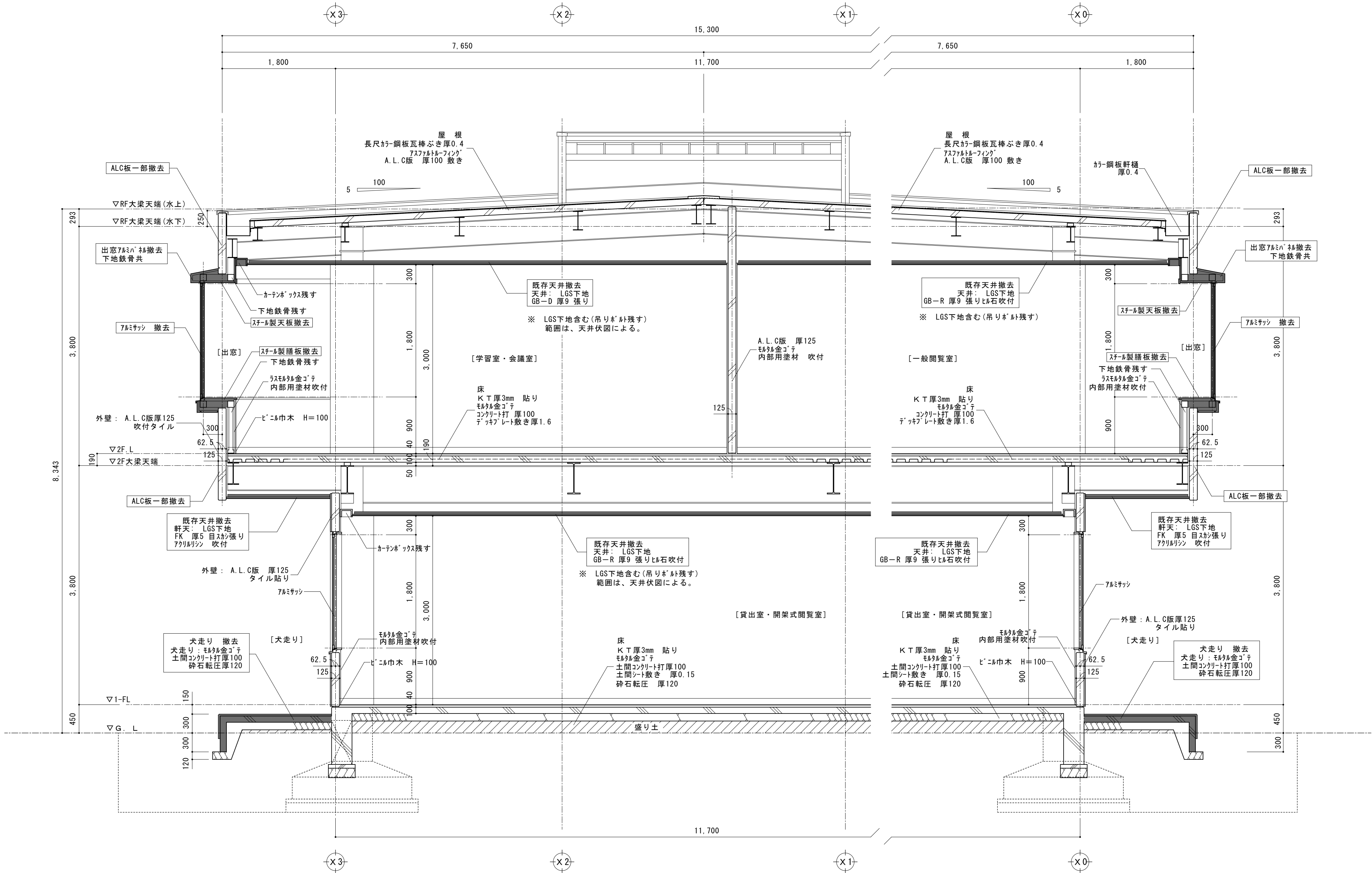
- | | | | |
|---|---|---|--|
| イ | ・・・ 鉄骨耐震ブレース DP塗装 （仕様は、共仕18.7.2による） | ニ | ・・・ 既存ALC下地小口タイル貼り部分は、全範囲打音調査を行い、マーキング、図面記入、計測を行う調査の結果により、不良箇所が存在した場合は、タイルを除去の上、下地処理を行い、接着工法貼りとする。 |
| ロ | ・・・ 既存ALC板 水洗い工法、下地調整（RB種）の上 可とう形改修複層塗材RE吹付 | ホ | ・・・ アルミL型笠木（W=350） 新設 |
| ハ | ・・・ 新設ALC板厚125復旧の上 可とう形改修複層塗材RE 吹付 | ヘ | ・・・ 新設アルミサッシ取付 |
| | ■■■■ ALC板復旧部分を示す。 | ト | ・・・ 既存鉄骨階段鉄部 下地調整（RB種） DP塗装 （仕様は、共仕18.7.2による） |



西面 立面図 1/100



北面 立面図 1/100

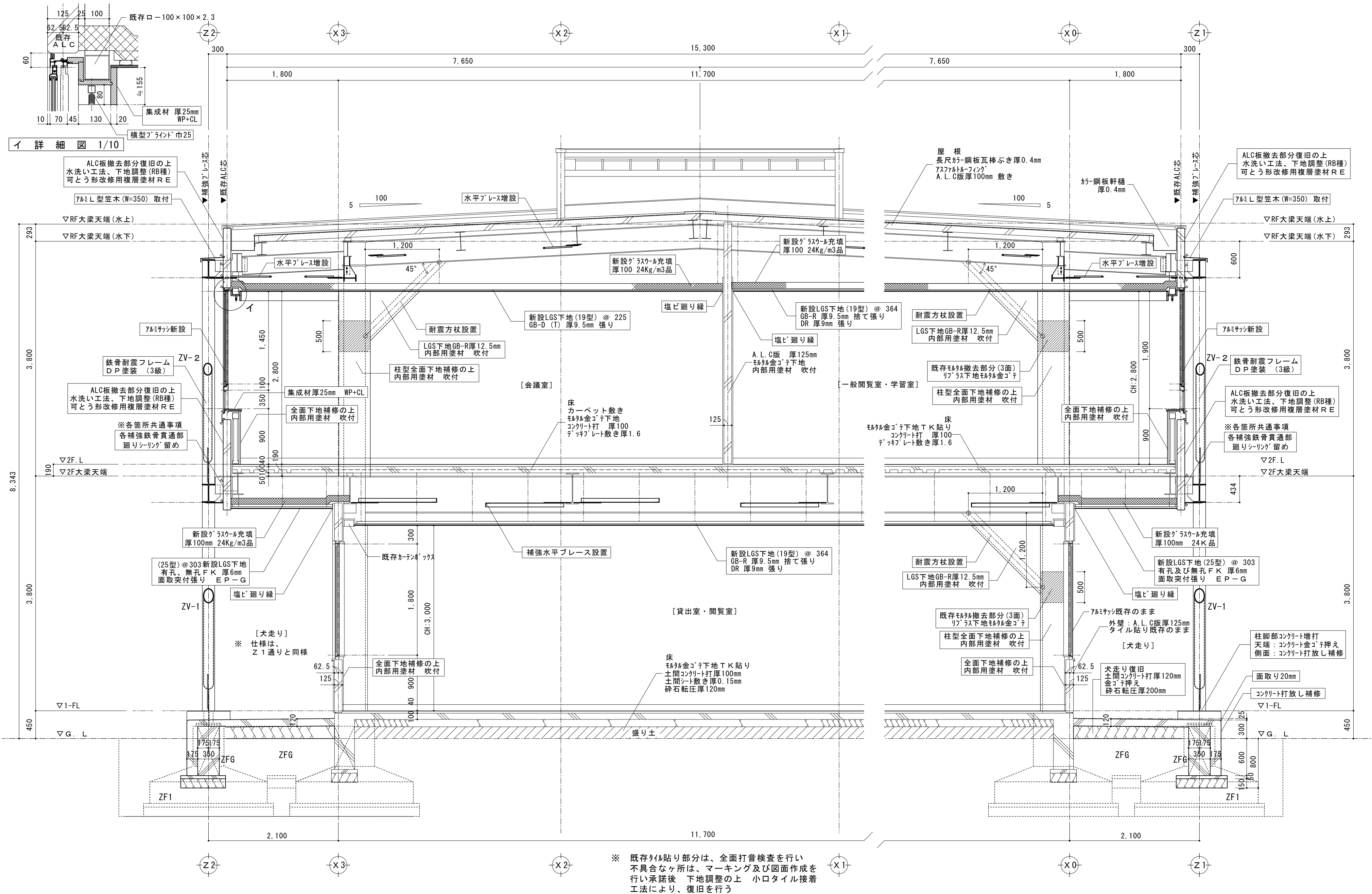


..... 撤去部分を示す。

現状・撤去 矩 計 図 1/40

※ 既存タイル貼り部分は、全面打音検査を行い
不具合なヶ所は、マーキング及び図面作成を
行い承諾後、下地調整の上、小口タイル接着
工法により、復旧を行う

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK・DRAWING	創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 矩 計 図	A2:1/40	H28.8	設備設計一級建築士 第135007号 一般建築士 第35433号 小河 節郎	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡深谷町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	A-15 63

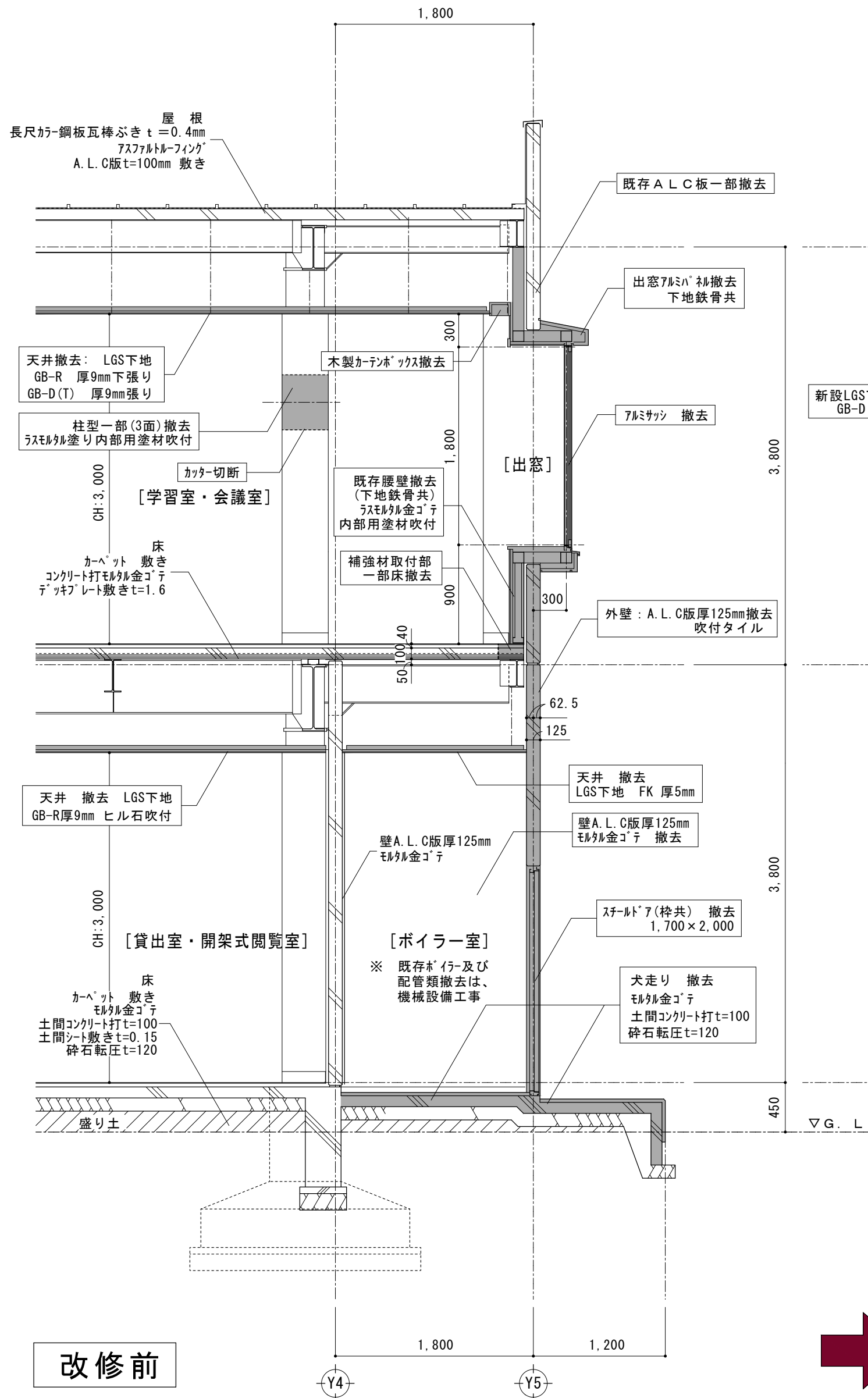


※ 既存タイル貼り部分は、全面打音検査を行い
不具合なヶ所は、マーキング及び図面作成を
行い承諾後 下地調整の上 小口タイル接着
工法により、復旧を行う

改修後矩計図 1/40

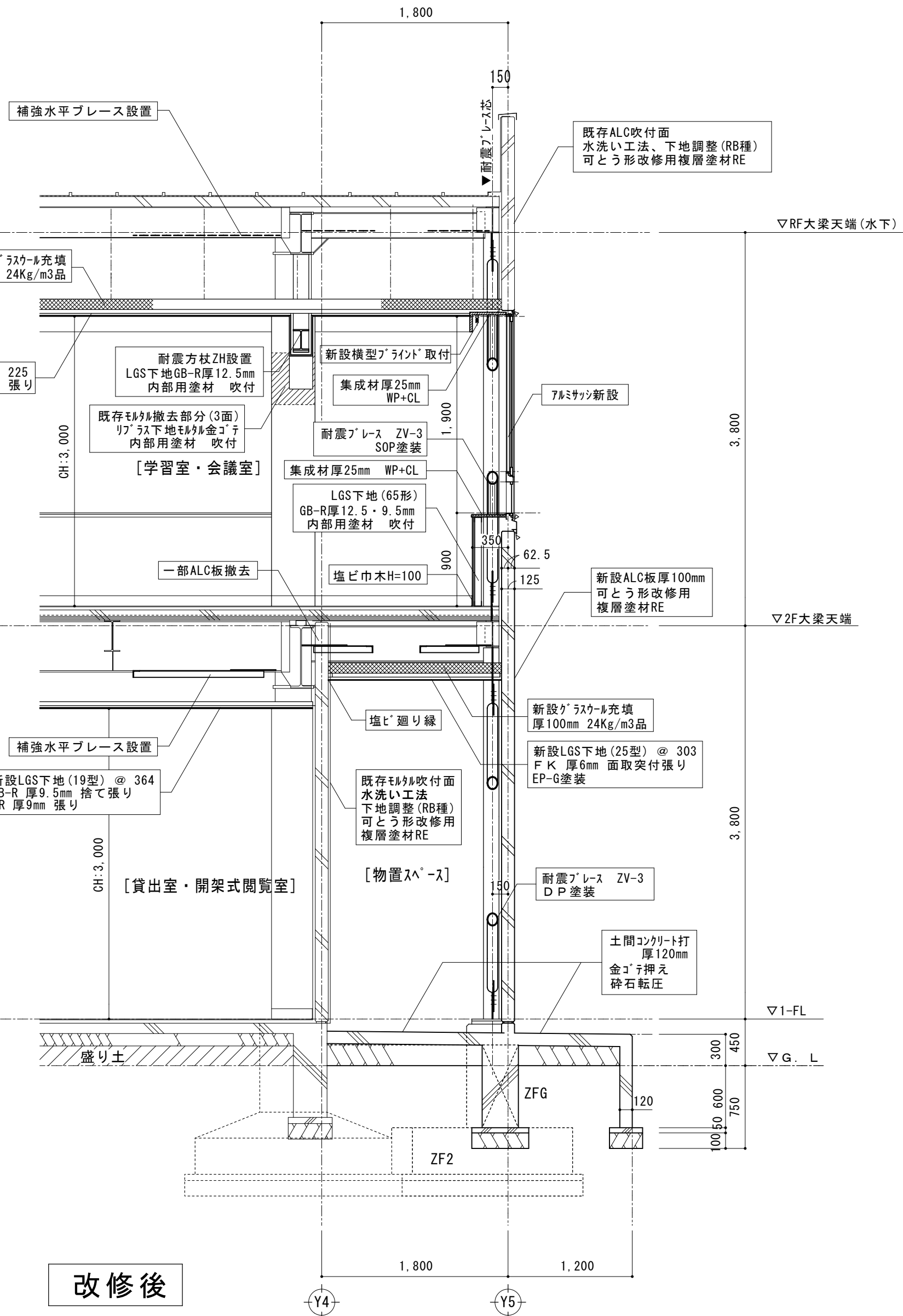
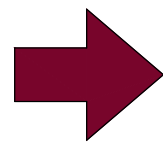
シリング (MS-2) 留めヶ所を示す。

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	改修後矩計図	A2:1/40・1/10	H28.7	設計者 一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 一級建築士 第35433号 一級建築士 第35433号 一級建築士 第35433号 一級建築士 第35433号	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大田登録 第352433号 一級建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小河 豪	A-16 63



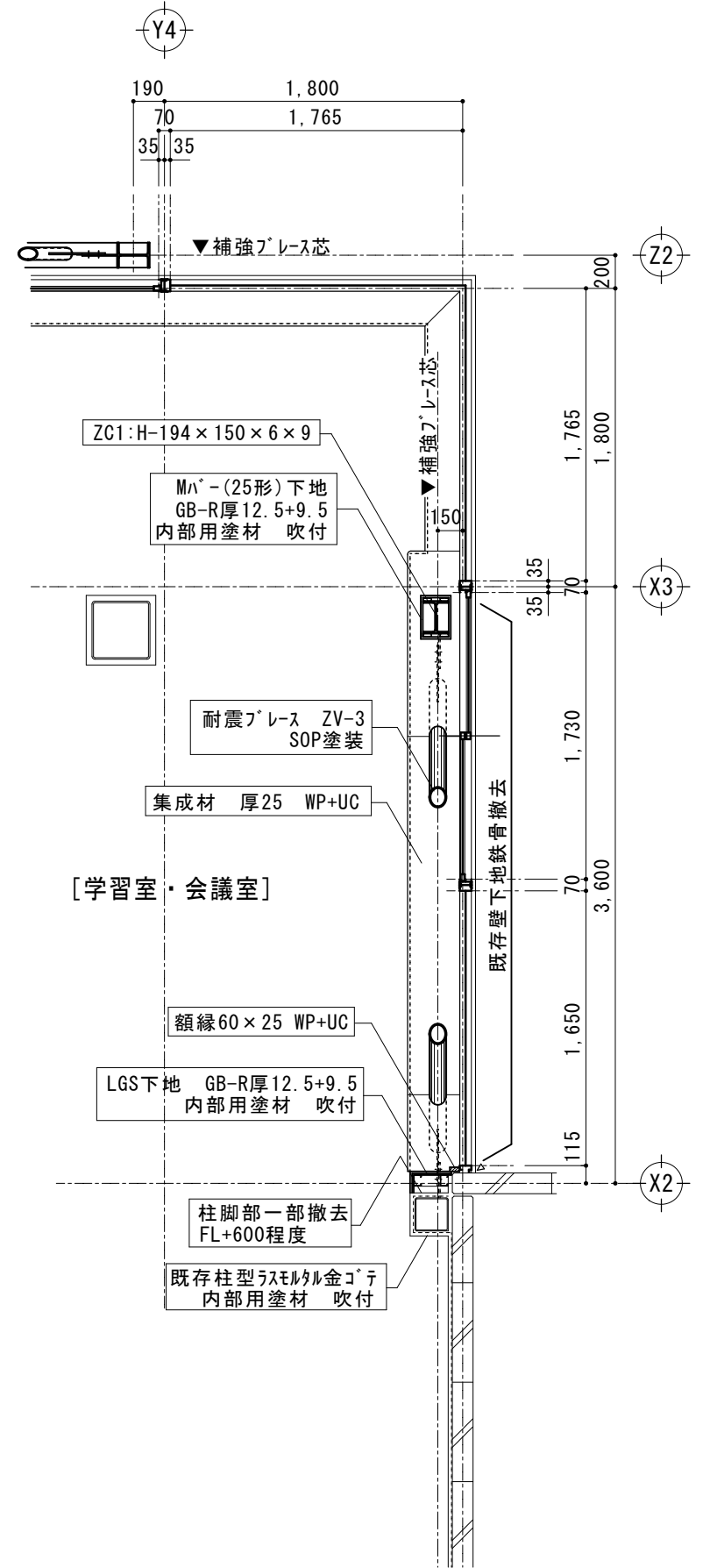
改修前

現 状 詳 細 図 1/40

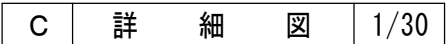
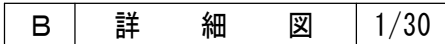
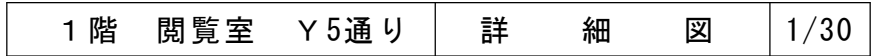


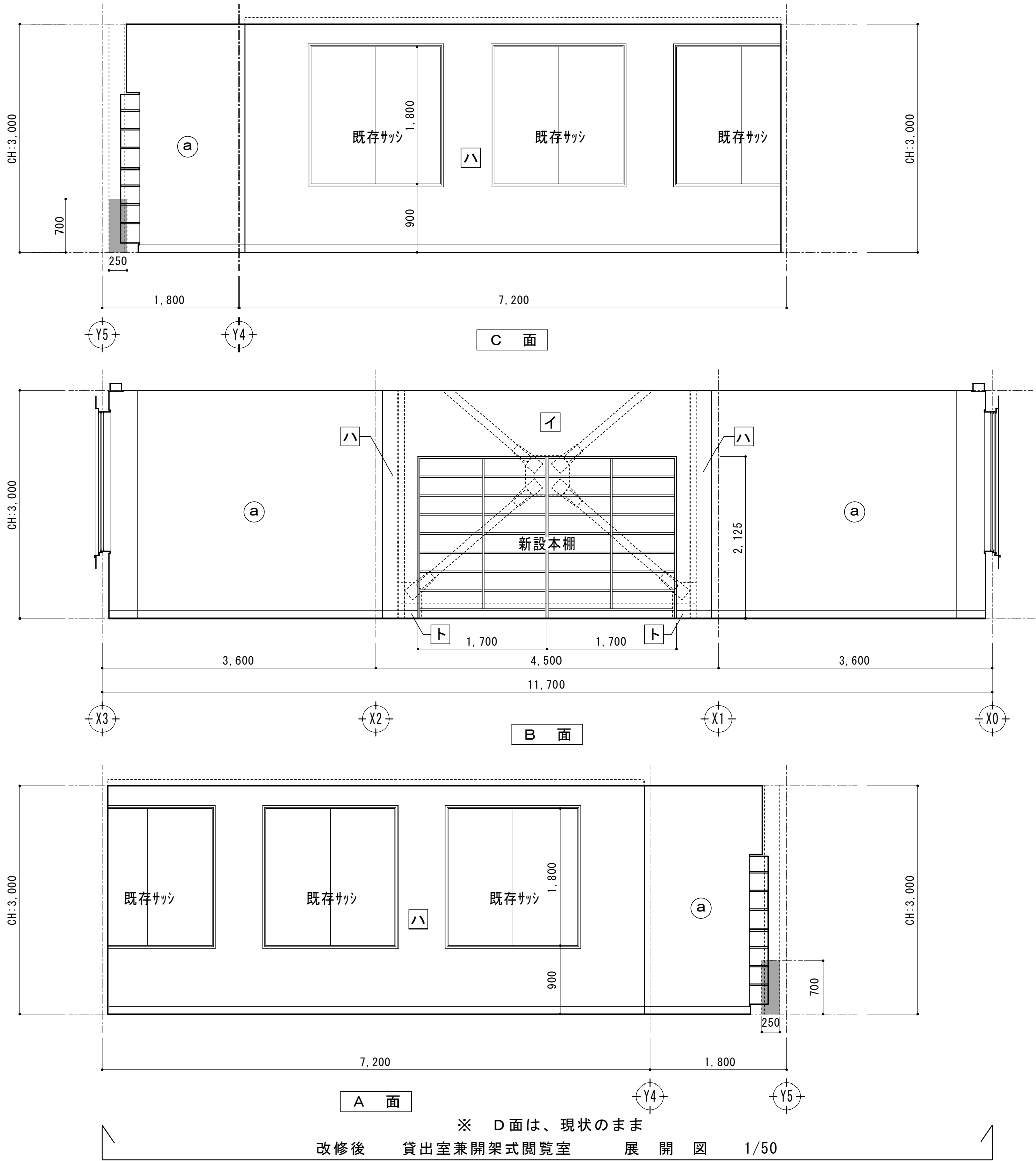
改修後

改修後 詳 細 図 1/40



改修後 平 面 図 1/40





【 凡 例 】

■ . . . 既存モルタル下地モルタル塗り内部吹付塗材 撤去

イ . . . LGS下地 GB-R厚12.5+9.5mm 目地処理の上内部吹付塗材 吹付

□ . . . リプラス下地 モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

ハ . . . 既存吹付面 下地処理の上 内部吹付塗材 吹付
(※機器等、撤去に伴う補修を含む。)

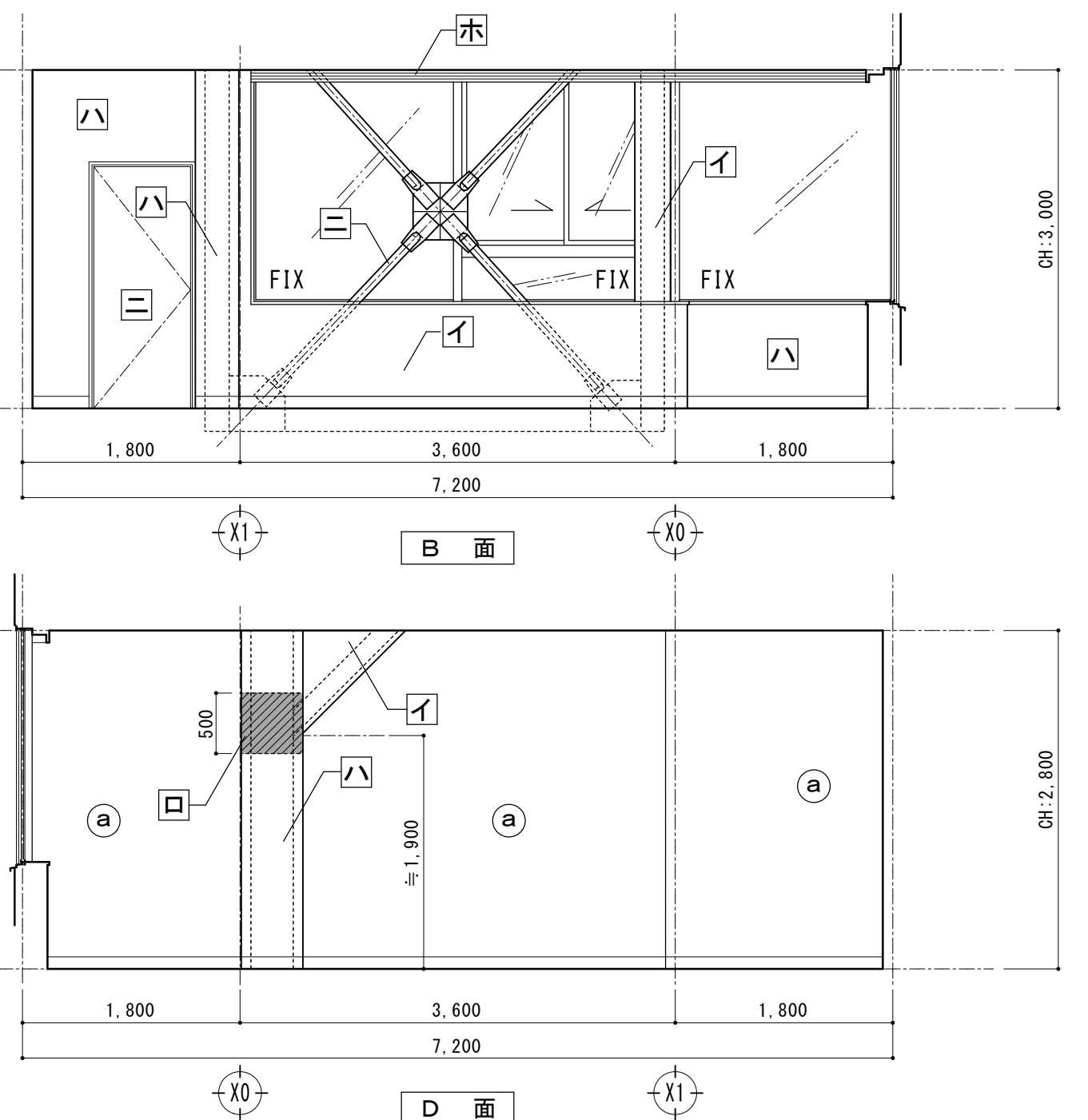
ニ . . . 新設鉄部SOP塗装

ホ . . . 新設木部SOP塗装

ヘ . . . LGS下地 GB-R厚12.5 目地処理の上 ビニールクロス貼り


ト . . . 新設ビニル巾木 H=100

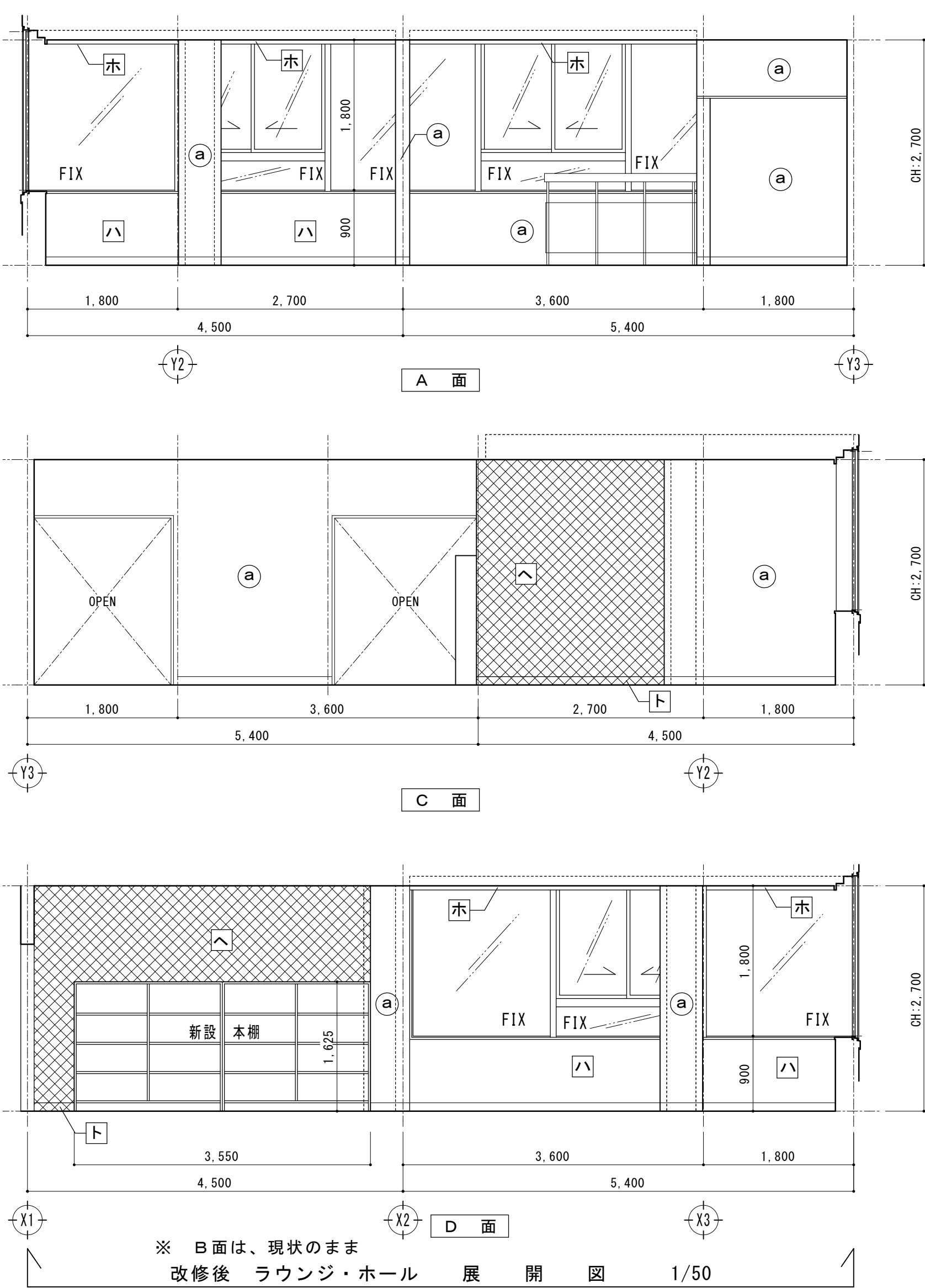
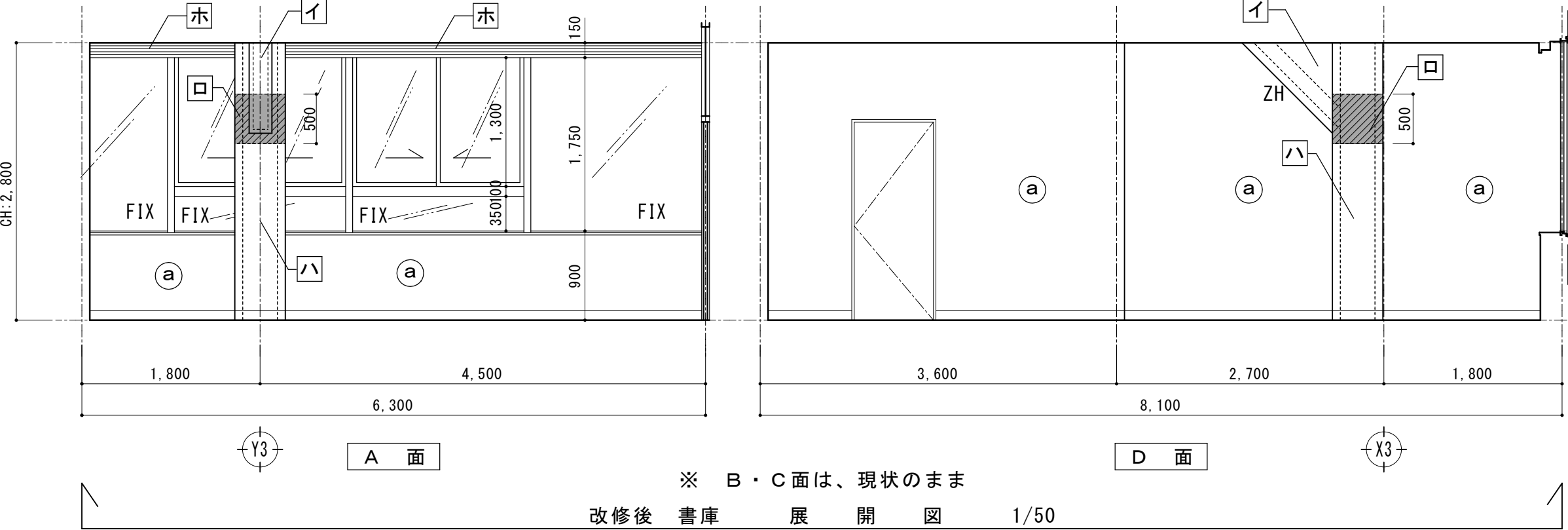
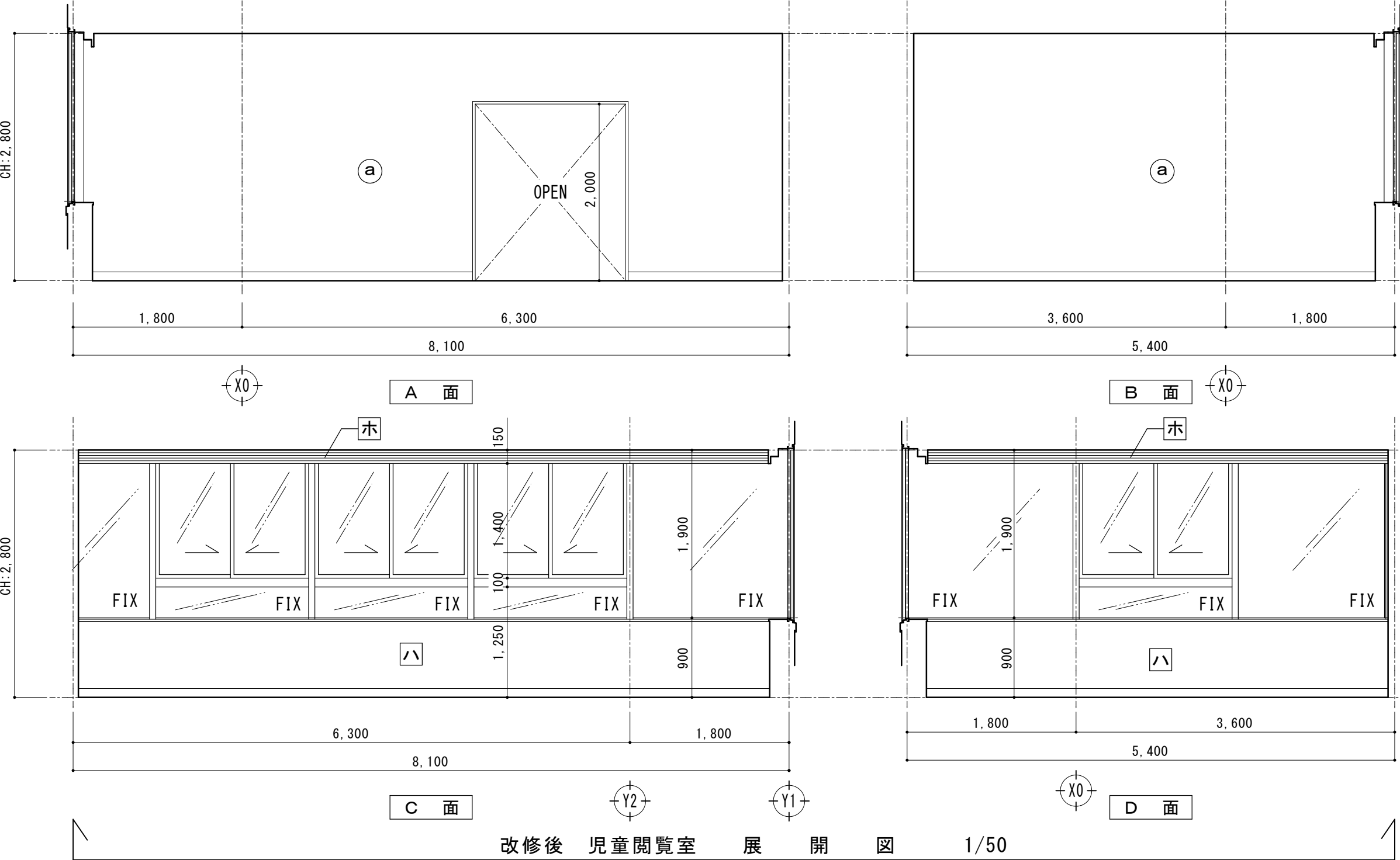
Ⓐ . . . 既存のまま



【 凡 例 】

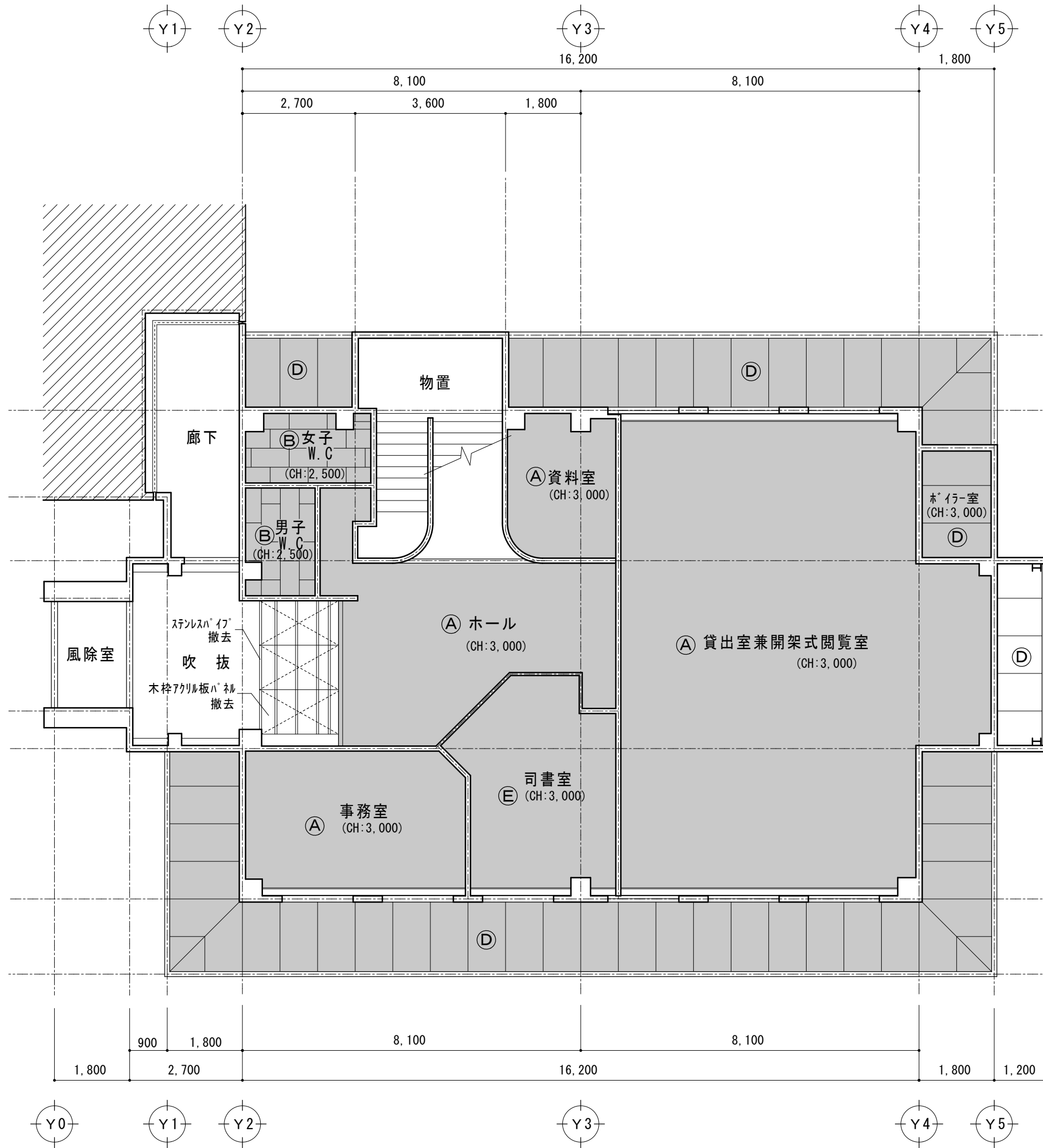
<div> <div></div> <div>・・・ 既存の珪藻土下地も珪藻土塗り内部吹付塗材 撤去</div> </div>	<div> <div>ニ</div> <div>・・・ 鉄部ＳＯＰ塗装</div> </div>	<div> <div>a</div> <div>・・・ 既存のまま</div> </div>
<div> <div>イ</div> <div>・・・ ＬＧＳ下地　ＧＢ-R厚12.5+9.5mm　目地処理の上内部吹付塗材　吹付</div> </div>	<div> <div>ホ</div> <div>・・・ 木部ＳＯＰ塗装</div> </div>	
<div> <div>ロ</div> <div>・・・ リブラス下地　モルタル金ゴテ　内部吹付塗材　吹付</div> </div>	<div> <div>ヘ</div> <div>・・・ ＬＧＳ下地　ＧＢ-R厚12.5　目地処理の上　ビニールクロス貼り</div> </div>	
<div> <div>ハ</div> <div>・・・ 既存吹付面　下地処理の上　内部吹付塗材　吹付 (※機器等、撤去に伴う補修を含む。)</div> </div>	<div> <div>ト</div> <div>・・・ 新設ビニル巾木　H=100</div> </div>	

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	 株式会社 創和設計 設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第32620号 小河 豪 一般建築士 第35243号 伊東 和典 一般建築士 事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小河 豪		SHEET NO.
	平成 28 年度 箕輪町図書館耐震改修工事	一般閲覧室、学習室、会議室 改修後 2 階 展 開 図	A2:1/50	H 28 . 7				A-22 / 63



【 凡 例 】		
<div><div>■</div>・・・ 既存モルタル下地モルタル塗り内部吹付塗材 撤去</div> <div><div>イ</div>・・・ L G S 下地 G B - R 厚12.5+9.5mm 目地処理の上内部吹付塗材 吹付</div> <div><div>□</div>・・・ リプラス下地 モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付</div> <div><div>ハ</div>・・・ 既存吹付面 下地処理の上 内部吹付塗材 吹付 (※機器等、撤去に伴う補修を含む。)</div>	<div><div>ニ</div>・・・ 新設鉄部 S O P 塗装</div> <div><div>ホ</div>・・・ 新設木部 S O P 塗装</div> <div><div>ヘ</div>・・・ L G S 下地 G B - R 厚12.5+9.5 目地処理の上 内部用塗材 吹付</div> <div><div>ト</div>・・・ 新設ビニル巾木 H=100</div>	<div><div>a</div>・・・ 既存のまま</div>

MEMORANDUM		TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK・DRAWING	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡深田町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大田登録 第352433号 一般建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小 河 豪	SHEET NO.
		平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	児童閲覧室・ラウンジ・ホール・書庫 改修後 2階 展 開 図	A2:1/50	H 2 8 . 7	設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第13507号 小河 節郎		A-23 / 63
						一般建築士 第35433号 小河 豪		
						一般建築士 第22929号 伊東 紀典		

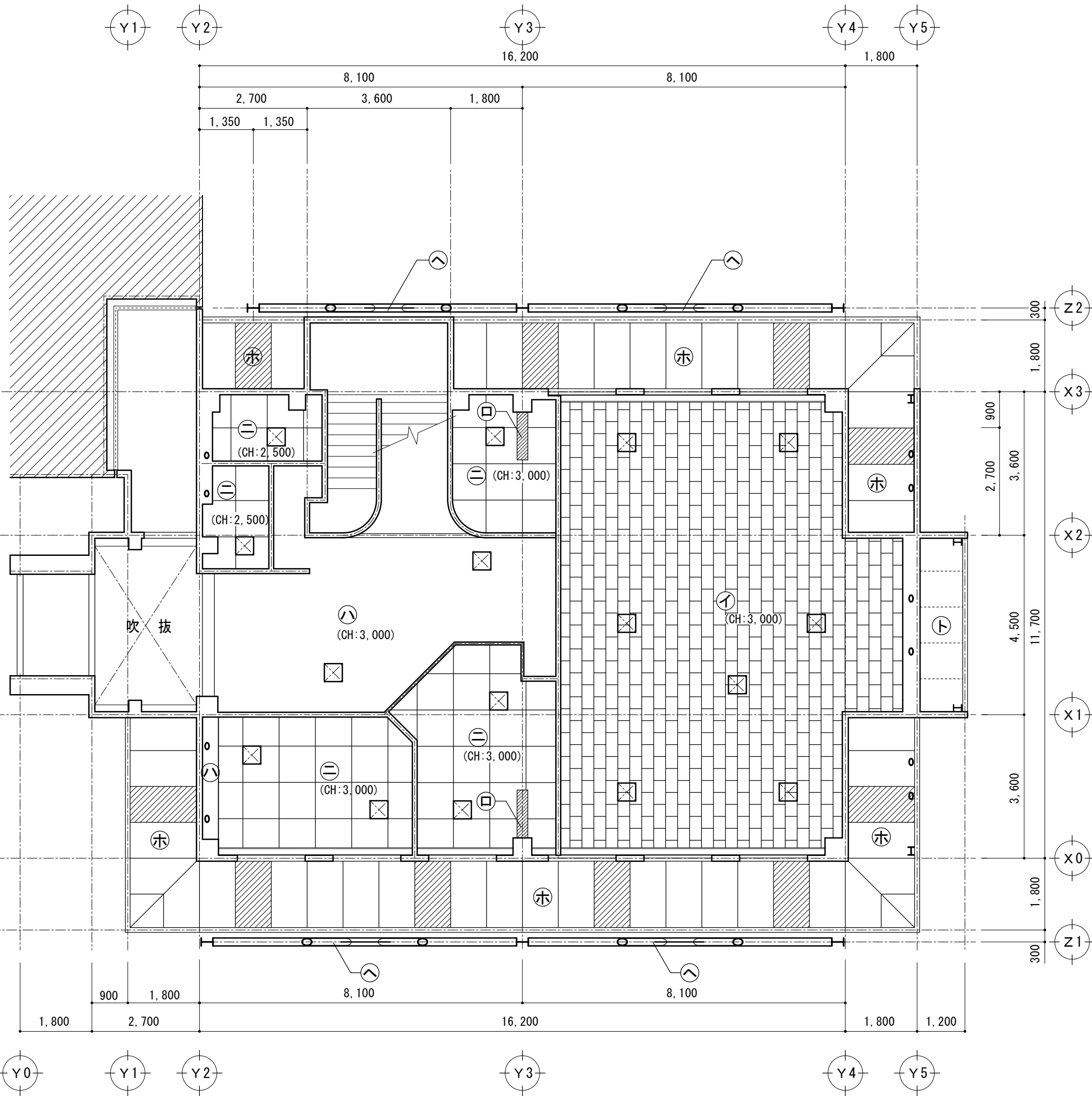


現状・撤去 1 階天井伏図 1/100

【凡例】

- (A) . . . LGS下地 GB-R 厚9mm ヒル石吹付
- (B) . . . LGS下地 GB-R 厚9mm下張り GB-D (T) 厚9mm 張り
- (C) . . . LGS下地 GB-D (T) 厚9mm ヒル石吹付 アクリル製ルーバー天井
- (D) . . . LGS下地 FK 厚5mm 目すかし張り アクリルリシン吹付
- (E) . . . LGS下地 GB-R 厚9mm ビニールクロス貼り

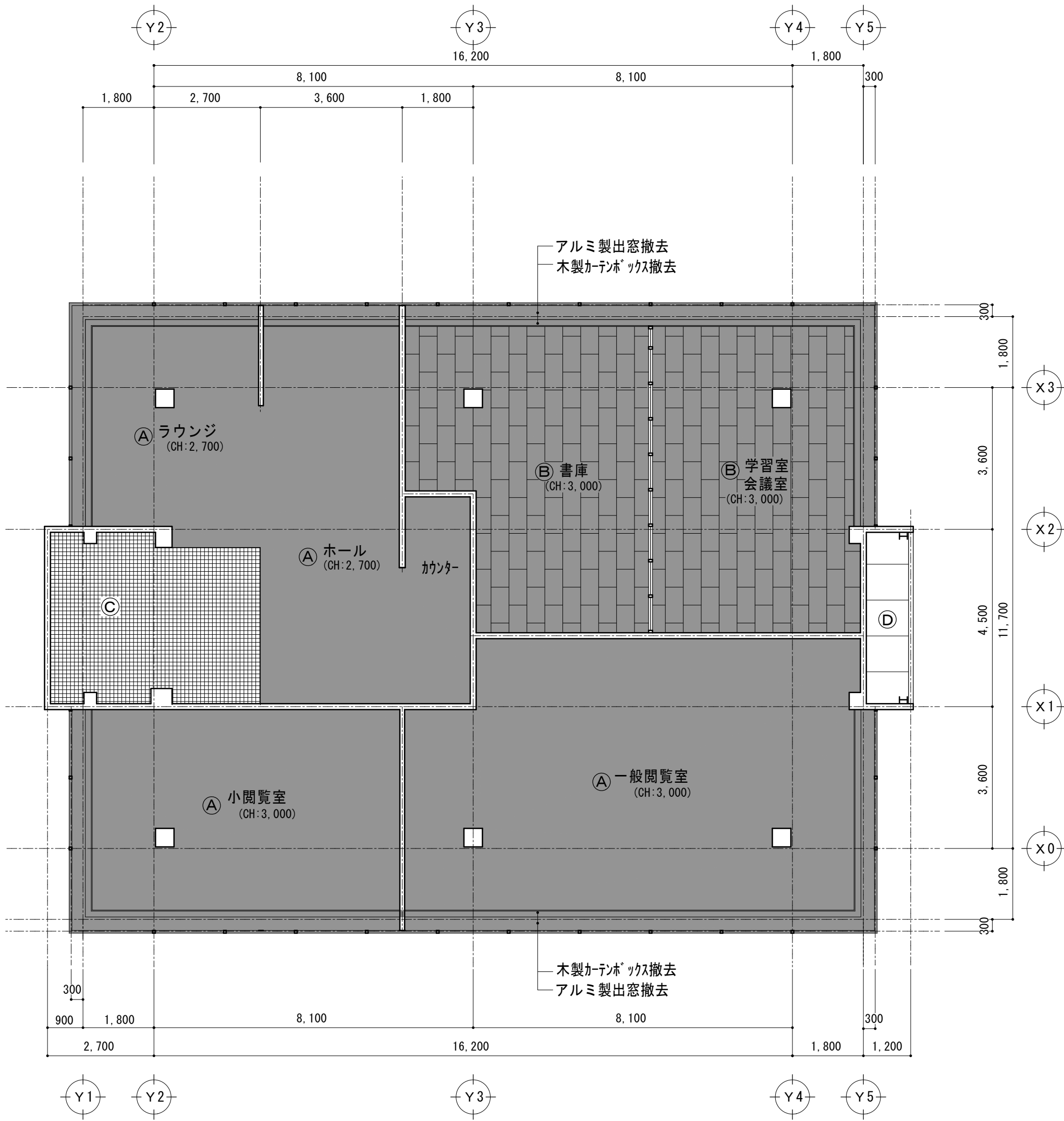
■ . . . 既存天井撤去部分 (LGS下地共吊りボルトは残す) を示す。



改修後 1 階天井伏図 1/100

【凡例】

- ① . . . LGS下地 (19形)@364 GB-R 厚9.5mm捨て張り DR厚9mm張り
- ② . . . LGS下地 (19形)@303 GB-R 厚9.5mm張り 目地処理の上 内部用塗材 吹付
- ③ . . . LGS下地 (19形)@303 GB-R 厚9.5mm張り 目地処理の上 ビニールクロス貼り
- ④ . . . LGS下地 (19形)@303 GB-D (T) 910×910 厚9.5mm張り
- ⑤ . . . LGS下地 (25形)@227 FK 厚6mm 面取突付張り EP-G (斜線部は、有孔FKを示す。)
- ⑥ . . . 新設鉄部 DP塗装
- ⑦ . . . 既存FK 厚5mm 目すかし張り 下地調整の上 EP-G
- ⑧ . . . アルミ枠製天井点検口 450×450

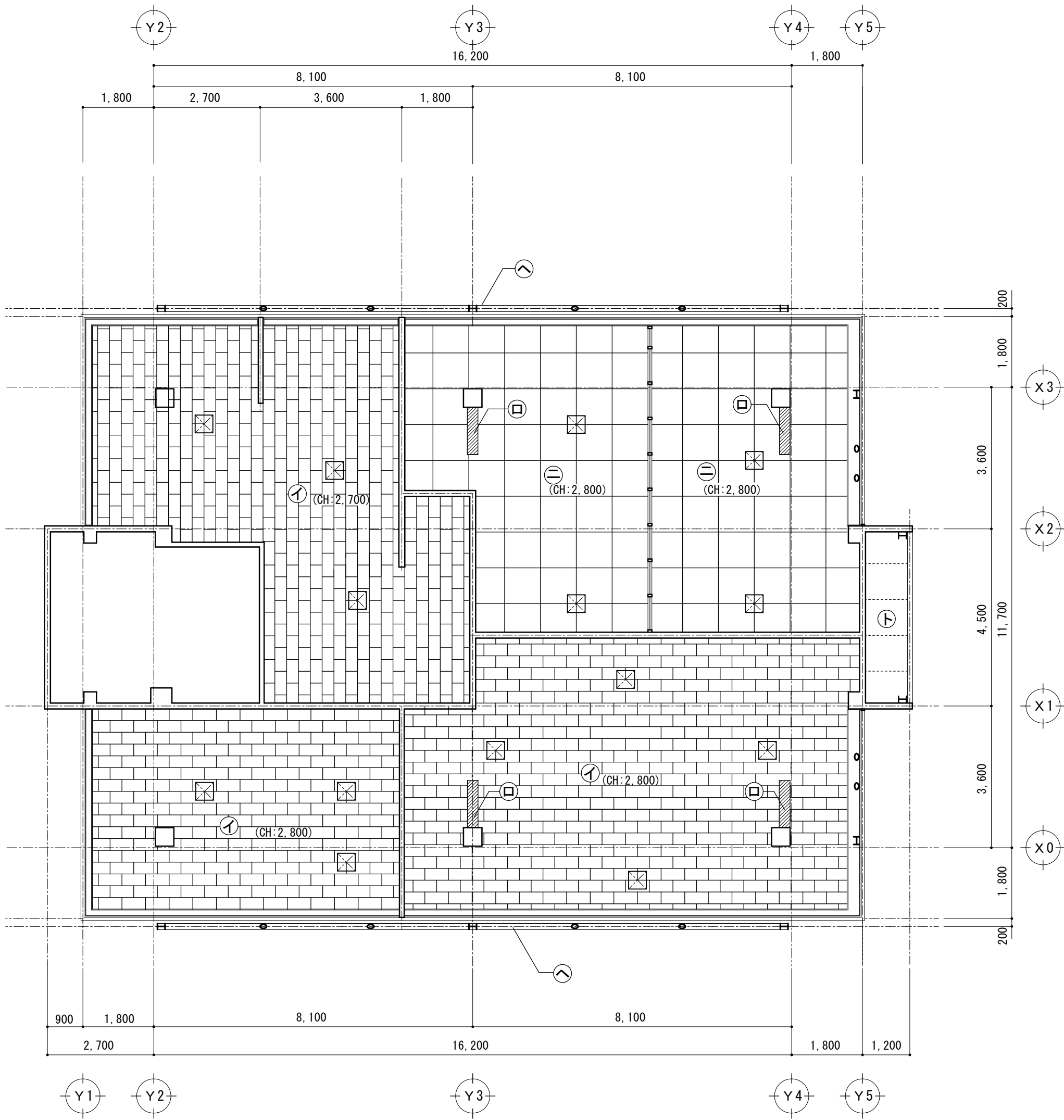


現状・撤去 2 階天井伏図 1/100

【凡例】

- Ⓐ …… LGS下地 GB-R 厚9mm ヒル石吹付
- Ⓑ …… LGS下地 GB-R 厚9mm下張り GB-D (T) 厚9mm 張り
- Ⓒ …… LGS下地 GB-D (T) 厚9mm ヒル石吹付 アクリル製ルーバー天井
- Ⓓ …… LGS下地 FK 厚5mm 目すかし張り アクリルリシン吹付

■ …… 既存天井撤去部分 (LGS下地共吊りボルトは残す) を示す。

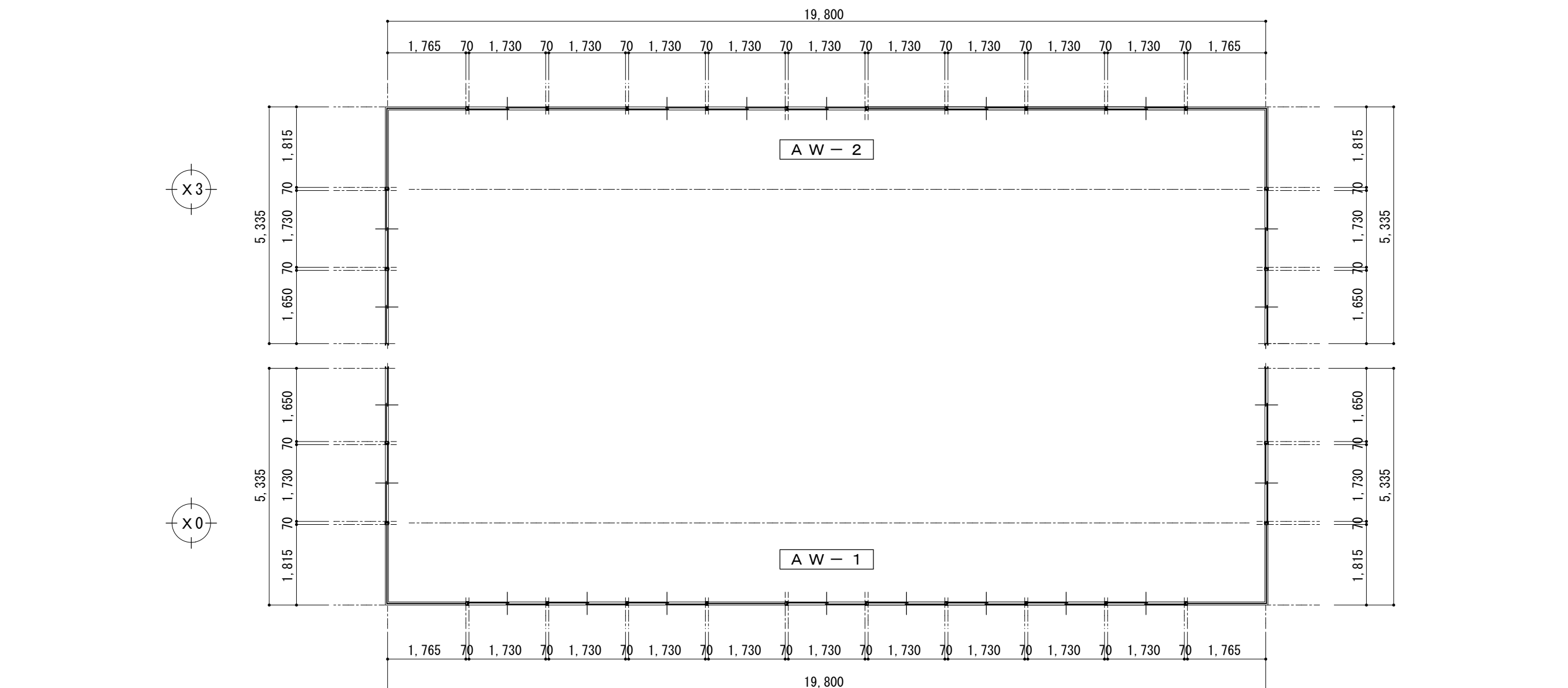
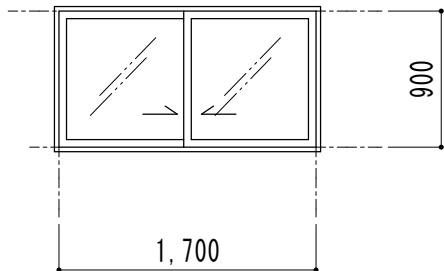
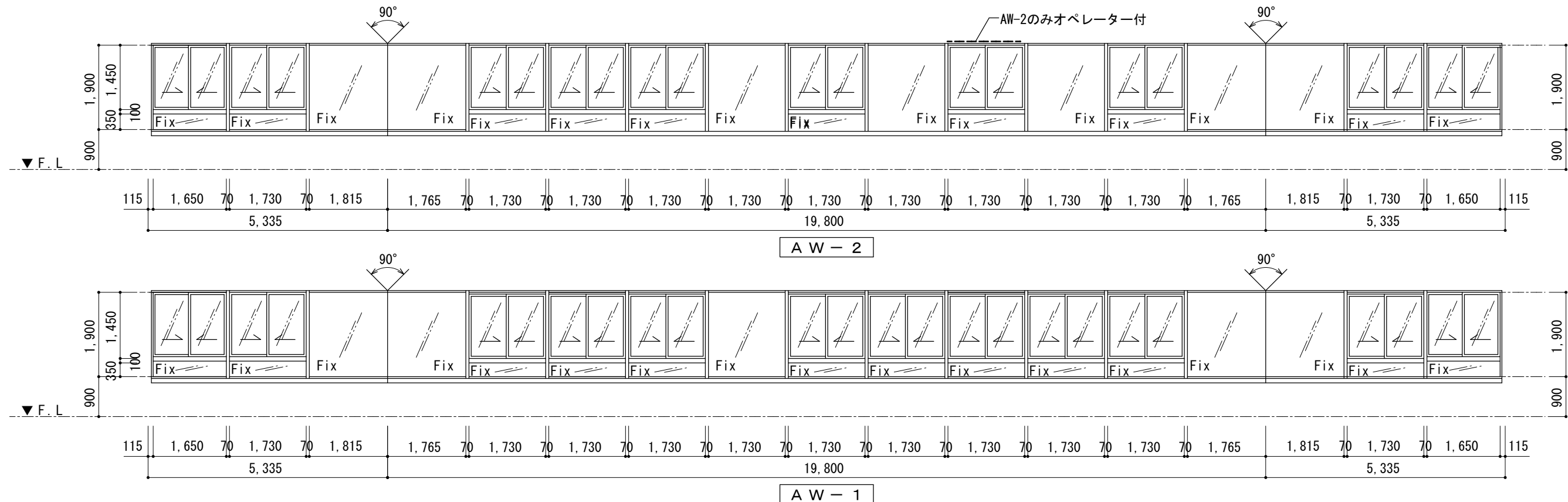


改修後 2 階天井伏図 1/100

【凡例】

- ① …… LGS下地 (19形) @364 GB-R 厚9.5mm捨て張り DR厚9mm張り
- Ⓐ …… LGS下地 (19形) @303 GB-R 厚9.5mm張り 目地処理の上 内部用塗材 吹付
- Ⓑ …… LGS下地 (19形) @303 GB-R 厚9.5mm張り 目地処理の上 ビニールクロス貼り
- Ⓒ …… LGS下地 (19形) @303 GB-D (T) 910×910 厚9.5mm張り
- Ⓓ …… LGS下地 (25形) @227 FK 厚6mm 面取突付張り EP-G (斜線部は、有孔FKを示す。)
- Ⓔ …… 新設鉄部 DP塗装
- Ⓕ …… 既存FK 厚5mm 目すかし張り 下地調整の上 EP-G
- Ⓖ …… アルミ枠製天井点検口 450×450

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	株式会社 創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	2 階天井伏図	A2:1/100	H28. 7	設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第13507号 小河 節郎	長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小河 豪	A-25 / 63

記号	形式・数量	AW1	A L C納まり はめ殺し1ヶ所・コーナ-はめ殺し（90° ）2ヶ所・下:はめ殺し+上:引違い12段窓2ヶ所計 15連窓	1ヶ所	記号	形式・数量	AW3	A L C納まり 引違い	1ヶ所
	取付場所	1	2階小閲覧室・一般閲覧室・学習室/会議室・書庫・階段・ラウンジ			取付場所	3	1階 物置スペース	
姿 図	AW2	A L C納まり はめ殺し3ヶ所・コーナ-はめ殺し（90° ）2ヶ所・下:はめ殺し+上:引違い2段窓10ヶ所計 15連窓 オペレーター付1ヶ所			1ヶ所	姿 図			
									
	材質・見込み						アルミ製 70		
	仕 上						無着色陽極酸化塗装 複合被膜 B-1種		
	ガ ラ ス						型板ガラス厚4mm		
金 物					付属金物一式				
備 考					ガラス留めシーリング				
姿 図	記号	形式・数量				姿 図			
	取付場所								
	材質・見込み								
	仕 上								
	ガ ラ ス								
金 物					アルミアングル、方立・下アルミ水切り加工H=100				
付属金物一式									
備 考					ガラス留めシーリング・ステンレス網戸付				

耐震補強工事特記仕様書

1. 特記事項は下記によるが、その他の事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事標準仕様書」（平成25年版）※¹ による。

2. 本工事の基本となる指針は日本建築防災協会発行「2001年 改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説」※² である。施工業者はその内容について十分精通した上で、施工計画を立てること。

3. ※1 ※2 は現場常備とする。

1) 工事計画

・ 本工事は、既存の構造体に対して部材を増設することによって耐震性の向上及び構造の改善を図るもので、既存躯体との接合が 極めて重要である。また、この方法は限られた場所で行われるもので、一般の建築工事とは施工方法等相当異なる面がある。

特に次の点に十分注意すること。
(1) 躯体寸法、階高寸法その他は実測による。
(2) 既存コンクリートとの一体化を図る。
(3) 施工に先立ち全工程の施工計画書を作成し、承諾を得ること。

2) 使用材料

(1) コンクリート 設計基準強度 Fc=21N/mm²
(2) 水セメント比 60%以下、単位セメント量 300kg/m³以上
(3) レディミクストコンクリート使用とする。
(4) 粗骨材の最大寸法 20mm程度以下
(5) スランプ 18cm以下
(6) 所用空気量 4.5%
(7) 使用材料等

- 鉄筋 SD345（D19以上）、SD295A（D16以下）規格品
- 無収縮モルタル 設計基準強度 Fc=30N/mm²以上
- 樹脂アンカー カプセル型接着系アンカー
- 鉄骨 鋼板は、SN400B その他鋼材・・・SS400、及びSSC400 高力ボルト・・・S10T
アンカーボルト・・・ABR400

・コンクリート圧縮強度試験は公的機関で行う。試験は1日施工する毎に、JIS A1132に従って圧縮試験体を3本（材令28日）作成する。

・コンクリート品質は下記の表による。

スランプ (cm)	空気量 (%)	塩化物イオン量 (kg/m ³)
18±2.5	4.5±1.5	0.3以下

3) 材料試験

・ 下記の材料は、共通仕様書に従い材料試験を行う。但しコンクリート・モルタル以外は監督員の承諾を受けた場合に限り、メーカーが保証する検査証明書を提出して、これを省略することができる。

・ 1)セメント 2)コンクリート 3)モルタル 4)鉄筋 5)アンカー

・ 樹脂アンカーについては、引張試験を行う。

・ 普通コンクリートについては、JIS A 1132「コンクリートの強度試験用供試体の作り方」及びJIS A 1108「コンクリートの圧縮強度試験方法」に従って圧縮試験を行う。

・ 無収縮モルタルについては、「コンクリート標準示方書（土木学会）」J14ロート試験（「PCグラウトの流動性試験方法」 JSCE-F531-1994）及び圧縮試験を行う。

4) 解体・はつり

・ 騒音・粉塵・落下危険防止等、十分考慮して施工すること。

・ 補強工事に先立ち、必要に応じて増設部材が設置される面内の既存仕上げ・躯体の一部を撤去する。

・ コンクリート及び塗り壁を部分的に撤去する場合はカッター等で切り込みを付け、既存部分の仕上げに損傷を与えないように十分 注意する。

・ 増設部分と既存コンクリート躯体との接触面は、仕上げモルタル等を除去した後に既存躯体面を目荒しし、コンクリートやモルタル打設前に充分な水湿しを行う。なお、目荒しは深さ 6mm程度の凸凹で全体を荒すようにする。

・ はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。

8) 樹脂アンカー工事

・ 施工ピッチは図示による。

・ 樹脂アンカーの作業員は、社)JCAAの認定者とし、認定証明書を予め監理員に提出すること。

・ コンクリートドリルの径は樹脂アンカー及び定着孔の径に適合したものとする。穴開けを行う前に部材幅方向に溝はつりを行い、既存鉄骨や埋設管の位置を確認し、その位置を避けてドリリングする。ただし、鉄筋探知機などの方法により既存鉄筋や埋設管の位置が的確に把握できる場合には、これらの方法を用いても良い。また樹脂アンカーの見上げの施工では、必要ポリワッシャー等を使用する。

・ 穴開けに失敗した場合は、アンカー芯よりも内側に再度穴開けを行うこと。

・ 既存鉄筋に当たり、アンカー穴が開けられない場合は、既存鉄筋をはつり出して、それにアンカーを溶接する。

・ 失敗穴の処理は、躯体と同等以上の強度のモルタル等で補修すること。

・ アンカー試験

樹脂アンカー（全数打音確認）
これらの方法を用いても良い。また樹脂アンカーの見上げの施工では、必要ポリワッシャー等

・ 接着系あと施工アンカーは、公的機関（試験所、大学等）において実施した試験データを提出すること

・ 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は墨皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットプラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。
ただしショットプラスト、グリッププラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは、発生しないままでよい。

9) 鉄骨工事

・ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は、部材が十分密着するよう注意して行う。 また、締付けは一次、二次締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付が行われているか検査する。

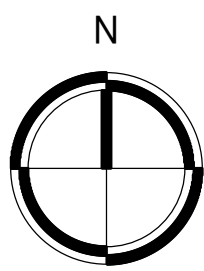
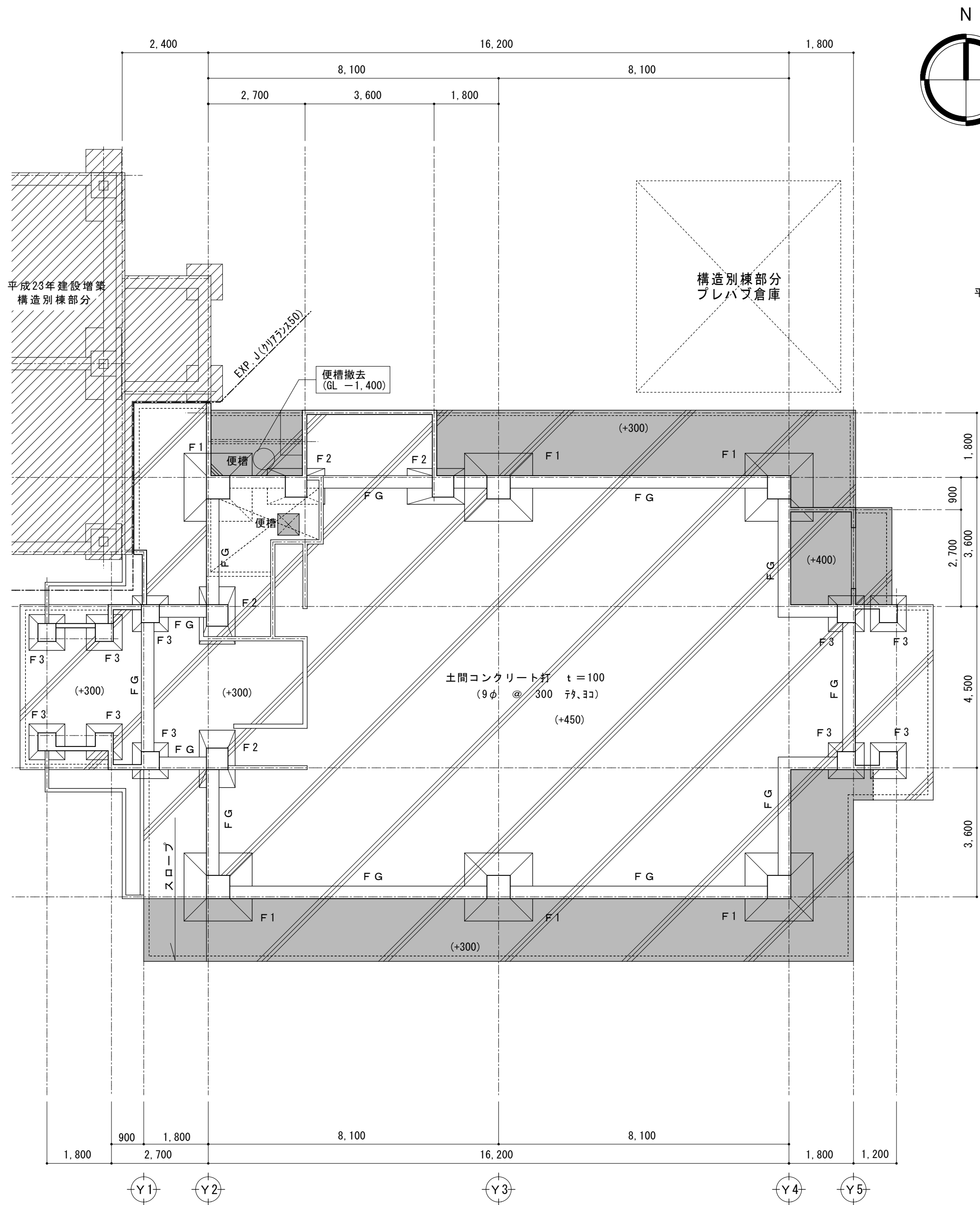
・ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする

・ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。又、既存鋼材に現場溶接を行うヶ所は、錆止塗装等は研磨し落す。

・ 鉄骨製作工場は、Mグレード以上とする。

10) 公的機関

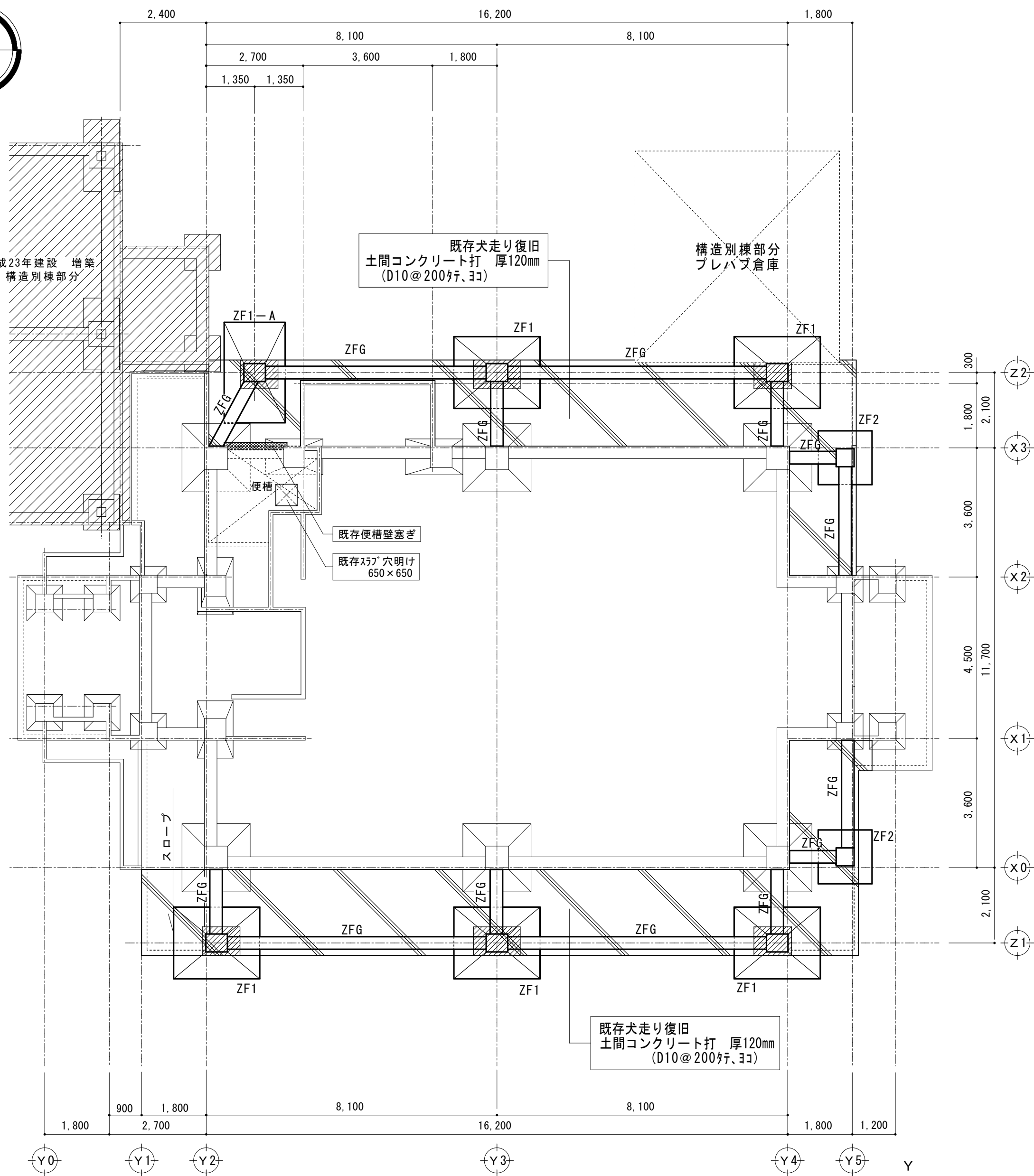
・ コンクリート及びモルタルの試験は公的機関で行うものとするが監督員の承諾によりその他の方法によってもよい。



〔既存使用材料〕

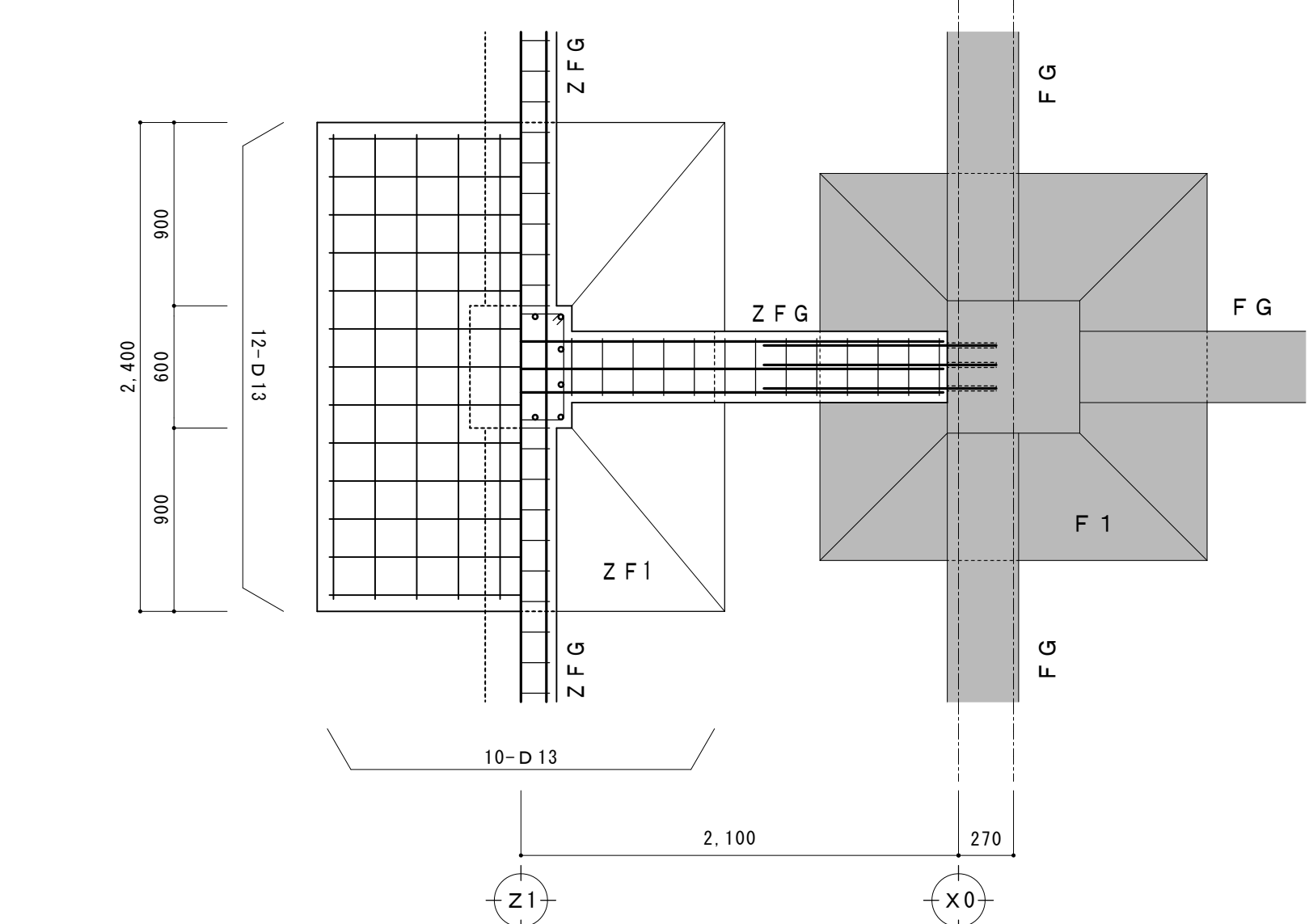
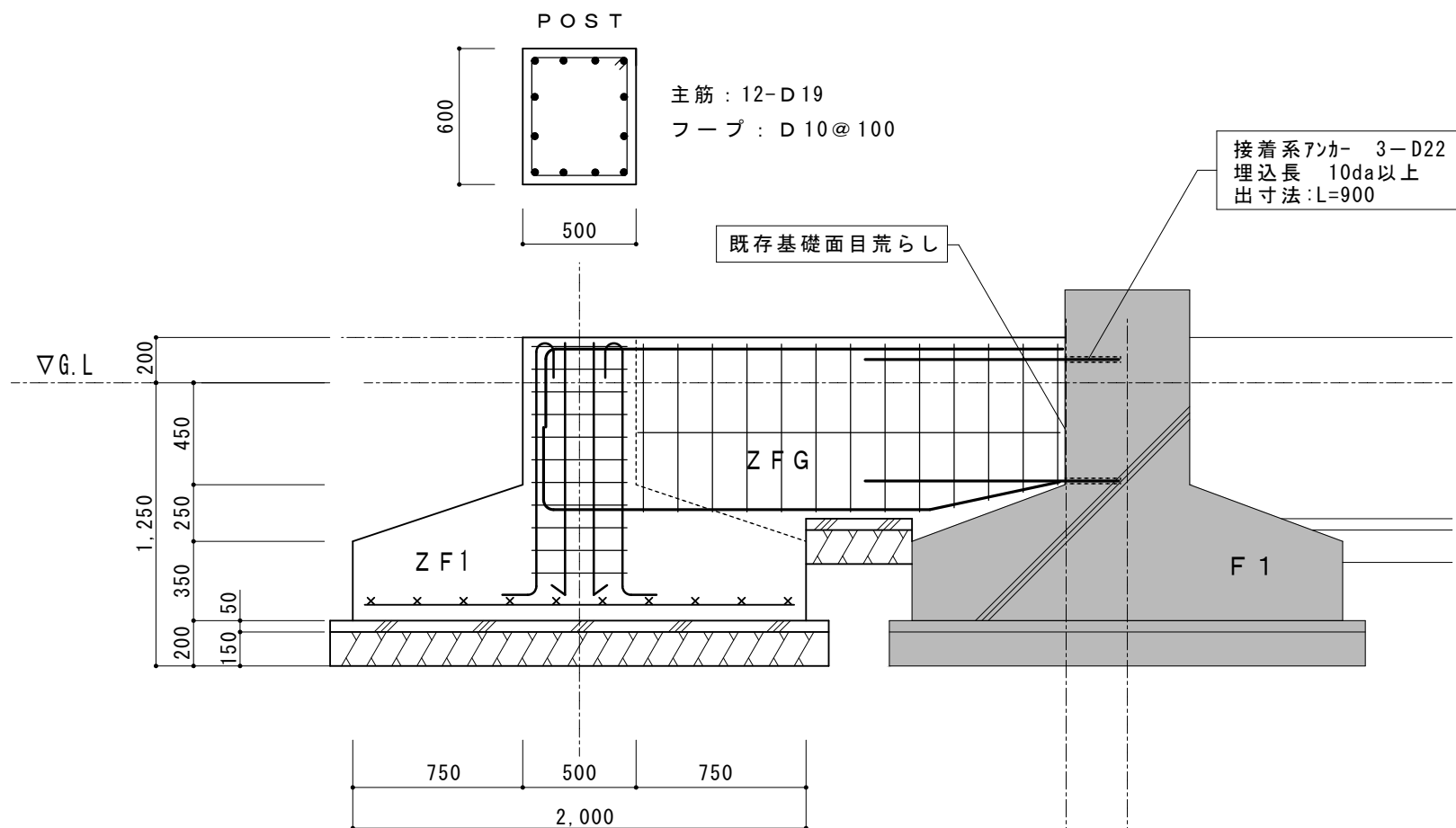
- ・ コンクリート $F_c=240\text{Kg}/\text{cm}^2$
- ・ 鉄筋 SD-295・SR-235

現 状 ・ 撤 去 基 礎 伏 図 1/100

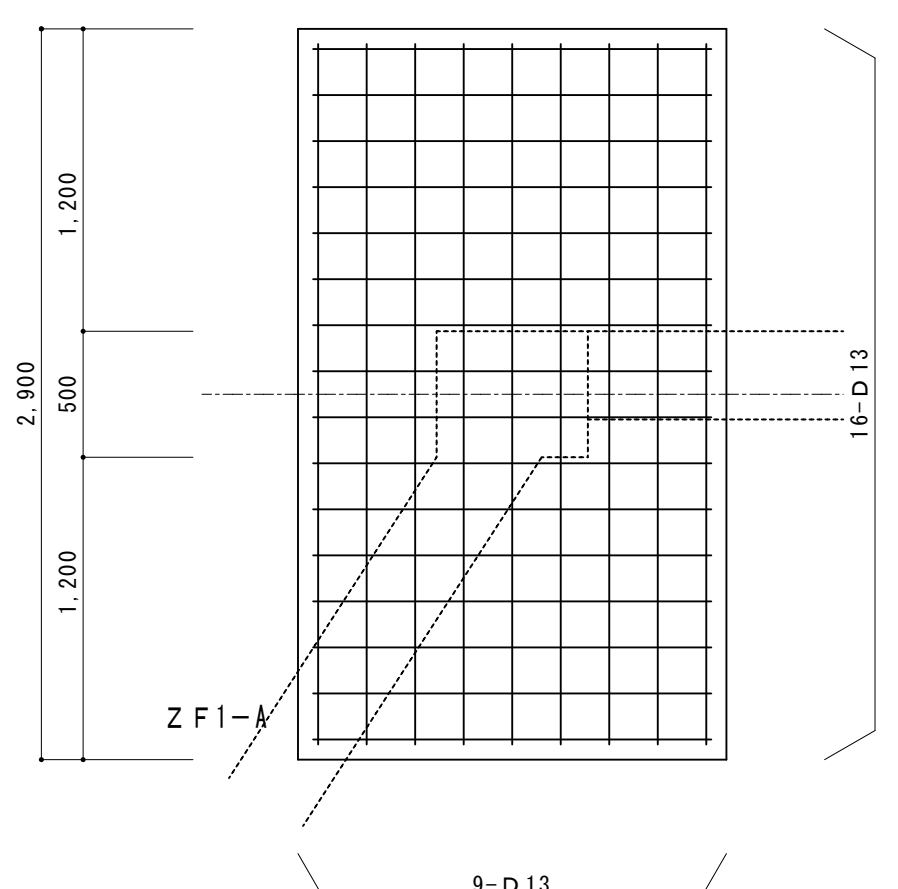
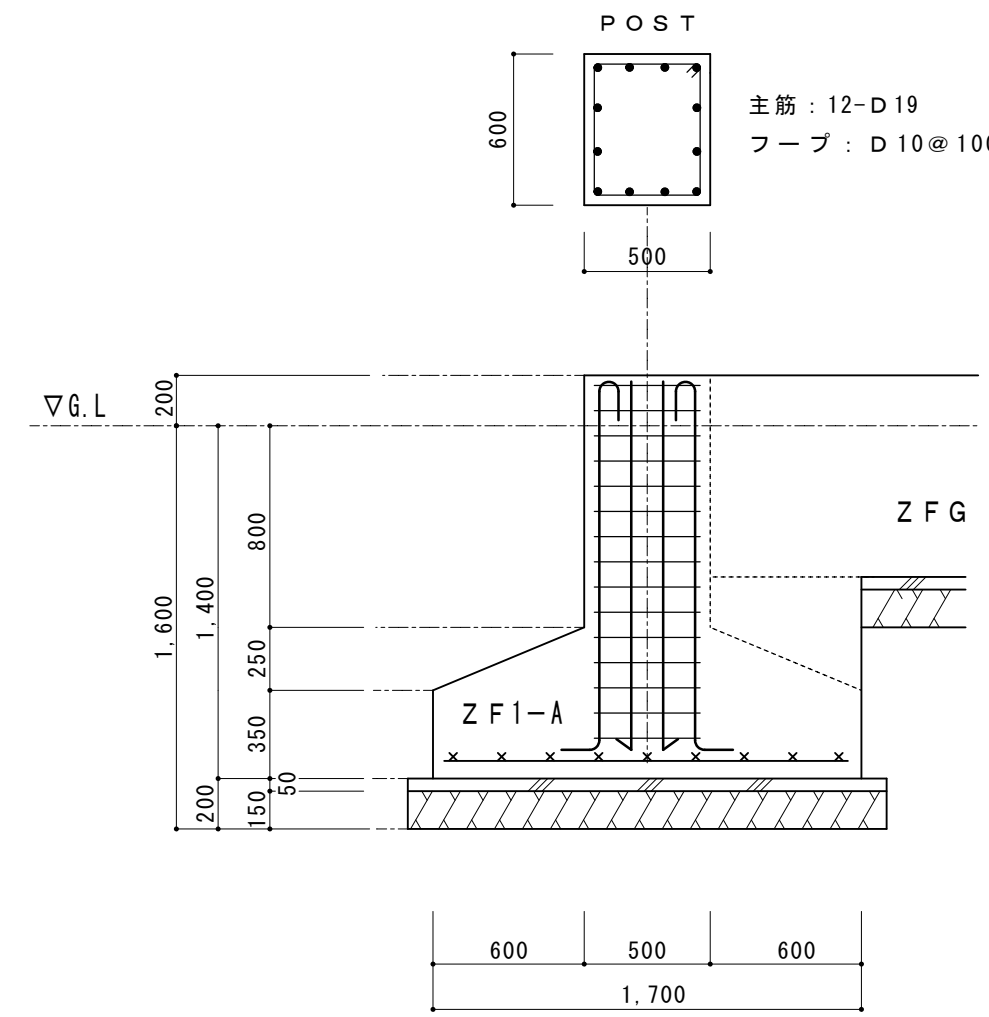


改 修 後 基 礎 伏 図 1/100

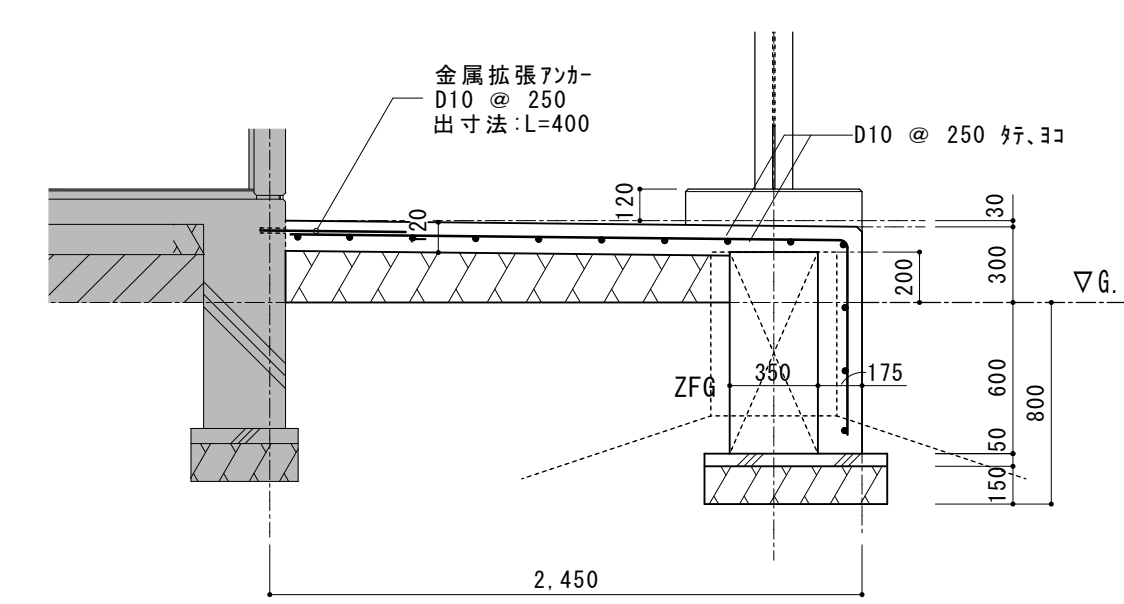
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	基 礎 伏 図	A2:1/100	H 2 8 . 7	設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第13507号 小河 節郎	長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小 河 豪	S-04 / 63



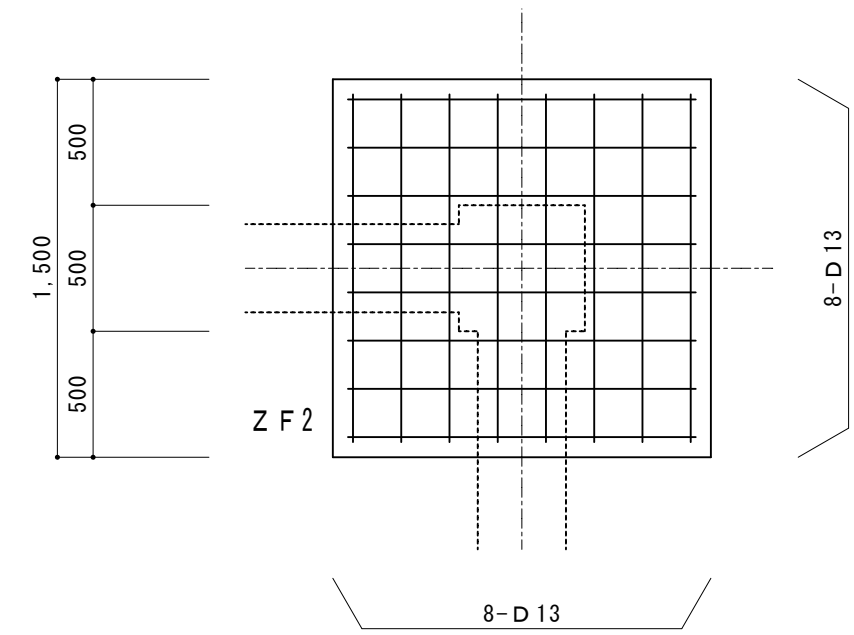
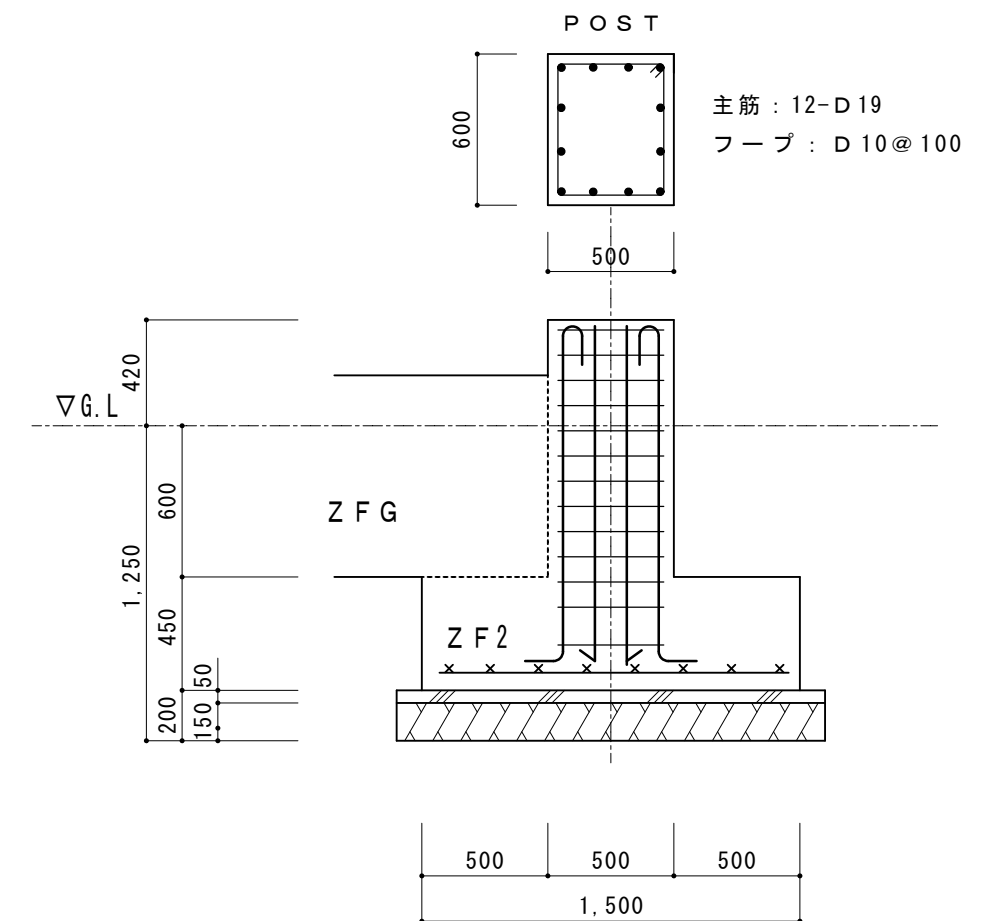
Z F 1 詳 細 図 1/30



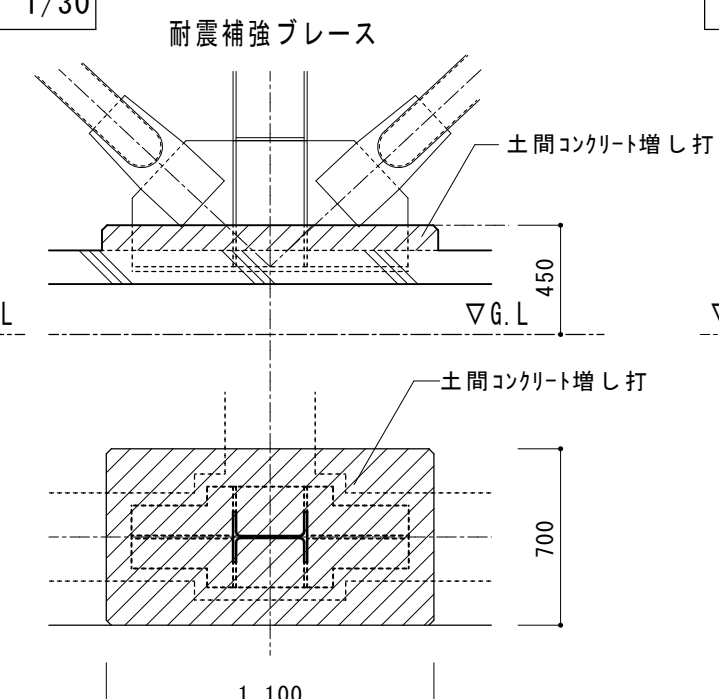
Z F 1-A 詳 細 図 1/30



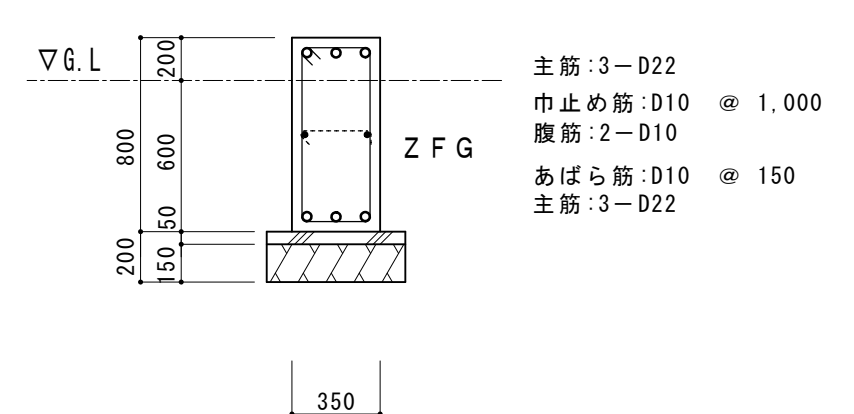
土間 詳 細 図 1/30

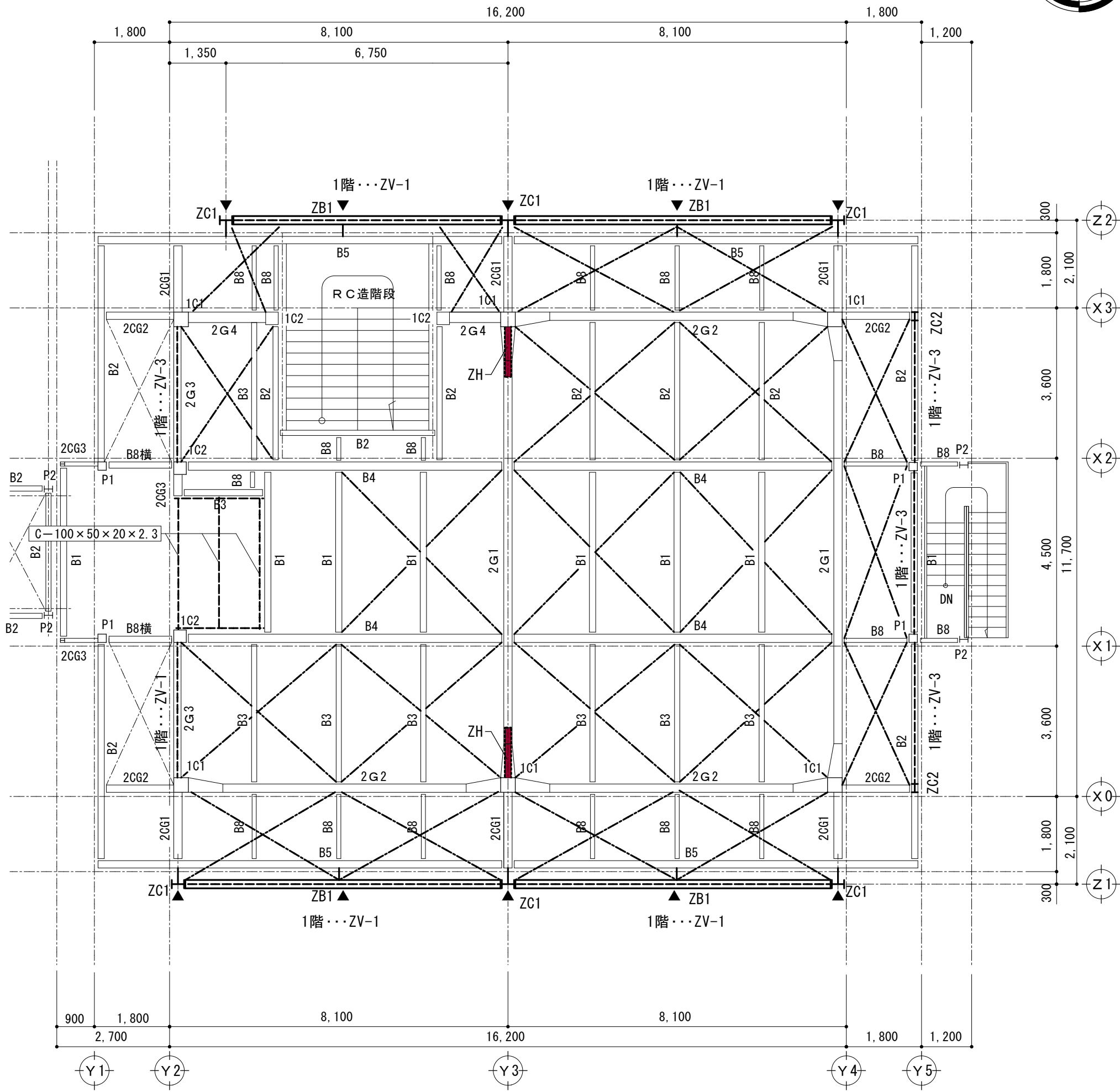
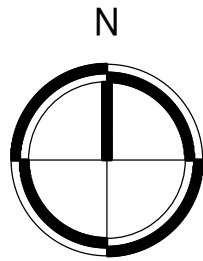


Z F 2 詳 細 図 1/30



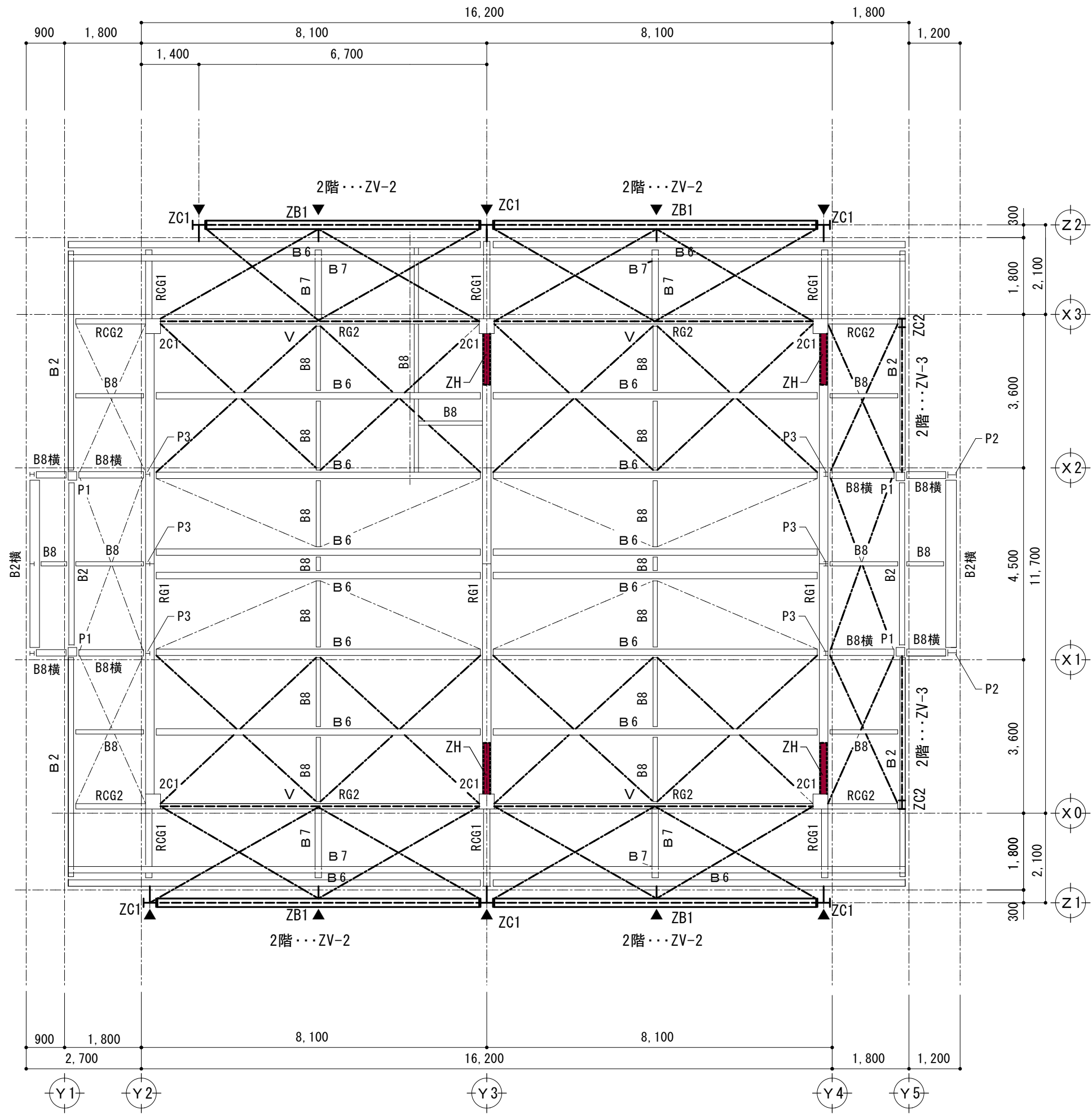
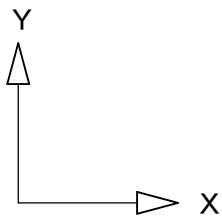
Z F G 詳 細 図 1/30





- ▲ . . . 耐震フレームと既存梁接合箇所を示す。
- . . . 増設水平ブレース L-65×65×6を示す。
水平ブレースは、Z1・Z2通り耐震フレーム鉄骨に接合とすること。

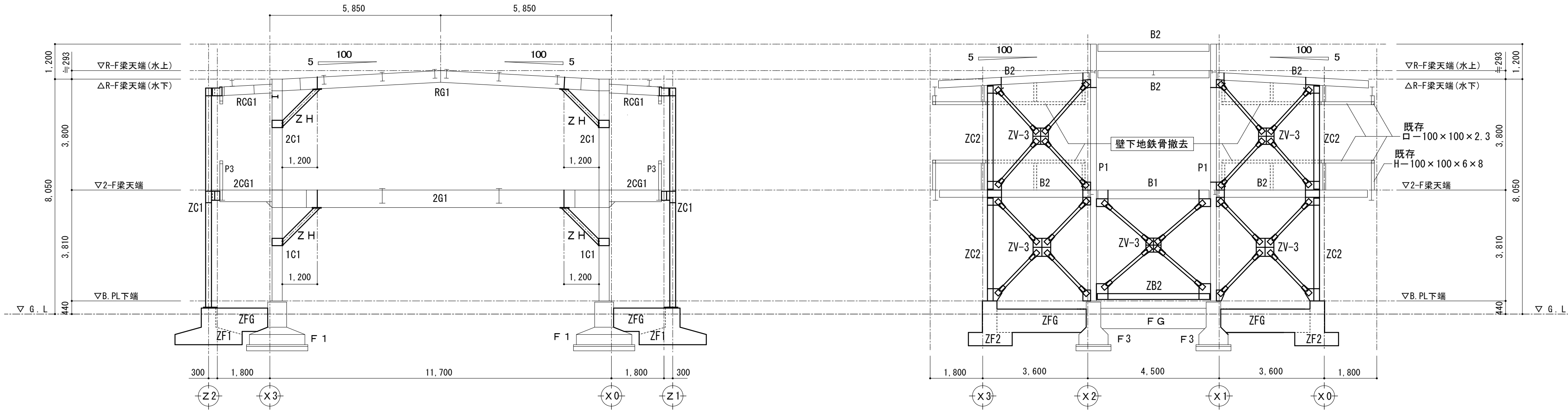
2 階 補 強 梁 伏 図 1 / 1 0 0



- ▲ . . . 耐震フレームと既存梁接合箇所を示す。
- . . . 増設水平ブレース M20を示す。
水平ブレースは、Z1・Z2通り耐震フレーム鉄骨に接合とすること。

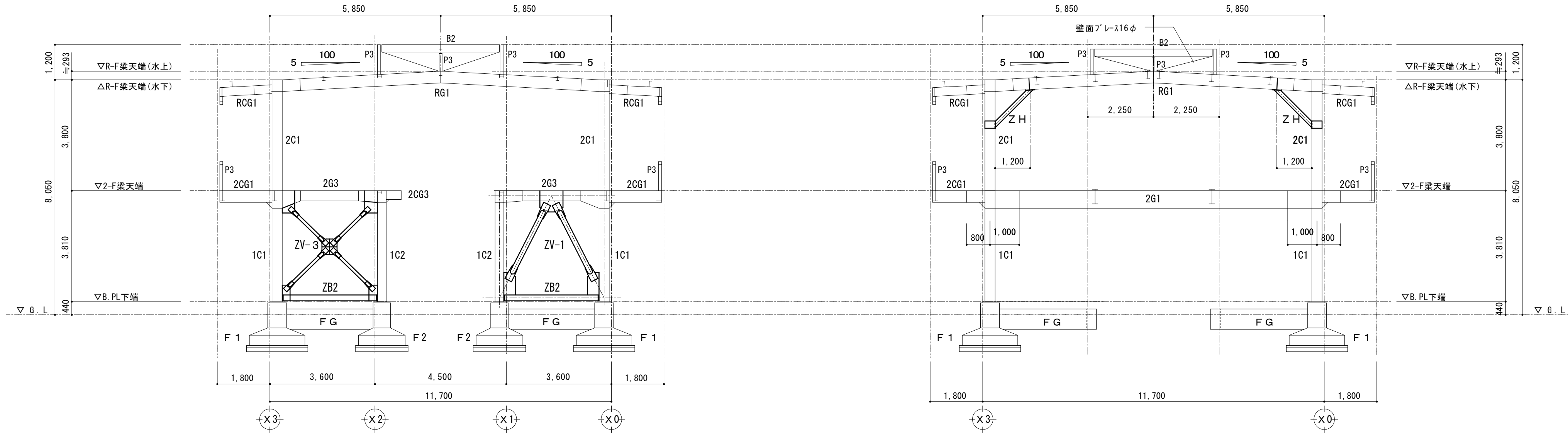
R 階 補 強 梁 伏 図 1 / 1 0 0

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	株式会社 創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	2 階 ・ R 階 梁 伏 図	A2:1/100	H 2 8 . 7	設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第13507号 小河 節郎	長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-6972 (代) 一級建築士 大田登録 第352433号 一級建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小 河 豪	S-06 / 63



Y3通り 軸組図 1/100

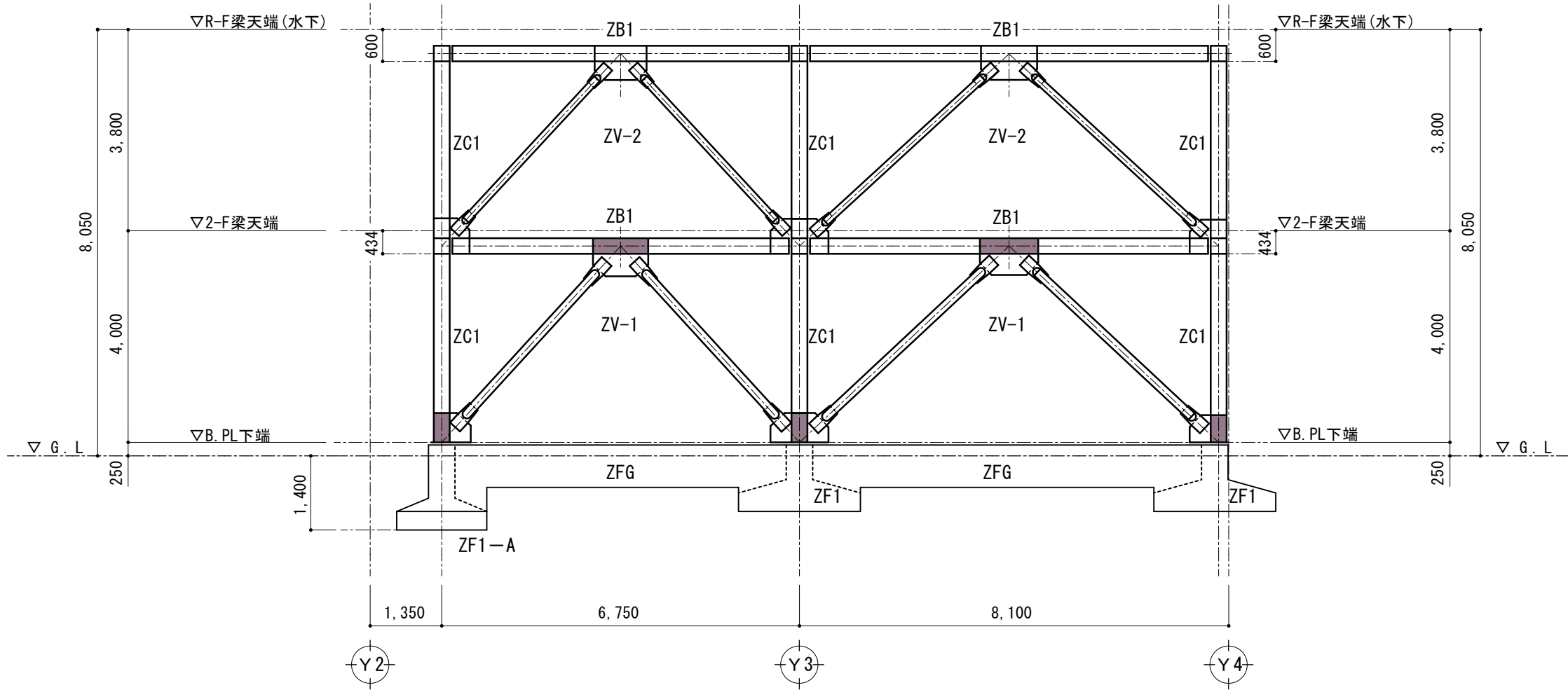
Y5通り 軸組図 1/100



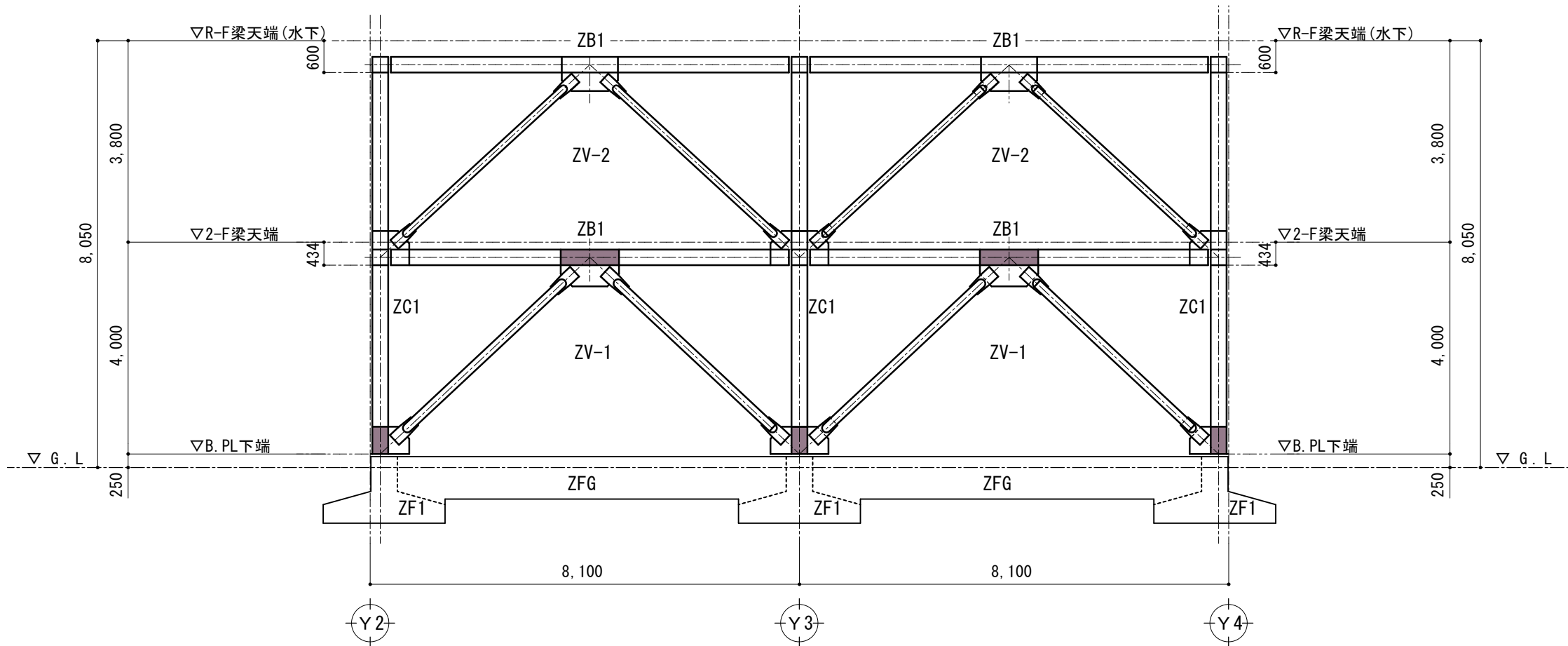
Y2通り 軸組図 1/100

Y4通り 軸組図 1/100

※ 各寸法は、現場採寸の上行うこと。



Z 2通り 軸 組 図 1/100

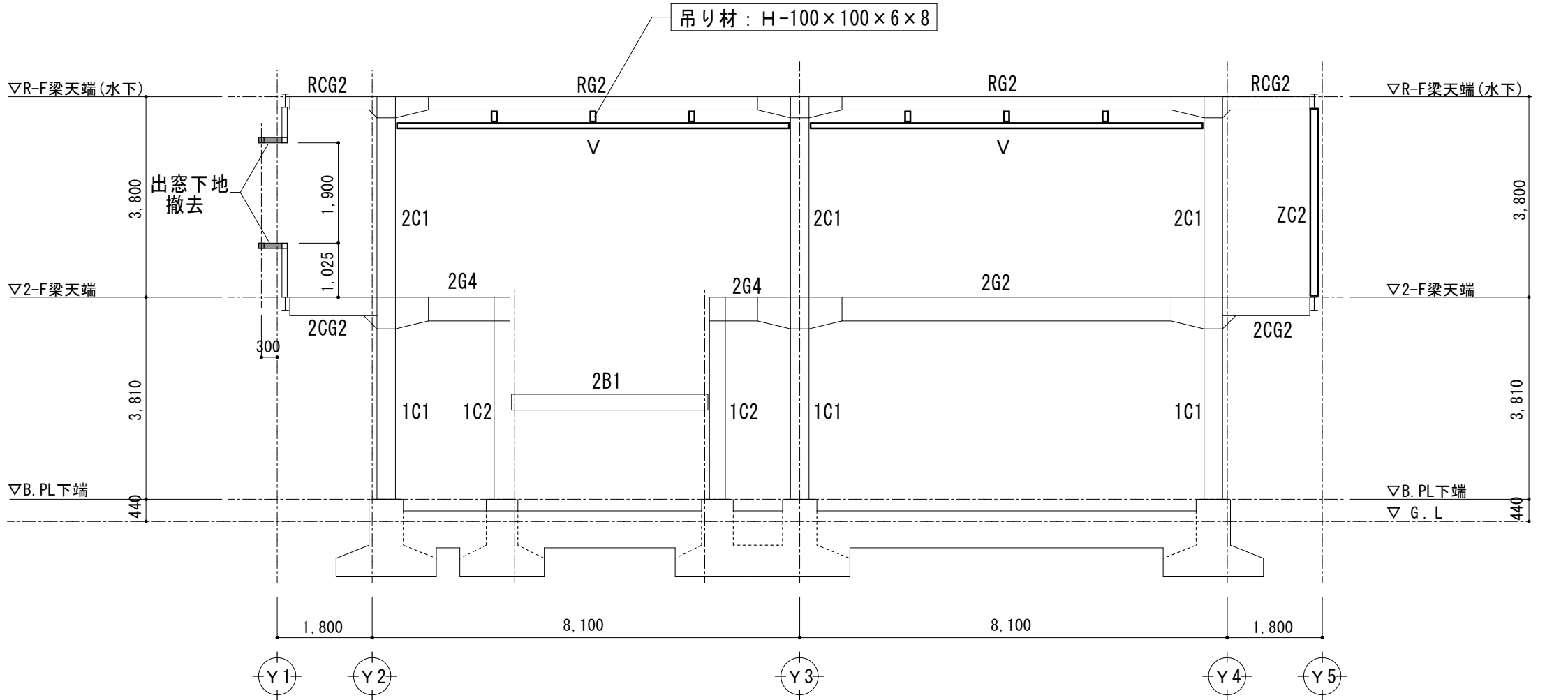


Z 1通り 軸 組 図 1/100

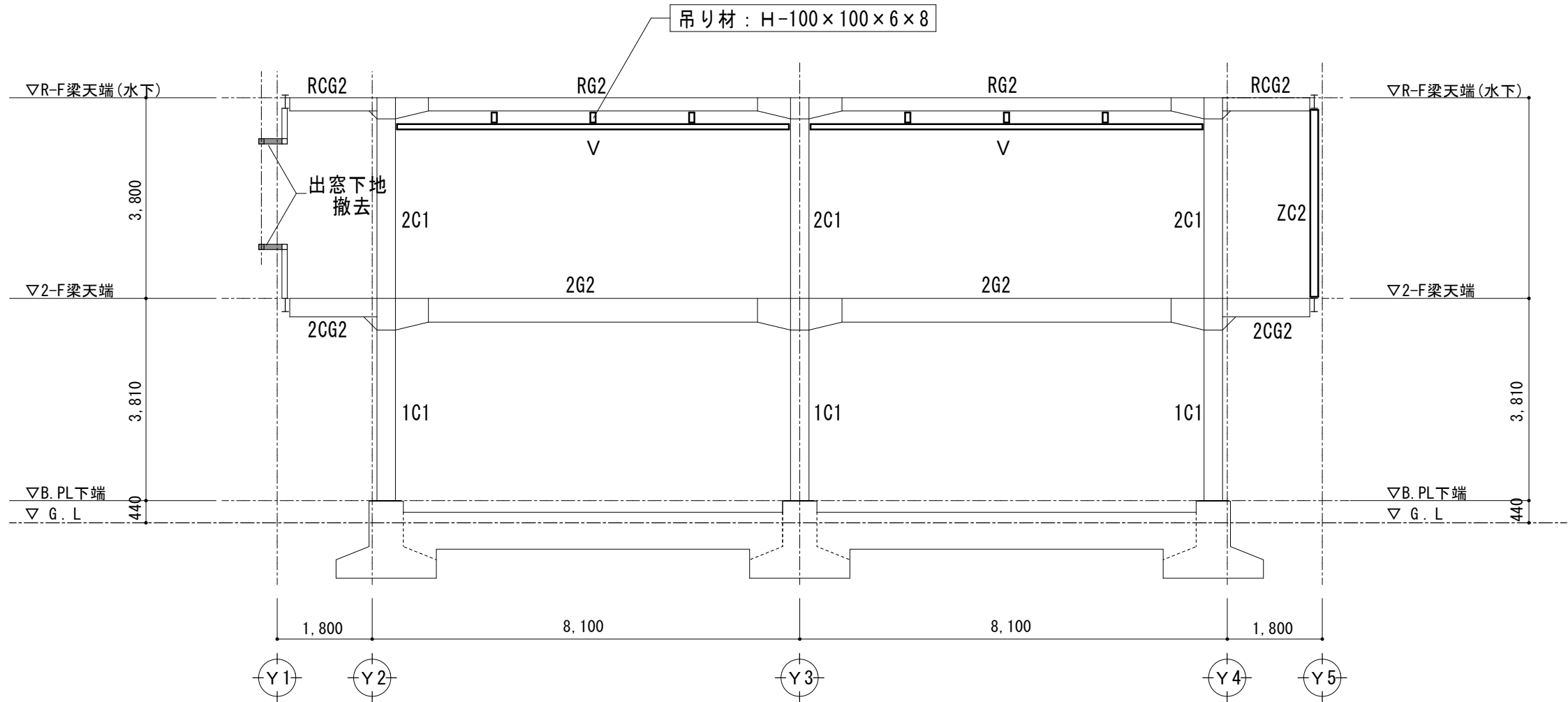
※ 各寸法は、現場採寸の上行うこと。

補 強 部 材 リ ス ト		
記 号	部 材 断 面	継手・仕口
Z C 1	H-294×200×8×12	ABT 12-M24 L=750 B. PL-19 [±] ×400×500
Z C 2	H-194×150×6×9	ABT 12-M24 L=750 B. PL-19 [±] ×400×400 HTB 4-M16 G. PL-9
Z B 1	一部BH-294×200×12×12 H-294×200×8×12	HTB 6-M20・G. PL-12
Z B 2	[-200×80×7.5×11	HTB 4-M16・G. PL-9
Z H	H-150×150×7×10	PL-19
Z V-1	165.2φ×6	HTB 6-M20・G. PL-12
Z V-2	139.8φ×6	HTB 6-M16・G. PL-9
Z V-3	101.6φ×5	HTB 4-M16・G. PL-9
増設水平 ブレース	2 F・・・L-65×65×6 R F・・・M 1 9	HTB 5-M16・G. PL-9 HTB 1-M20・G. PL-9
V	H-200×100×5.5×8 横	HTB 2-M16・G. PL-6

既 存 部 材 リ ス ト			
符号	部 材 断 面	材質	継手・仕口・その他
1C1	□-350×350×16	SM490	B. PL-500×500×19 [±] A. B. T 4-22φ L=650
2C1	□-350×350×9	〃	
1C2	□-300×300×9	SS400	B. PL-440×440×16 [±] A. B. T 4-19φ L=550
P1	□-200×200×6	〃	B. PL-340×340×12 [±] A. B. T 4-16φ L=500
P2	LH-200×150×3.2×4.5	SSC400	B. PL-110×240×6 [±] A. B. T 2-13φ L=400
P3	H-100×100×6×8	SS400	HTB2-M16 G. PL-9
2G1	H-600×200×11×17 (端部)H-600×350×12×16 (PL加工)	SS400	F・・・HTB6-M22 外PL-16・内PL-12 W・・・HTB6-M20 2PL-9
2G2	H-446×199×8×12 (端部)H-600×350×9×12 (PL加工)	〃	F・・・HTB6-M20 2PL-12 W・・・HTB5-M20 2PL-6
2G3	H-350×175×7×11 (端部)H-400×300×6×12 (600) (9) (PL加工)	〃	F・・・HTB4-M20 2PL-9 W・・・HTB3-M20 2PL-6
2G4	H-350×250×6×12 (PL加工) (端部)H-350×250×6×12 (600) (PL加工)	〃	F・・・HTB4-M20 2PL-9 W・・・HTB3-M20 2PL-6
2CG1	H-400×200×8×13	〃	F・・・突き合せ溶接 W・・・すみ肉溶接
2CG2	H-350×175×7×11	〃	〃
2CG3	H-300×150×6.5×9	〃	〃
2CG4	H-200×100×5.5×8	〃	〃
2CG5	LH-200×150×3.2×4.5	SSC400	〃
RG1	H-400×200×8×13	SS400	F・・・HTB6-M20 外PL-9・内PL-12 W・・・HTB4-M20 2PL-6
RG2	H-250×125×6×9 (端部)H-400×200×6×9 (PL加工)	〃	F・・・HTB6-M16 PL-12 W・・・HTB3-M16 2PL-4.5
RCG1	H-300×150×6.5×9	〃	F・・・HTB4-M20 PL-12 W・・・HTB3-M16 2PL-4.5
RCG2	H-250×125×6×9	〃	F・・・HTB6-M16 PL-12 W・・・HTB3-M16 2PL-4.5
RCG3	H-200×100×5.5×8	〃	
B1	H-300×150×6.5×9	SS400	HTB3-M16 G. PL-6
B2	LH-250×125×4.5×6	SSC400	HTB3-M16 G. PL-6
B3	LH-200×150×3.2×6	〃	HTB2-M16 G. PL-6
B4	H-496×199×9×14	〃	HTB5-M20 G. PL-12
B5	H-350×175×7×11	〃	HTB3-M20 G. PL-9
B6	LH-300×150×4.5×6	SSC400	HTB3-M16 G. PL-6
B7	LH-200×150×3.2×4.5	〃	HTB2-M16 G. PL-6
B8	LH-150×100×3.2×4.5	〃	HTB2-M16 G. PL-6



X3通り 軸組図 1/100



X0通り 軸組図 1/100

※ 各寸法は、現場採寸の上行うこと。

補 強 部 材 リ ス ト		
記 号	部 材 断 面	継手・仕口
Z C 1	H-294×200×8×12	ABT 12-M24 L=750 B. PL-19 ^t ×400×500
Z C 2	H-194×150×6×9	ABT 12-M24 L=750 B. PL-19 ^t ×400×400 HTB 4-M16 G. PL-9
Z B 1	一部BH-294×200×12×12 H-294×200×8×12	HTB 6-M20・G. PL-12
Z B 2	[-200×80×7.5×11	HTB 4-M16・G. PL-9
Z H	H-150×150×7×10	PL-19
Z V-1	165.2φ×6	HTB 6-M20・G. PL-12
Z V-2	139.8φ×6	HTB 6-M16・G. PL-9
Z V-3	101.6φ×5	HTB 4-M16・G. PL-9
増設水平 ブレース	2 F・・・L-65×65×6	HTB 5-M16・G. PL-9
	R F・・・M19	HTB 1-M20・G. PL-9
V	H-200×100×5.5×8 横	HTB 2-M16・G. PL-6

既 存 部 材 リ ス ト			
符号	部 材 断 面	材質	継手・仕口・その他
1C1	□-350×350×16	SM490	B. PL-500×500×19 ^t A. B. T 4-22φ L=650
2C1	□-350×350×9	〃	
1C2	□-300×300×9	SS400	B. PL-440×440×16 ^t A. B. T 4-19φ L=550
P1	□-200×200×6	〃	B. PL-340×340×12 ^t A. B. T 4-16φ L=500
P2	LH-200×150×3.2×4.5	SSC400	B. PL-110×240×6 ^t A. B. T 2-13φ L=400
P3	H-100×100×6×8	SS400	HTB2-M16 G. PL-9
2G1	H-600×200×11×17 (端部)H-600×350×12×16 (PL加工)	SS400	F・・・HTB6-M22 外PL-16・内PL-12 W・・・HTB6-M20 2PL-9
2G2	H-446×199×8×12 (端部)H-600×350×9×12 (PL加工)	〃	F・・・HTB6-M20 2PL-12 W・・・HTB5-M20 2PL-6
2G3	H-350×175×7×11 (端部)H-400×300×6×12 (600) (9) (PL加工)	〃	F・・・HTB4-M20 2PL-9 W・・・HTB3-M20 2PL-6
2G4	H-350×250×6×12 (PL加工) (端部)H-350×250×6×12 (600) (PL加工)	〃	F・・・HTB4-M20 2PL-9 W・・・HTB3-M20 2PL-6
2CG1	H-400×200×8×13	〃	F・・・突き合せ溶接 W・・・すみ肉溶接
2CG2	H-350×175×7×11	〃	〃
2CG3	H-300×150×6.5×9	〃	〃
2CG4	H-200×100×5.5×8	〃	〃
2CG5	LH-200×150×3.2×4.5	SSC400	〃
RG1	H-400×200×8×13	SS400	F・・・HTB6-M20 外PL-9・内PL-12 W・・・HTB4-M20 2PL-6
RG2	H-250×125×6×9 (端部)H-400×200×6×9 (PL加工)	〃	F・・・HTB6-M16 PL-12 W・・・HTB3-M16 2PL-4.5
RCG1	H-300×150×6.5×9	〃	F・・・HTB4-M20 PL-12 W・・・HTB3-M16 2PL-4.5
RCG2	H-250×125×6×9	〃	F・・・HTB6-M16 PL-12 W・・・HTB3-M16 2PL-4.5
RCG3	H-200×100×5.5×8	〃	
B1	H-300×150×6.5×9	SS400	HTB3-M16 G. PL-6
B2	LH-250×125×4.5×6	SSC400	HTB3-M16 G. PL-6
B3	LH-200×150×3.2×6	〃	HTB2-M16 G. PL-6
B4	H-496×199×9×14	〃	HTB5-M20 G. PL-12
B5	H-350×175×7×11	〃	HTB3-M20 G. PL-9
B6	LH-300×150×4.5×6	SSC400	HTB3-M16 G. PL-6
B7	LH-200×150×3.2×4.5	〃	HTB2-M16 G. PL-6
B8	LH-150×100×3.2×4.5	〃	HTB2-M16 G. PL-6

C	詳 細 図	1/10
---	-------	------

A	詳細図	1/10
---	-----	------

B - B	詳 細 図	1/10
-------	-------	------

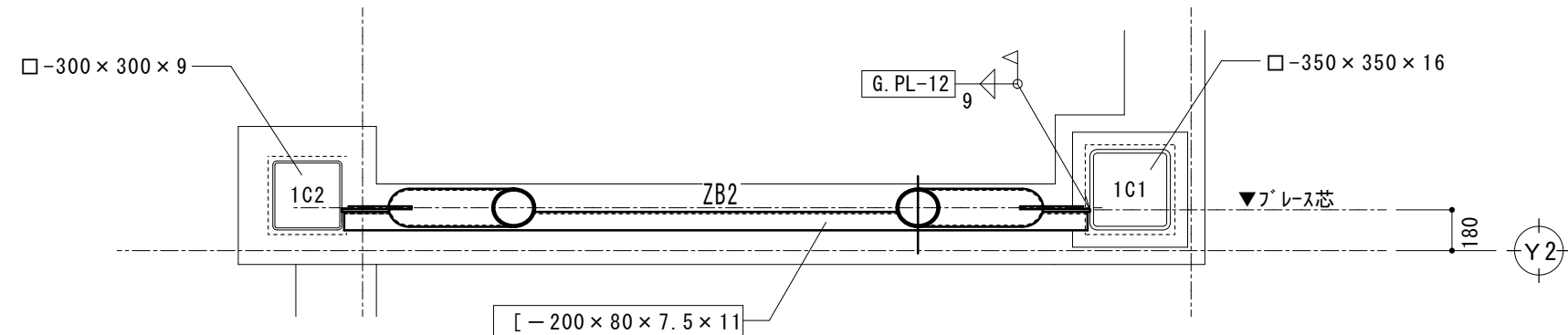
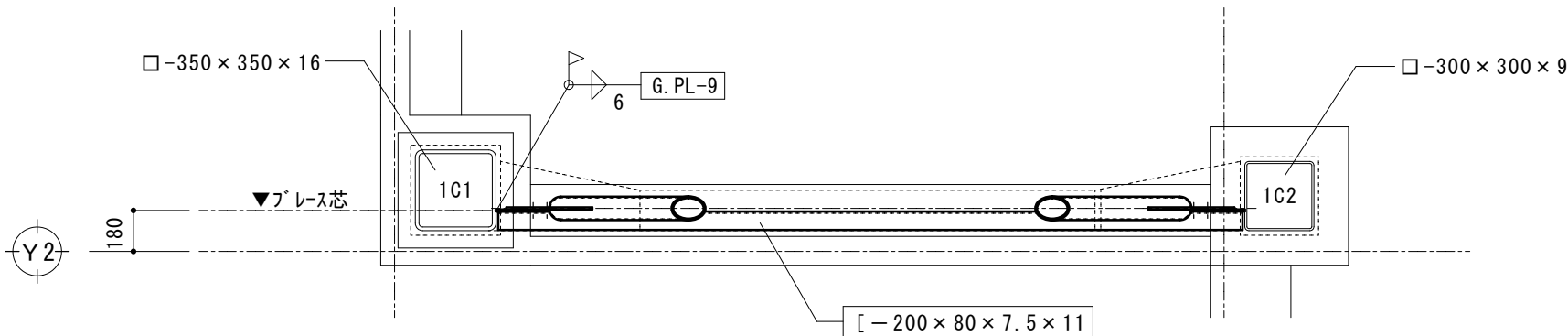
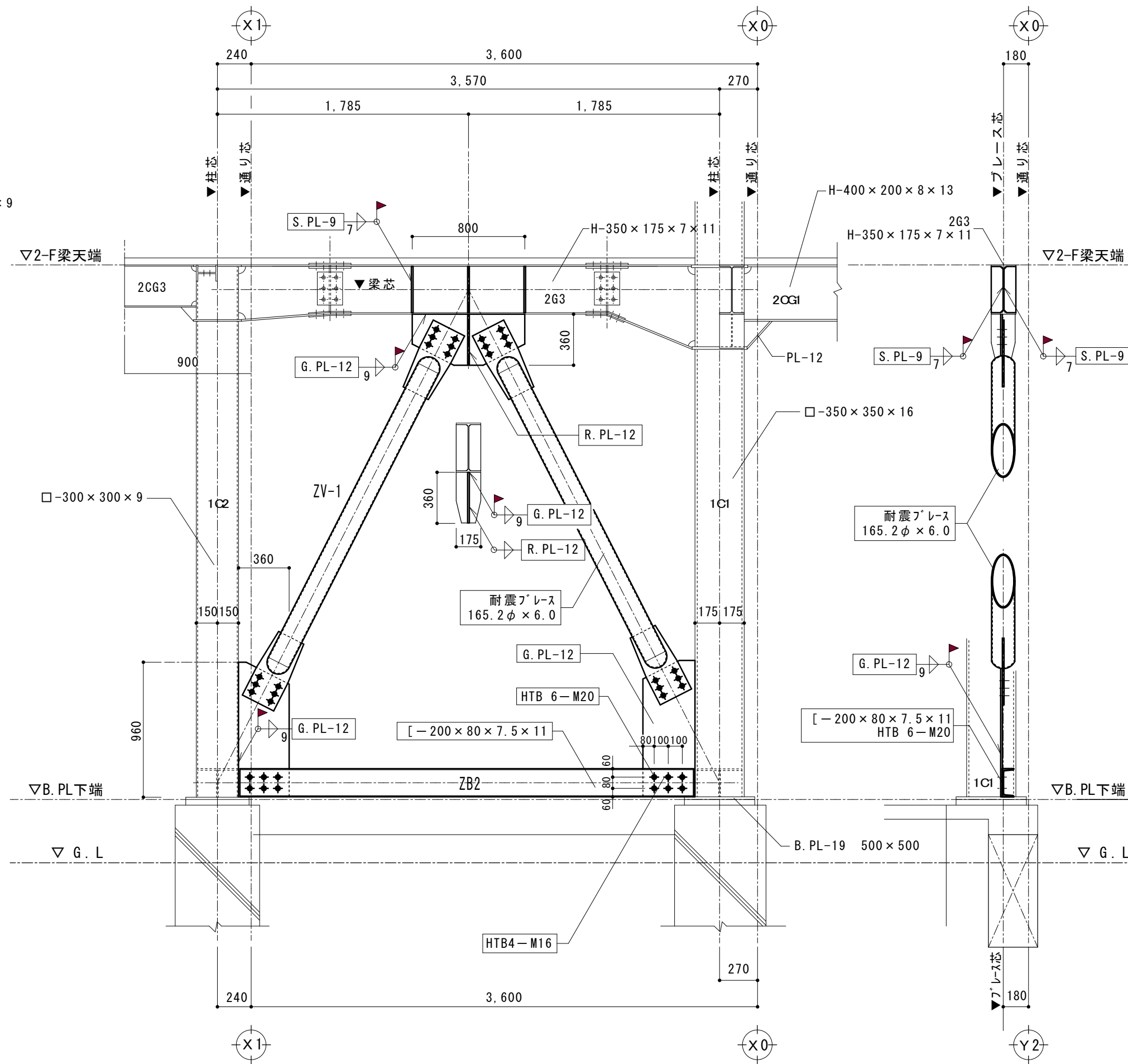
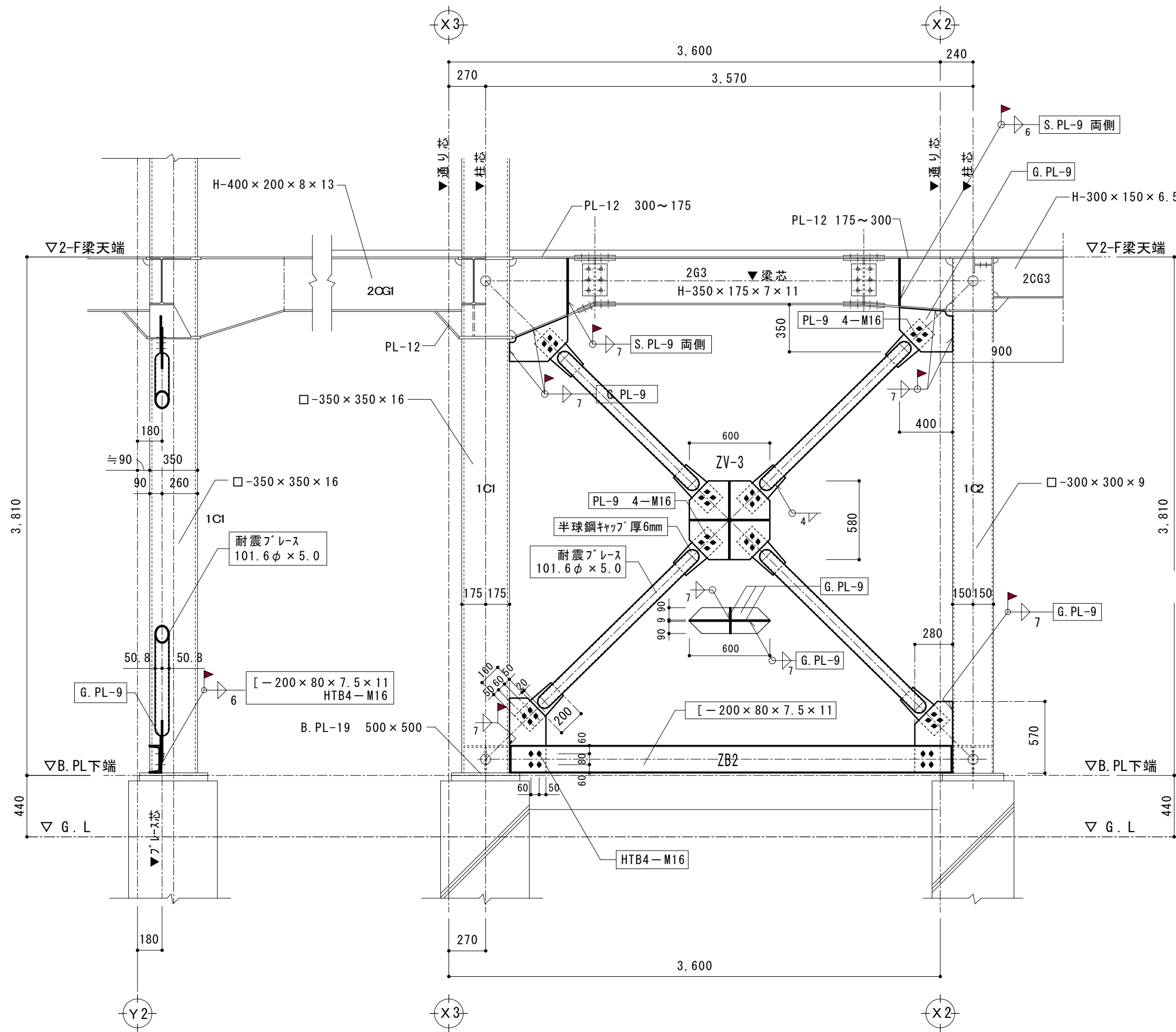
※ 【外部 錆止塗装仕様】

※ 各寸法は、現場採寸の上行うこと。

Z 1 通り	鉄 骨 詳 細 図	1/30
--------	-----------	------

【使用材料】

- ・ 鋼板類 . . . S N 400 B
- ・ その他鋼材 . . . S S 400 及び S S C 400
- ・ 高力ボルト . . . S 10 T
- ・ アンカーボルト . . . ABR400 B

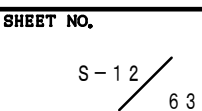


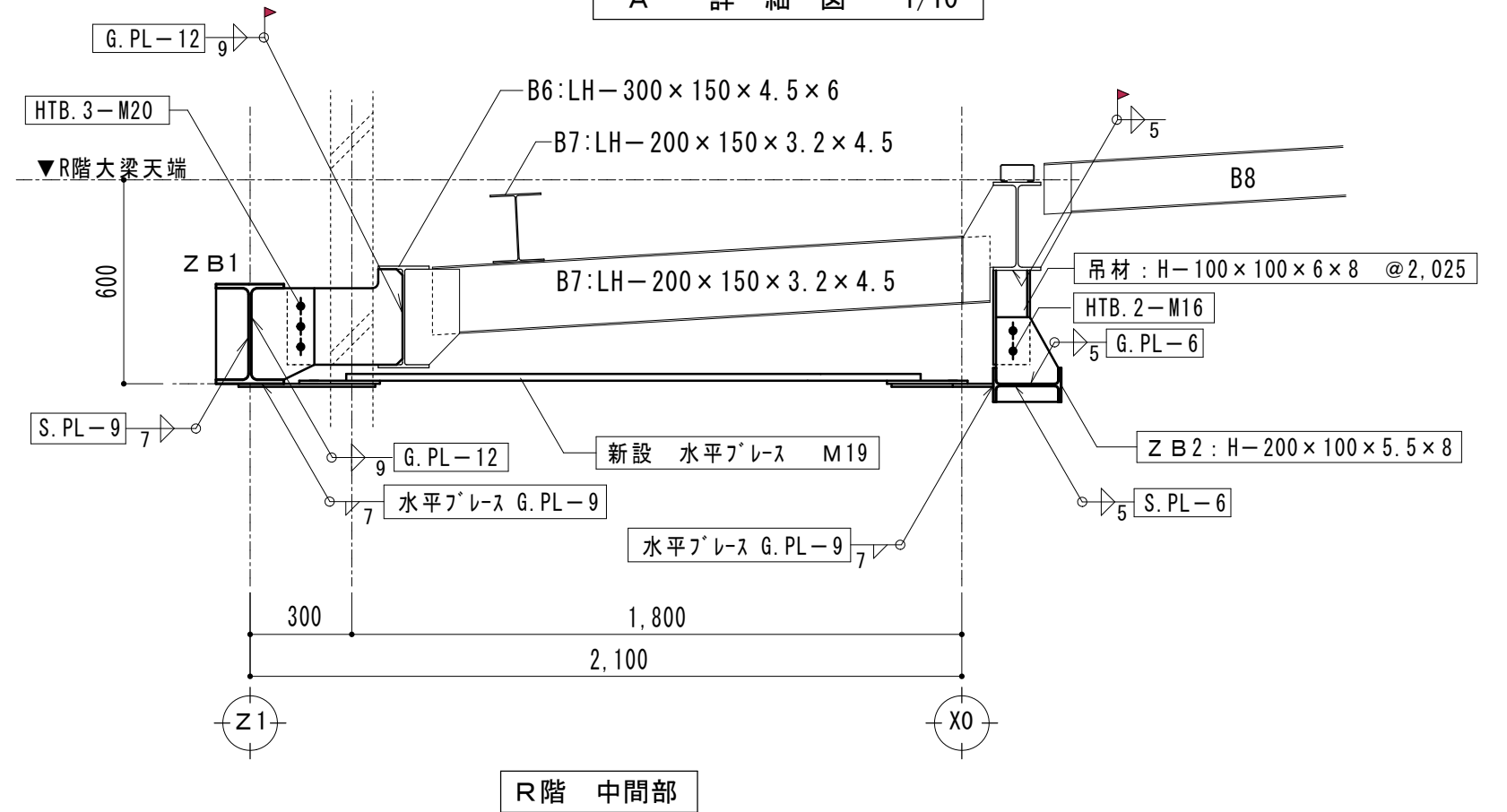
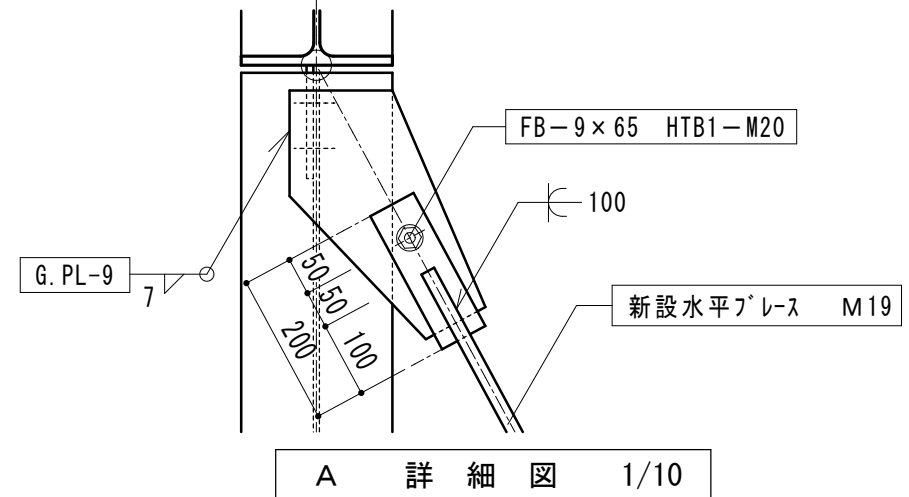
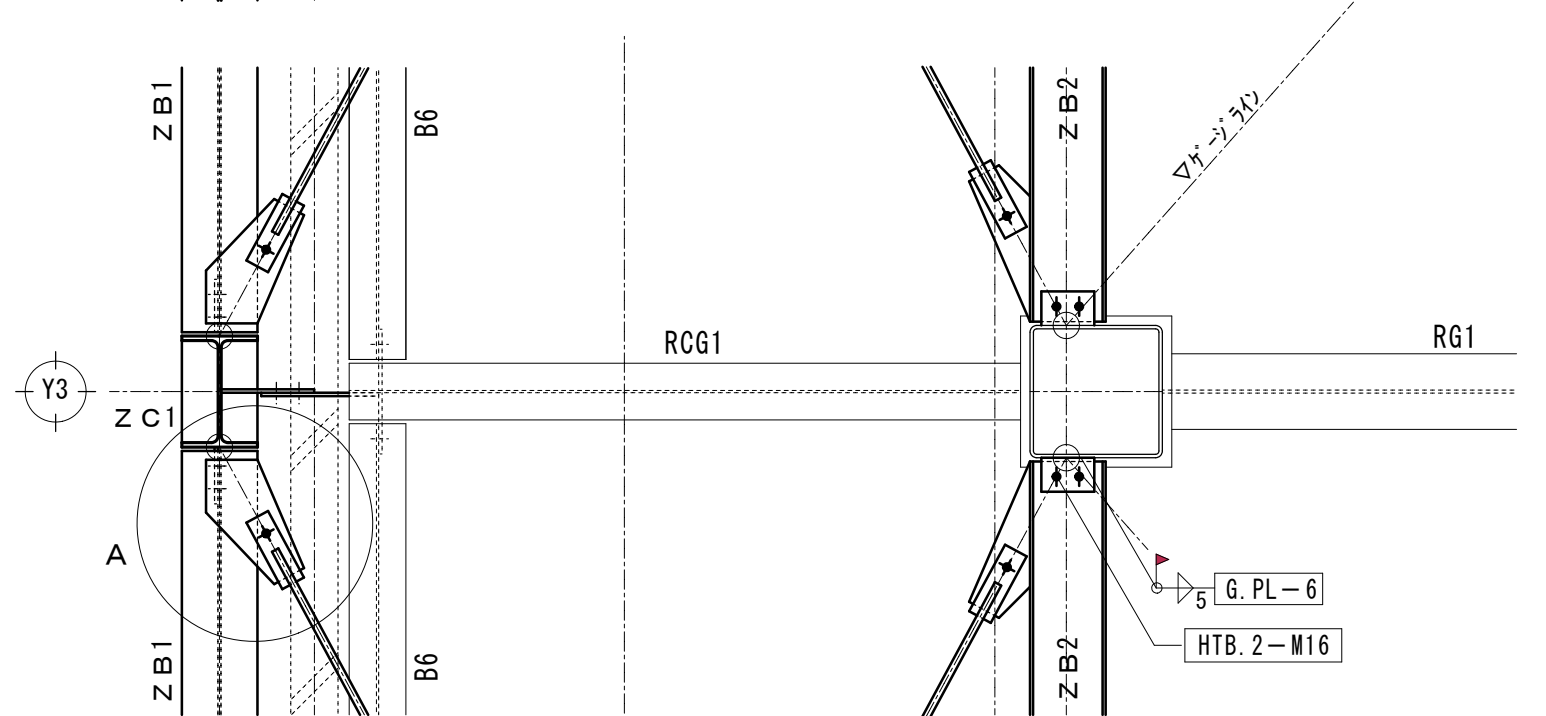
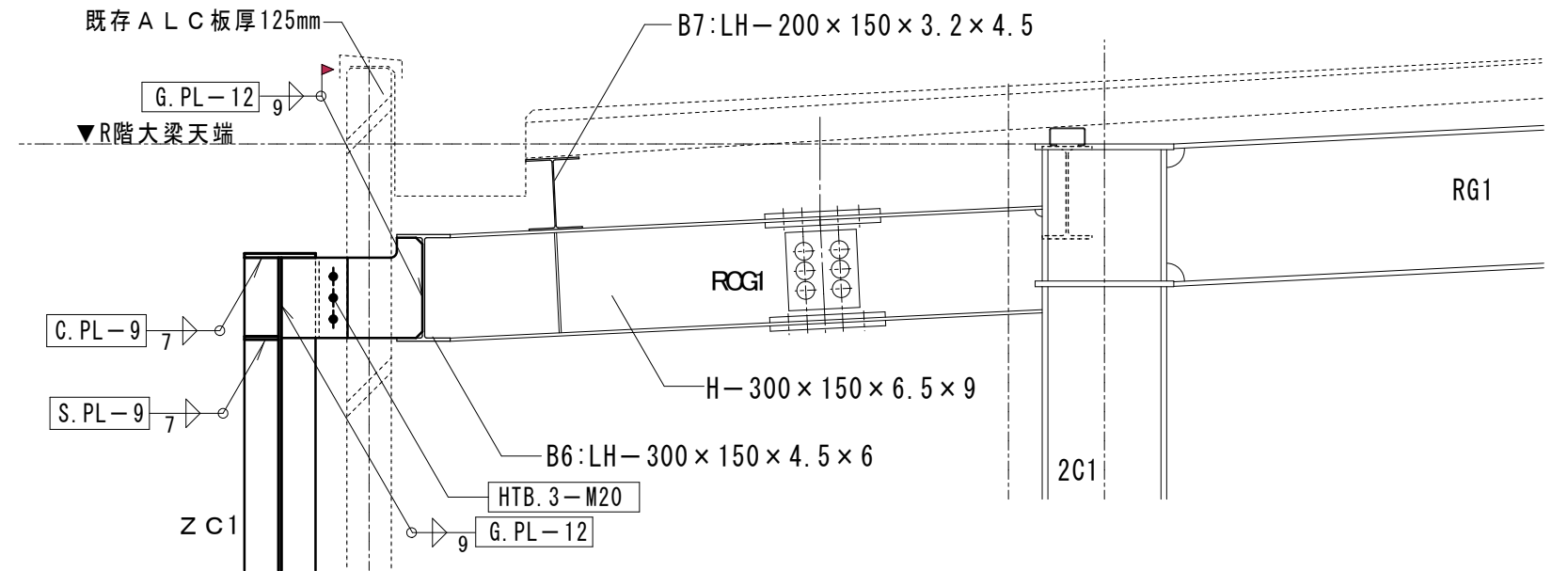
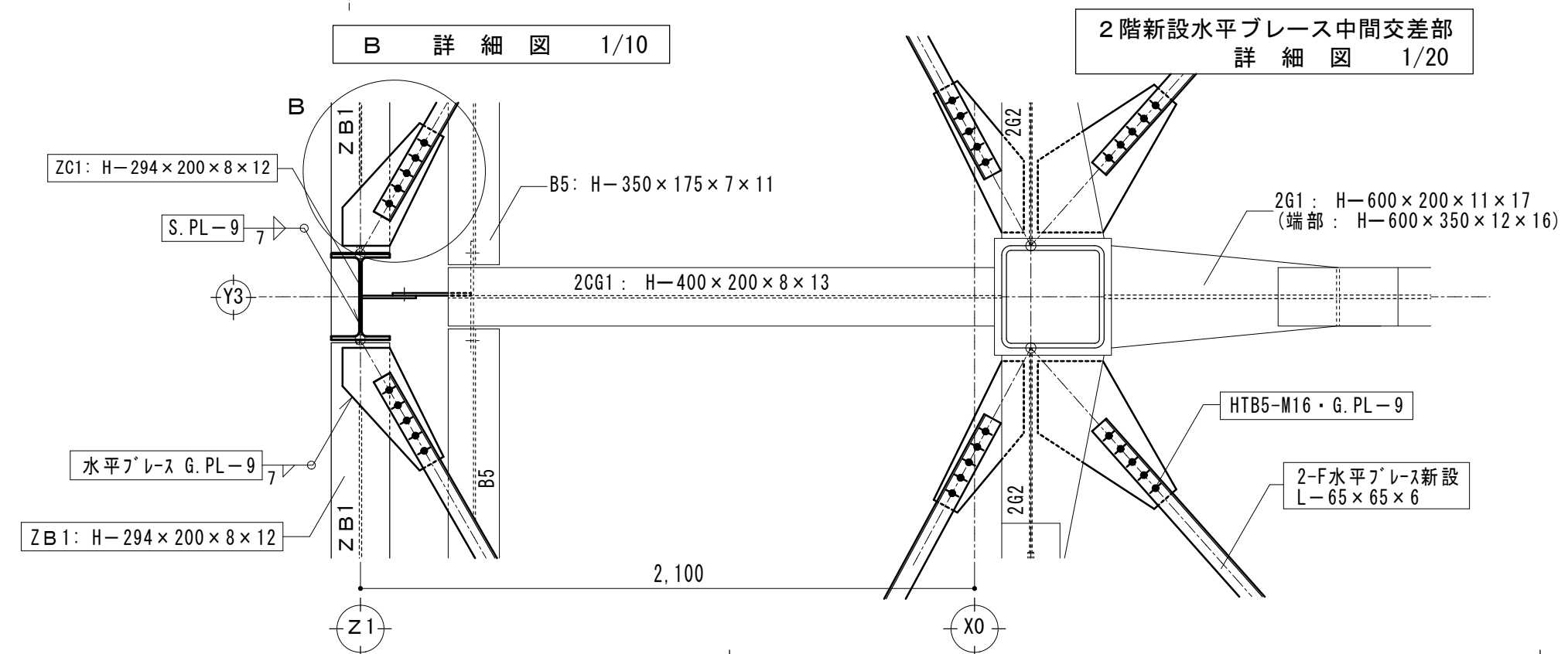
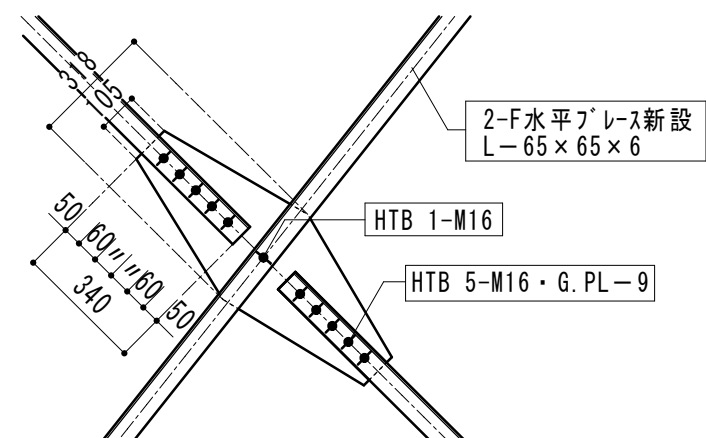
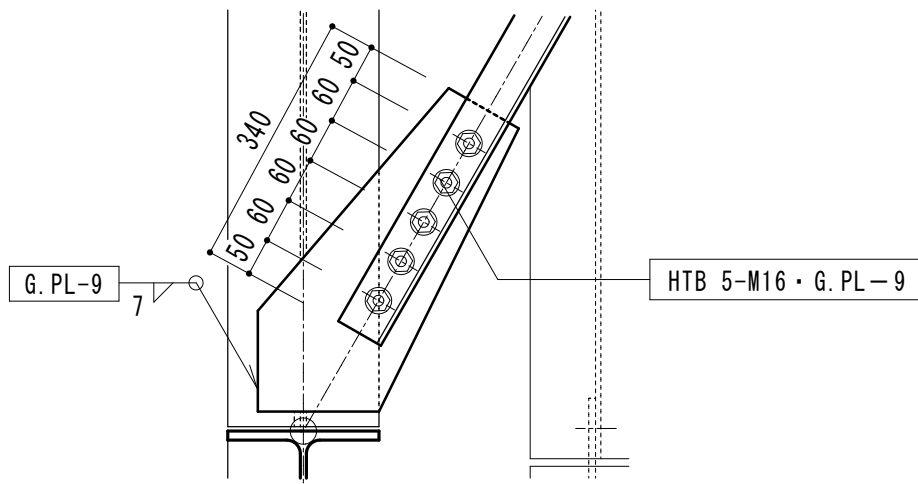
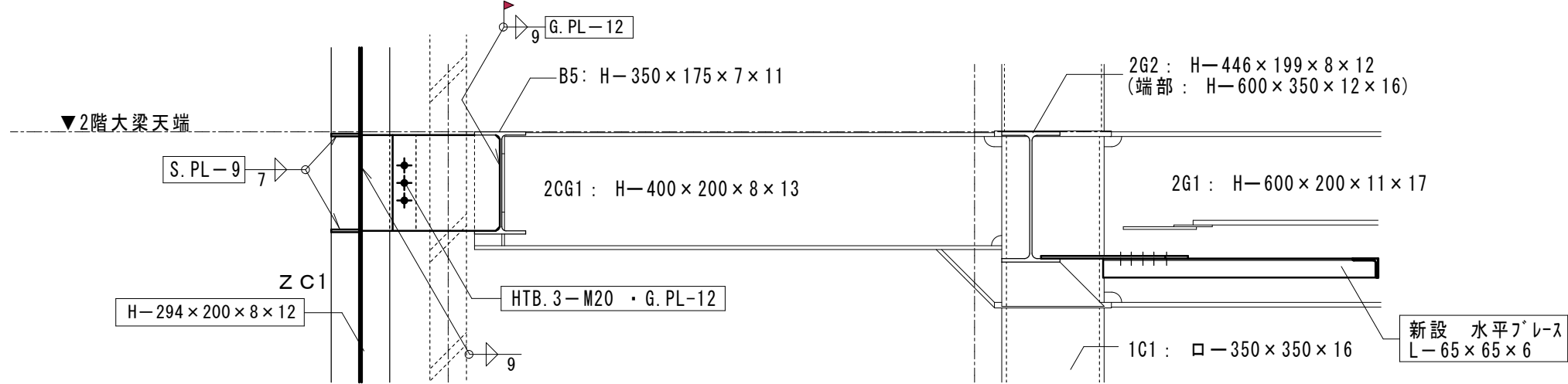
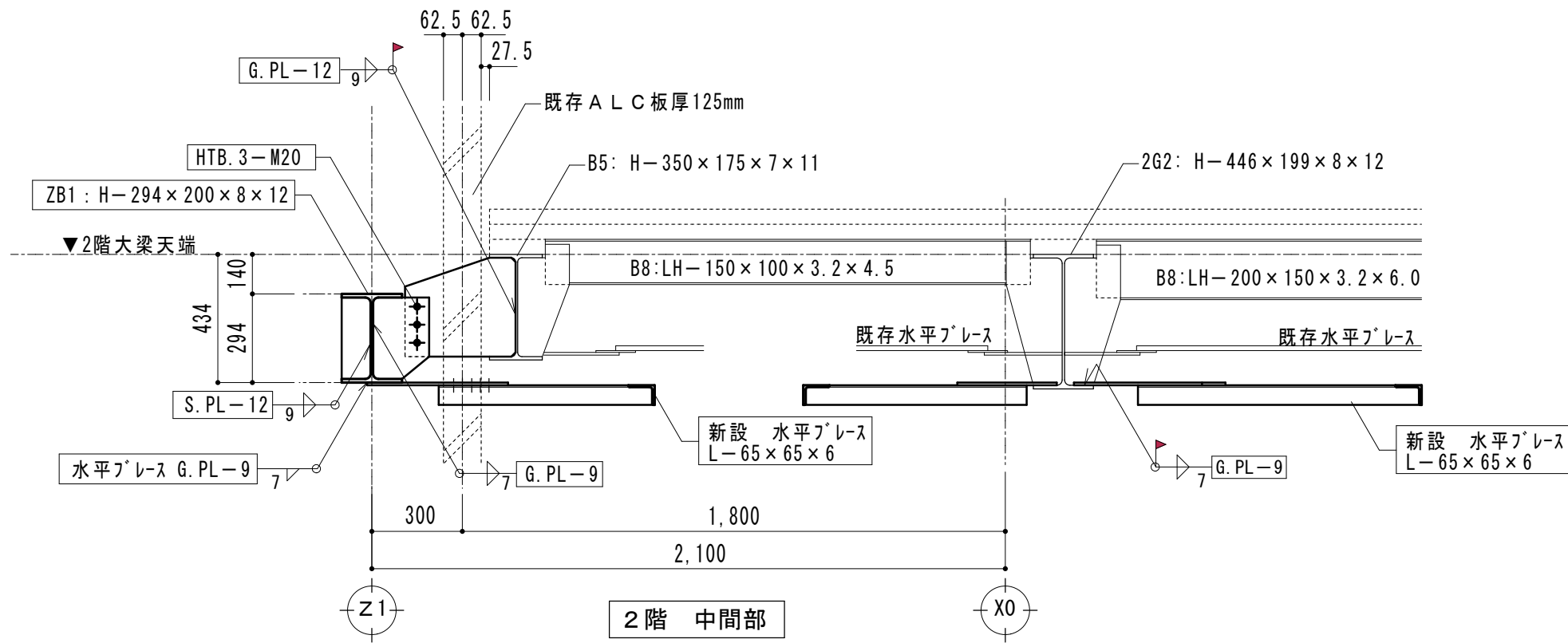
Y2通り X2・X3 間 補強詳細図 1/30

Y2通り X0・X1 間 補強詳細図 1/30

【内部 錆止塗装仕様】
鉛・クロムフリーさび取止ペイント1種 (JIS K 5674)

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK・DRAWING	創和 株式会社 創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	Y2通り X0-X1、X2-X3間 詳細図	A2:1/30	H28.8	設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第35433号 小河 節郎	長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 500 TEL0263-52-6972 (代) 一般建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小河 豪	S-11 / 63





MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	創和 株式会社 創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	新設水平ブレス取付 鉄骨 詳細図	A2:1/20.1/10	H28.7	設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第13507号 小河 節郎	設計一級建築士 第35243号 小河 豪 設計一級建築士 第22929号 伊東 紀典	長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第35243号 一級建築士事務所所登録 (上伊) F-87121号 小河 豪
							S-13 / 63

工事名称：平成２８年度 箕輪町図書館耐震改修工事 電気設備工事特記仕様書

I 工 事 概 要

1 工 事 場 所 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪１０２９５－１

2 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
図書館	S	2		(8) 項	

3 工 事 種 目

(○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外
電 灯 設 備		○
動 力 設 備	幹線、分枝	
電 熱 設 備	幹線、分枝	
雷 保 護 設 備		
受 変 電 設 備		
電 力 貯 蔵 設 備		
静 止 形 電 源 設 備	直流電源装置	
発 電 設 備		
構内情報通信網設備	LAN用配管	
構内交換設備	電話設備	
情報表示設備	時計設備	
映像・音響設備		
拡声設備		○
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備	
テレビ共同受信設備		
監視カメラ設備		
駐車場管理体制		
防犯・入退室管理設備	予備配管	
自動火災報知設備		○
自動閉鎖設備		
非常警報設備	非常放送装置	
ガス漏れ警報設備		
中央監視制御設備		
構内配電線路		
構内通信線路		
撤去工事		○

4 図 面 目 録

番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称
1	電気設備工事 特記仕様書	21	
2	分電盤図・照明器具要図	22	
3	改修後 1階・弱電設備図	23	
4	改修後 2階弱電設備図	24	
5	改修後 1階電灯コンセント設備図	25	
6	改修後 2階電灯コンセント設備図	26	
7	改修後 1階自動火災報知設備図	27	
8	改修後 2階自動火災報知設備図	28	
9	現状・撤去 1階弱電設備図	29	
10	現状・撤去 2階弱電設備図	30	
11	現状・撤去 1階電灯コンセント設備図	31	
12	現状・撤去 2階電灯コンセント設備図	32	
13	現状・撤去 1階自動火災報知設備図	33	
14	現状・撤去 2階自動火災報知設備図	34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

II 工 事 仕 様

1 共 通 仕 様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「標準仕様書」という。),「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)→及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「標準図」という。)による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- (参考図書：長野県建築工事の手引き (以下、「手引き」という。)(平成22年版)長野県建設施設監修

2 特 記 仕 様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項																				
① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。																				
② 機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等(○印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。																				
	<table><tr><th>材 料 ・ 機 材 名</th><th>材 料 ・ 機 材 名</th></tr><tr><td>LED照明器具</td><td>電気錠</td></tr><tr><td></td><td>○その他、監督員の指示によるもの</td></tr><tr><td>○(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材</td><td></td></tr></table>	材 料 ・ 機 材 名	材 料 ・ 機 材 名	LED照明器具	電気錠		○その他、監督員の指示によるもの	○(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材													
材 料 ・ 機 材 名	材 料 ・ 機 材 名																				
LED照明器具	電気錠																				
	○その他、監督員の指示によるもの																				
○(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材																					
③ 化学物質を発散する建築材料等	1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。 5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを行い、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。																				
	<table><tr><th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該 当 す る 建 築 材 料</th></tr><tr><td>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</td><td></td></tr><tr><td>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</td><td></td></tr><tr><td>③下記表示のあるJAS規格品</td><td></td></tr><tr><td>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</td><td></td></tr><tr><td>b 接着剤等不使用</td><td></td></tr><tr><td>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</td><td></td></tr><tr><td>d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</td><td></td></tr><tr><td>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</td><td></td></tr><tr><td>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</td><td></td></tr></table>	ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品		②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品		③下記表示のあるJAS規格品		a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用		b 接着剤等不使用		c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用		d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用		e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用		f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	
ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料																				
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品																					
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品																					
③下記表示のあるJAS規格品																					
a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用																					
b 接着剤等不使用																					
c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用																					
d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用																					
e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用																					
f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用																					
	<table><tr><th>第 三 種</th><th></th></tr><tr><td>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</td><td></td></tr><tr><td>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</td><td></td></tr><tr><td>③旧JISのE○規格品</td><td></td></tr><tr><td>④旧JISのF○○規格品</td><td></td></tr></table>	第 三 種		①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品		②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品		③旧JISのE○規格品		④旧JISのF○○規格品											
第 三 種																					
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品																					
②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品																					
③旧JISのE○規格品																					
④旧JISのF○○規格品																					
4 施工条件明示項目	公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行政改修」																				
⑤ 電気保安技術者	工事現場の電気工作物(電路、自動扉、自動シャッター、電動機等を含む)の保安業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。																				
⑥ 電気工事士	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。																				
⑦ 実施工程表及び施工計画書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。																				
⑧ 使用材料発注先調書	(1)引渡しを要するもの ○無 ・有 ()																				
⑨ 発生材の処理	(2)引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理を要する。 (3)特別管理産業廃棄物 ○無 (有(P8使用機器：関係法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。))																				
	(4)再利用又は再資源化を図るもの ・無 ○有(○廃棄光管 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類)																				
⑩ 監督員事務所	○設けない ・設ける(規模：) ・備品()																				
⑪ 工事用仮設備	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ○できる ・できない																				
⑫ 足場・さん橋類	○別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○内部仮設足場等(・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・) ・外部足場 (・A種[施工箇所面に特設足場を設ける。] ・B種[施工箇所面に単管本足場を設ける。] ・C種[仮設ゴンドラを使用する。] ・D種[移動式足場を使用する。])																				
⑬ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。																				

項 目	特 記 事 項																																																										
⑭ 工 事 写 真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。																																																										
⑮ しゅん工事提出物	標準仕様書及び別表による。																																																										
⑯ 再 使 用 機 器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。																																																										
⑰ 耐 震 施 工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」：監修（独）建築研究所）による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量〔kgf〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。 設計用標準水平地震度 <table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">○一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上階階、屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中 間 階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類（※1）</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> （※1）水槽類にはオルタンク等を含む。 ◎重要機器の定義は次による。 ・変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ◎上階階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、 10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章2節8.2.4及び11節による。 確認試験は、・性能確認試験（ 本 ）・施工後確認試験（ 本 ）を確認強度〔 kN〕にて行う。 ・施工士の適用（第1種、第2種）あと施工アンカー施工士による。 <small>（注）日本建築業と施工アンカー協会認定資格</small> 電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。 (1) EM-EFF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「タイガ」®EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。 長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 下記の露出配管は塗装を行う。 ・屋 外 ○屋 内（ 機械室 ） ・A種（山砂の類：水締め、機器による締固め） ○B種〔根切り土の中の良質土：機器による締固め〕 ・C種〔他現場の建設発生土の中の良質土：機器による締固め〕 ・D種〔再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め〕 ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める ・場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し (1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ○鉄製 ・コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっても地中線理設標識シートを敷設する。 (3) 配管理設幅が750mmを超える場合は、地中線理設標識シートは2条以上敷設する。 (1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。 図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略稱をつける。 タンブラスイッチは運用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として運用形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ○ 各室（測定箇所数 5 箇所） ・廊下 ・階段 用 途： ・非常用照明 ○一般照明 ・学校施設における室内照度測定（測定教室： 個所、測定黒板面： 個所） ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・（ ） <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表（平成 年版）による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。 （長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書） ・ 施工制約条件 ○工事に伴う停電等が発生する場合は、施設側と十分に事前協議を行うこと。	設置場所	機器種別	特定の施設		○一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上階階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0	中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		○一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上階階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						

(別表) しゅん工事提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

備 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図 ・ 原図(A2版 ケース入り) ・ 陽画(A2版 2つ折り製本 3部) ・ CADデータ(jww及びpdf形式)	⑤ 機器完成図 ⑥ 工事写真 ⑦ 完成写真 ⑧ 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書) ⑨ 機材の試験成績書 ⑩ 施工の試験成績書 ⑪ 社内試験成績書 ⑫ 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、 manifests の写し、フロー図)
2 設計図 ・ CADデータ	⑬ 納入品一覧表 ⑭ 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し) ⑮ 保全に関する資料(取扱説明書も含む)
3 引渡書	
4 納入品 ・ 予備品 ・ 盤類の鍵 ・ ハンドホールフック、ジャッキ	
※ 提出書類は、建築工事による。	

3 ハ ン ド ホ ー ル

- 下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕組は国土交通省仕様準ずるものとする。
・ハンドホールにフックアウト部分を設けてはならない。
・配管貫通部は、原則として根巻きコナリト(F=18N/mm以上)とし、差し筋D10タテヨコ#200で補強する。
・補強方法については、あらかじめ監督員にnnd–8製作図を提出して承諾を受けて施工する。

ハンドホール No.ー	1,500×1,500×1,500 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,200×1,200×1,500 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,400 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,100 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,000×1,000×900 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	900×900×1,100 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	900×900×900 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足付)
ハンドホール No.ー	600×600×680 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足付)
ハンドホール No.ー	450×450×680 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※植栽帯等車道の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接 地 極


下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

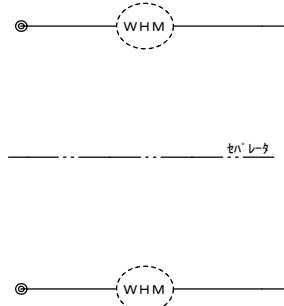
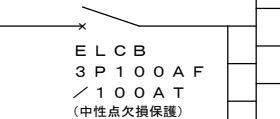
A 種 接 地	銅板1.5t×900×900 リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(黄銅製又はステンレス製)
B 種 接 地	銅板1.5t×600×600 リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(黄銅製又はステンレス製)
C 種 接 地	銅板1.5t×300×300 リード端子付 堀削埋戻中心深さ1.5m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(黄銅製又はステンレス製)
D 種 接 地	接地棒(10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式 埋設棒(黄銅製又はステンレス製)

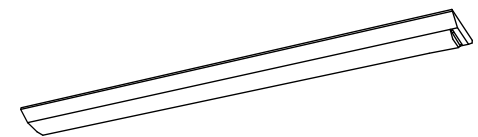
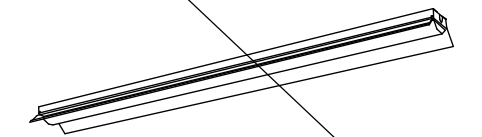
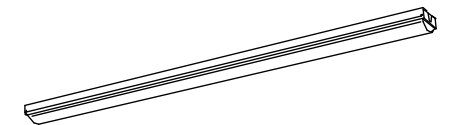
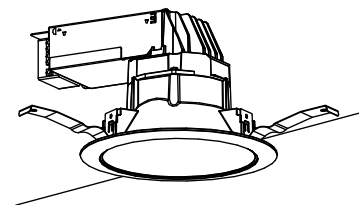

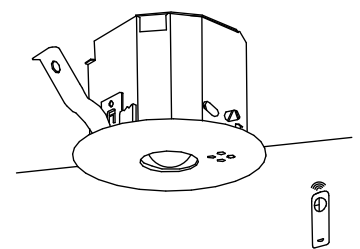
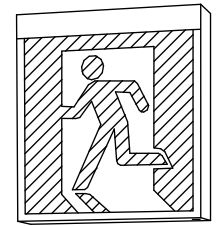
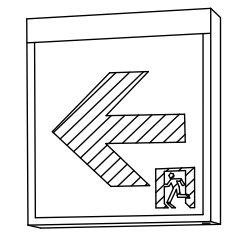
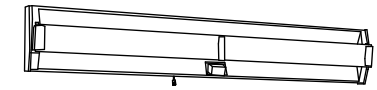
5 機 器 取 付 高


図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

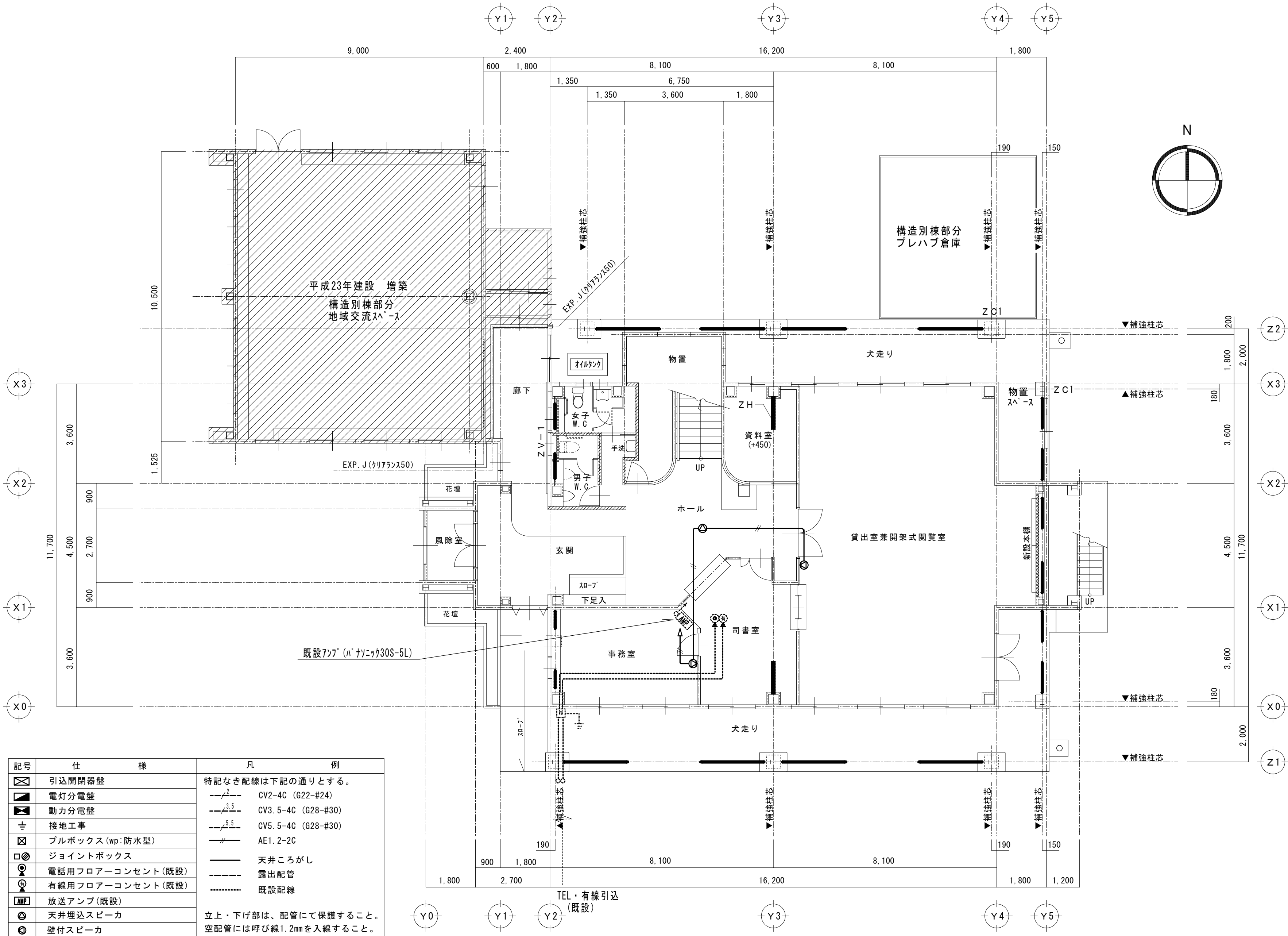
	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)
共 通	取 引 用 閉 器 警 報 盤	地上～上端 計 込 閉 閉 器 盤 上～上端 上～中心	2,000 1,800 1,500	時 計	壁 掛 形 時 計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下) (天井高)×0.9 (天井高)×0.9
				拡 声	子 時 計 壁掛形スピーカー アッテネーター	上～中心	1,300
電	分 電 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	表 示 盤	表 示 盤 部 分	床上～中心	(天井高)×0.9 1,300
	タンブラスイッチ	上～中心	1,300	ベ ー ジ ャ ー	ベ ー ジ ャ ー	上～中心	(天井高)×0.9 1,300
	コンセント(一般)	上～中心	300	押 ボ タ ン	押 ボ タ ン	上～中心	900
	上 (和室)	上～中心	500	身 障 者 用 表 示 灯	身 障 者 用 表 示 灯	上～中心	2,000
	上 (台所)	上～中心	150	復 帰 ボ タ ン	復 帰 ボ タ ン	上～中心	1,800
	ブラケット(一般)	上～中心	2,100	イン タ ー ホ ン	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	上 (廊下)	上～中心	2,500	タ ー ミ ナ ル	壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)	上～中心	1,100
	上 (廊上)	上～中心	150	ホ ン	ホ ン	上～中心	300
	避難口誘導灯	床上～上端	1,500以上	手 元 開 閉 器	手 元 開 閉 器	上～中心	150
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	操 作 ス イ ッ チ	操 作 ス イ ッ チ	上～中心	(天井高)×0.9
動 力	壁 掛 形 制 御 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	押 ボ タ ン	押 ボ タ ン	上～中心	(天井高)×0.9
電 気	室 内 端 子 盤	床上～下端	300	テ レ 共 同 受 信 機	機 器 収 容 箱	床上～中心	(天井高)×0.9
	中 間 端 子 盤	床上～中心	1,500	ア ウ ト レ ッ ト	ア ウ ト レ ッ ト	上～中心	300
	集 合 保 安 器 箱	上～中心	150	火 災 報 警 報 知	受 信 機 副 受 信 機 機 器 収 容 箱 発 信 機 消 火 栓 表 示 灯	床上～操作部 上～中心 上～中心 上～中心 上～中心	800～1,500 800～1,500 800～1,500 800～1,500 (天井高)×0.9

TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK DRAWING		SHEET NO.
平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	電気設備工事 特記仕様書	N.S	H28.7	設置設計一般建築士 設計者 ・一般建築士 第3243号 小河 節郎 ・一般建築士 第3243号 小河 豪 ・一般建築士 第3243号 有賀 修司	 株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222(代) 長野県塩尻市大門町 509 TEL0263-52-8972(代) 一般建築士 大臣登録 第35243号 一般建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	E-1 63

分電盤リスト										分電盤リスト										分電盤リスト									
Ry(T)：タイマー+自動点滅器制御を示す。 Ry：フル2線式リモコンリレーを示す。										Ry(T)：タイマー+自動点滅器制御を示す。 Ry：フル2線式リモコンリレーを示す。										Ry(T)：タイマー+自動点滅器制御を示す。 Ry：フル2線式リモコンリレーを示す。									
盤名称	盤結線図	回路 番号	分岐開閉器				負荷名称	備考	盤名称	盤結線図	回路 番号	分岐開閉器				負荷名称	備考	盤名称	盤結線図	回路 番号	分岐開閉器				負荷名称	備考			
			種類	P	AF	AT						種類	P	AF	AT						種類	P	AF	AT					
開閉器盤 屋外壁掛型 引込ケーブル取付	1Φ3W CVT22								動力盤 屋外壁掛型 ケーブル取付	開閉器盤より CVT22								電灯盤 屋内埋込型 (既設盤流用)	開閉器盤より CVT22, E5.5										
		MCCB 3 100 75	電灯盤へ																			① MCCB 2 50 20	1F&L・ボ・チ・玄関他	リセコンマイナ3					
																					② MCCB 2 50 20	司書室・事務室・外灯&L	リセコンマイナ1						
																					③ MCCB 2 50 20	貸出室他							
																					④ MCCB 2 50 20	1Fセント							
																					⑤ MCCB 2 50 20	ボ・イ・室							
																					⑥ MCCB 2 50 20	&L							
																					⑦ MCCB 2 50 20	一般閲覧室							
																					⑧ MCCB 2 50 20	書庫							
																					⑨ MCCB 2 50 20	学習室							
																					⑩ MCCB 2 50 20	南側セント							
																					⑪ MCCB 2 50 20	北側セント							
																					⑫ MCCB 2 50 20	(既設)							
																					⑬ MCCB 2 50 20	(既設)							
																					⑭ MCCB 2 50 20	コントロール							

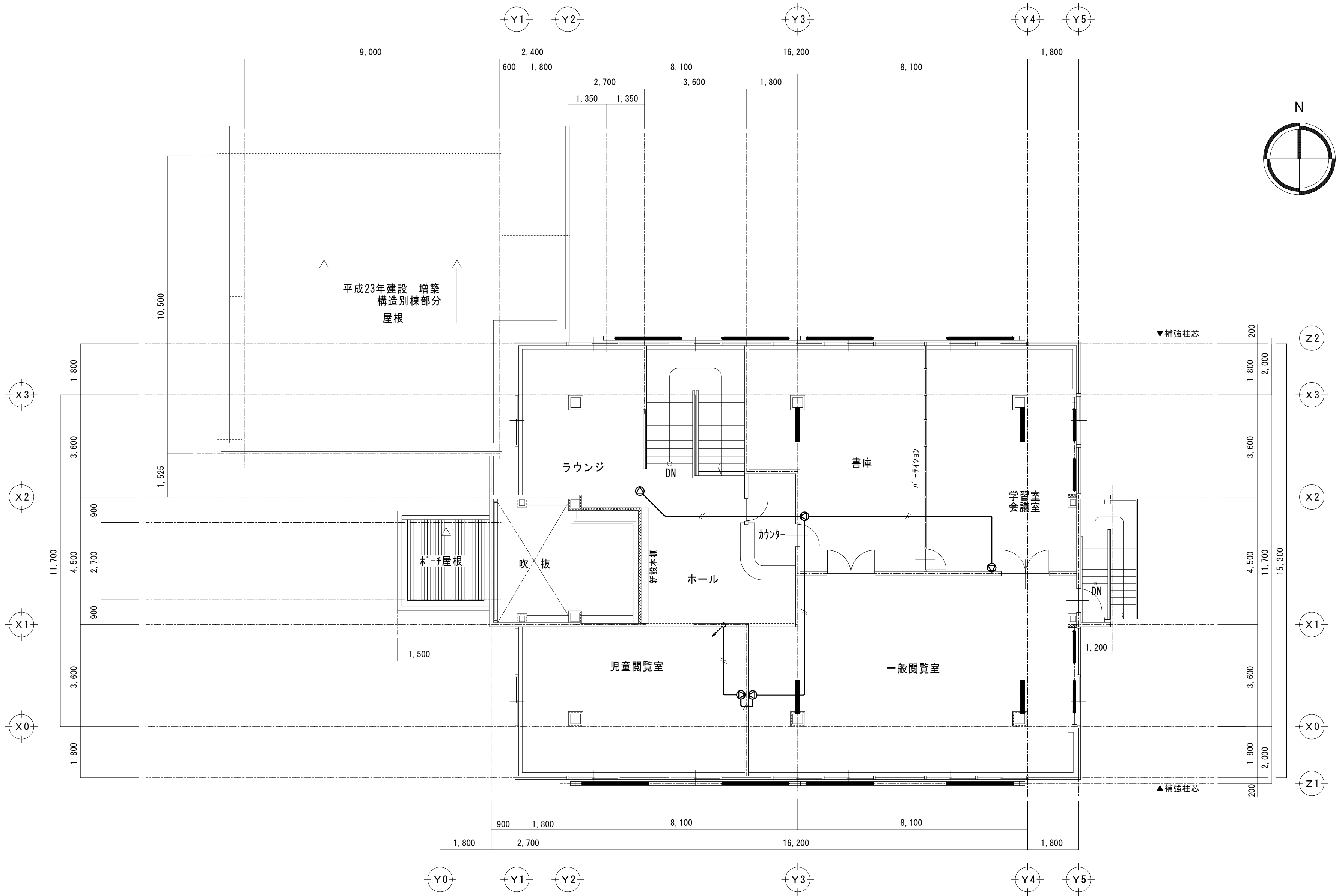
分 電 盤 リ ス ト											
A 6 9	i d 6 9 0 0 i m	B 8	i d 8 0 0 i m 防水型	C 1 0 0	i d 6 9 0 0 i m	D 1	LED 1 0 0 形相当	E	LED 1 0 0 形相当 防水型		
A 4 0	i d 4 0 0 0 i m					D 2	LED 6 0 形相当				
											
a 3 0	LED 3 0 W相当、B T内蔵	b	避難口誘導灯 LED B形	c	避難口通路誘導灯 (両面) LED B形	d	LD L 4 0 W x 1、B T内蔵 非常時兼用型				
a 9	LED 9 W相当、B T内蔵										
											

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div> 株式会社 創和設計</div> <div>長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代)</div> <div>長野県塩尻市大門町 509 TEL0263-52-6972 (代)</div> <div>一級建築士 大庭登雄 第352433号</div> <div>一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号</div> <div>小河 豪</div>		SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	分電盤図・照明機器図	A2:1/100	H28.7	設備設計一級建築士 第135007号	一級建築士 第352433号 小河 聖郎	一級建築士 第229029号 小河 豪	E - 2 / 63



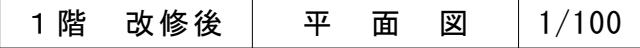
記号	仕 様	凡 例
	引込開閉器盤	特記なき配線は下記の通りとする。 ---2--- CV2-4C (G22-#24) ---3.5--- CV3.5-4C (G28-#30) ---5.5--- CV5.5-4C (G28-#30) --- AE1.2-2C
	電灯分電盤	
	動力分電盤	
	接地工事	
	ブルボックス (wp:防水型)	
	ジョイントボックス	天井ころがし
	電話用フロアコンセント(既設)	露出配管
	有線用フロアコンセント(既設)	既設配線
	放送アンプ(既設)	立上・下げ部は、配管にて保護すること。 空配管には呼び線1.2mmを入線すること。
	天井埋込スピーカ	
	壁付スピーカ	


1 階 改 修 後 平 面 図 1/100

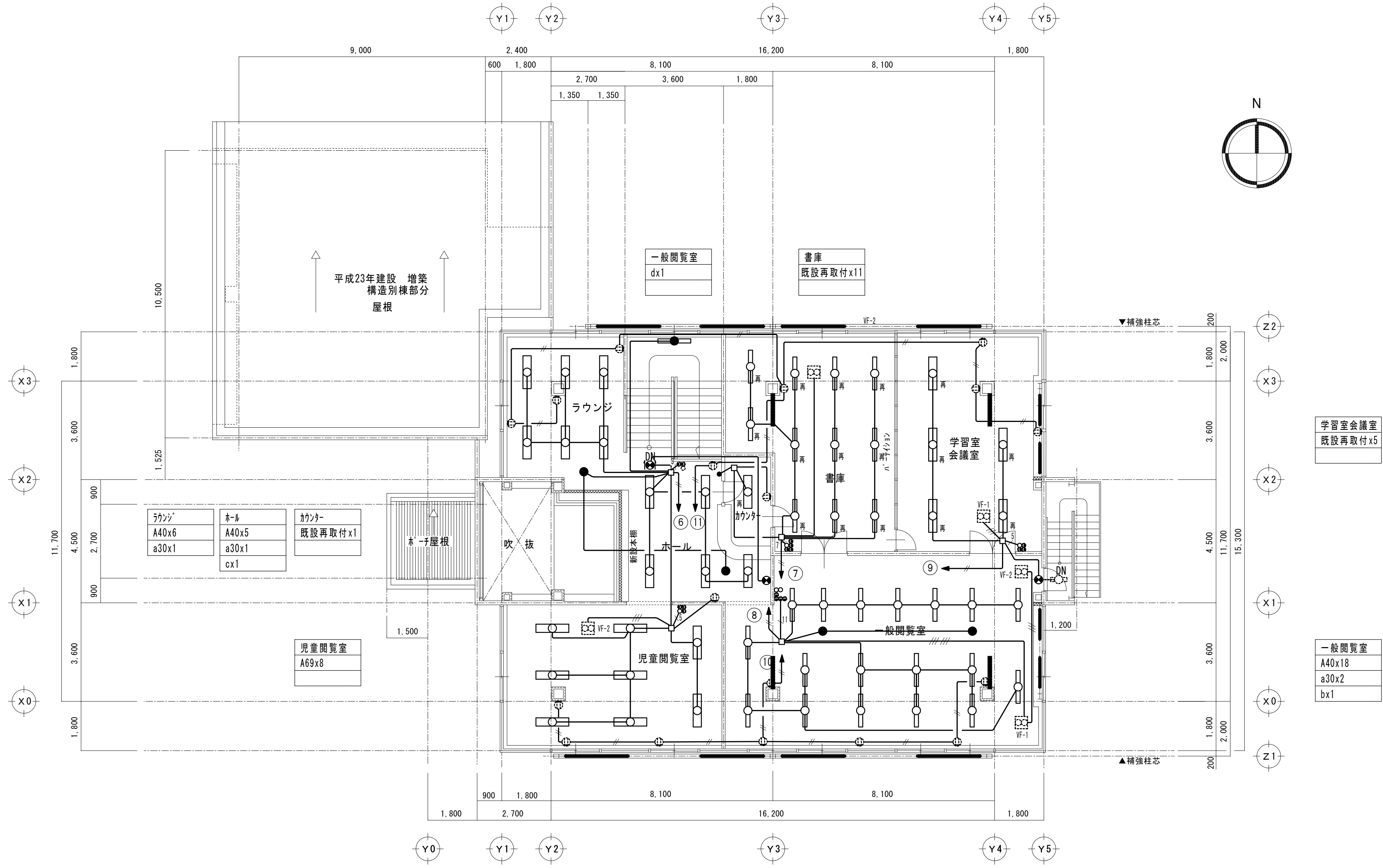


改修後 2 階 平 面 図 1/100

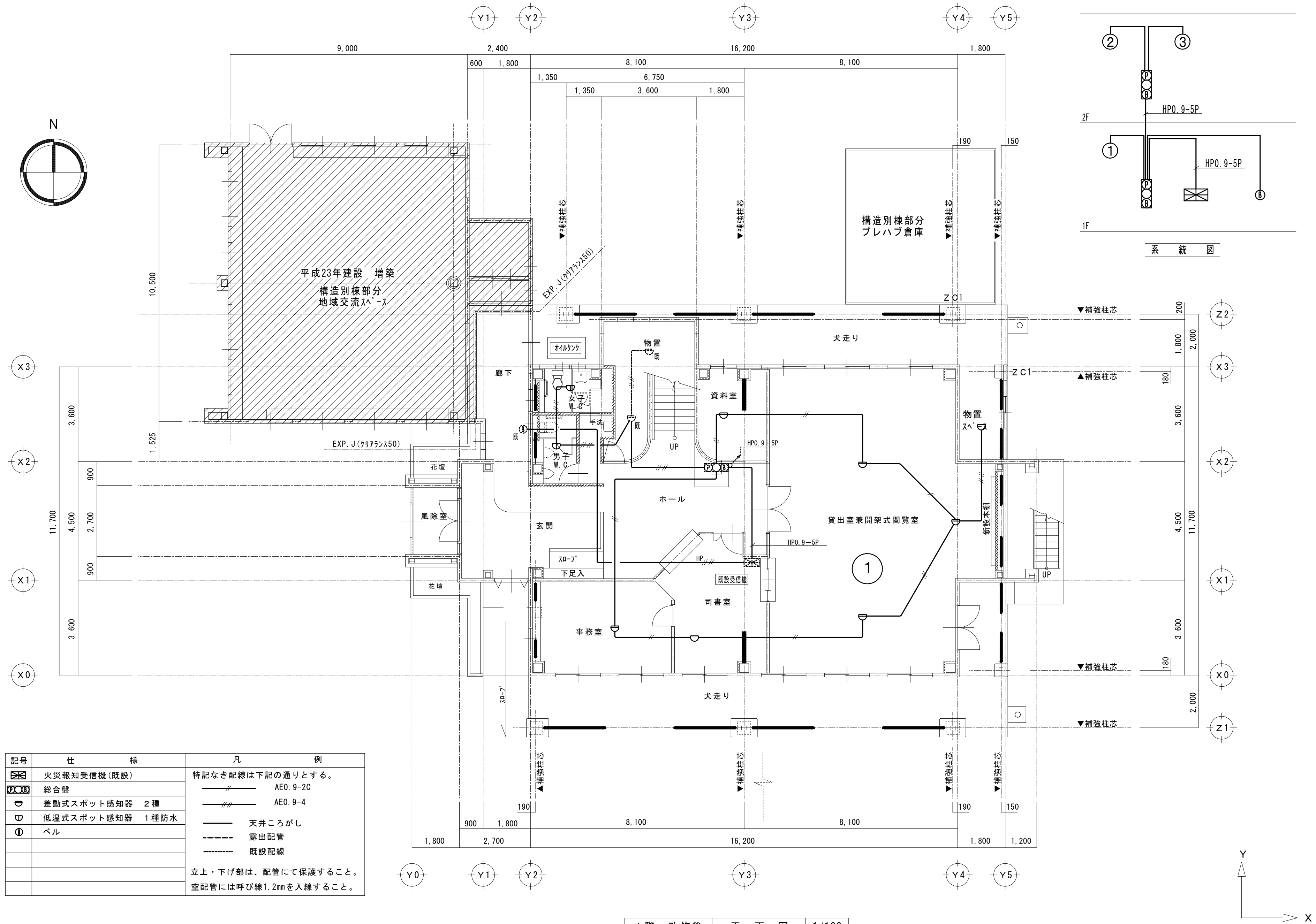
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div>株式会社 創和設計</div> <div>長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代)</div> <div>長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代)</div> <div>一般建築士 大田登録 第352433号</div> <div>一般建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号</div> <div>小 河 豪</div>	SHEET NO. E - 4 / 6 3
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	改修後 2 階 弱電設備図	A2:1/100 A3:1/≒141	H 2 8 . 8	設備設計一級建築士 第135007号		
					一般建築士 第135007号 小河 節郎		
					一般建築士 第352433号 小河 豪		



MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	 株式会社 創和設計 長野県上伊那郡御幸町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-9972 (代) 一級建築士 栗山 賢治 第352433号 一級建築士 栗山 賢治 第352433号 一級建築士 小河 豪 第229029号 一級建築士 事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小 河 豪	SHEET NO.
	平成 2 8 年度 箕輪町図書館耐震改修工事	1階 改修後 電灯コンセント設備図	A2:1 / 100	H 2 8 . 7			E-5 / 63

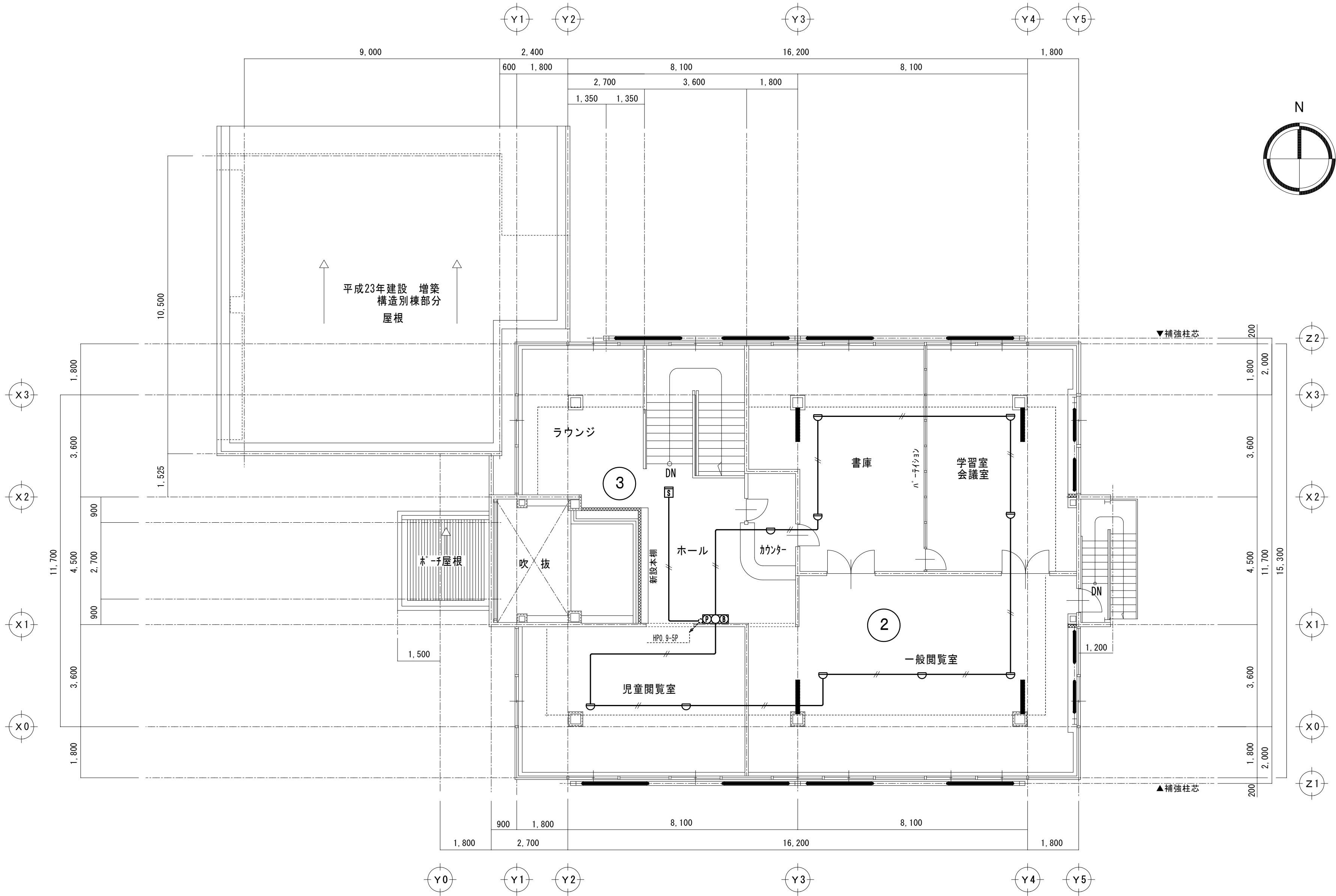


改修後 2 階 平面図 1/100



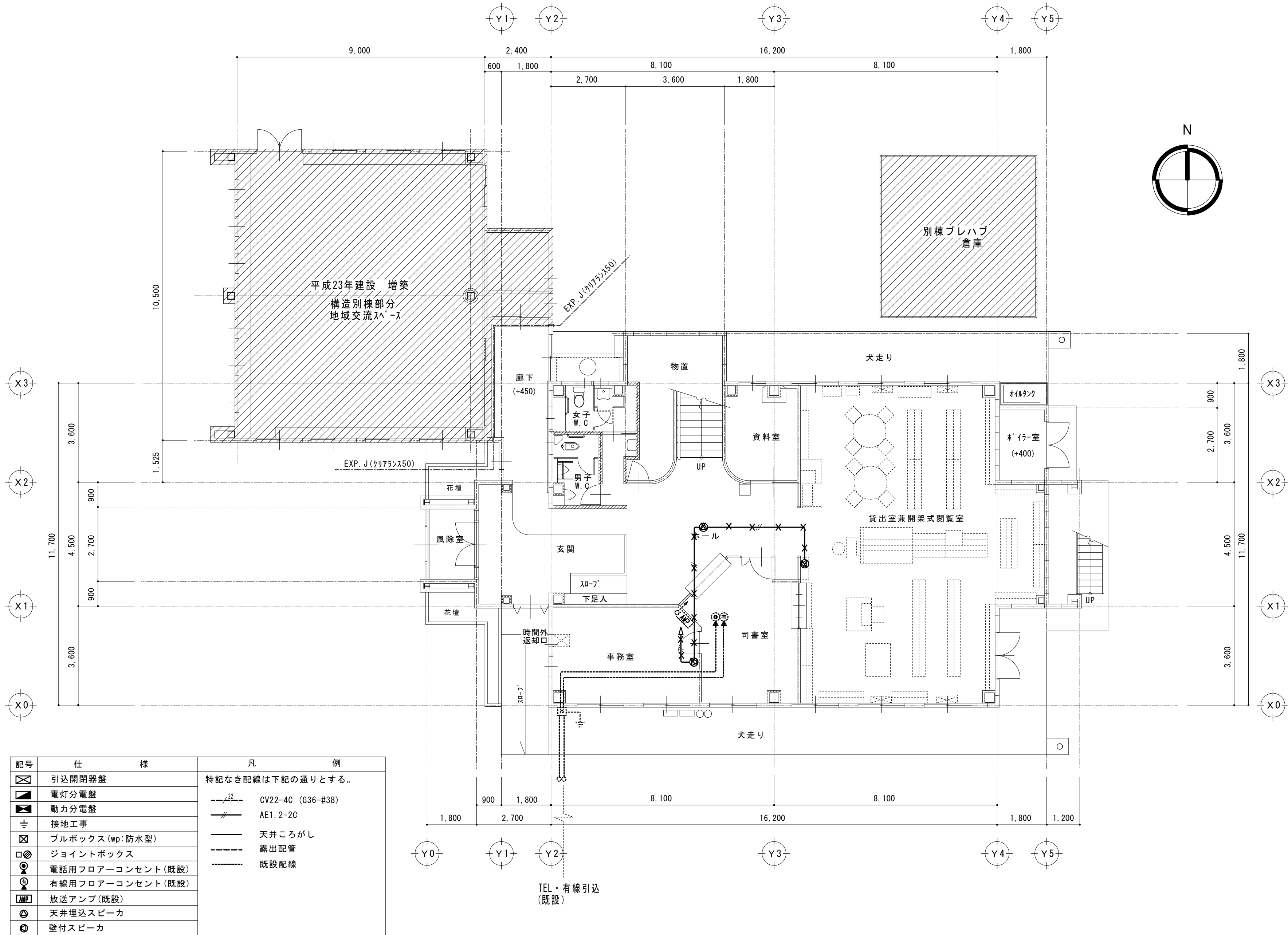
記号	仕様	凡例
	火災報知受信機 (既設)	特記なき配線は下記の通りとする。 —— // AE0. 9-2C —— /// AE0. 9-4 —— 天井ころがし - - - 露出配管 既設配線
	総合盤	
	差動式スポット感知器 2種	天井・下駄部は、配管にて保護すること。 空配管には呼び線1.2mmを入線すること。
	低温式スポット感知器 1種 防水	
	ベル	

1階 改修後 平面図 1/100



改修後 2 階 平 面 図 1/100

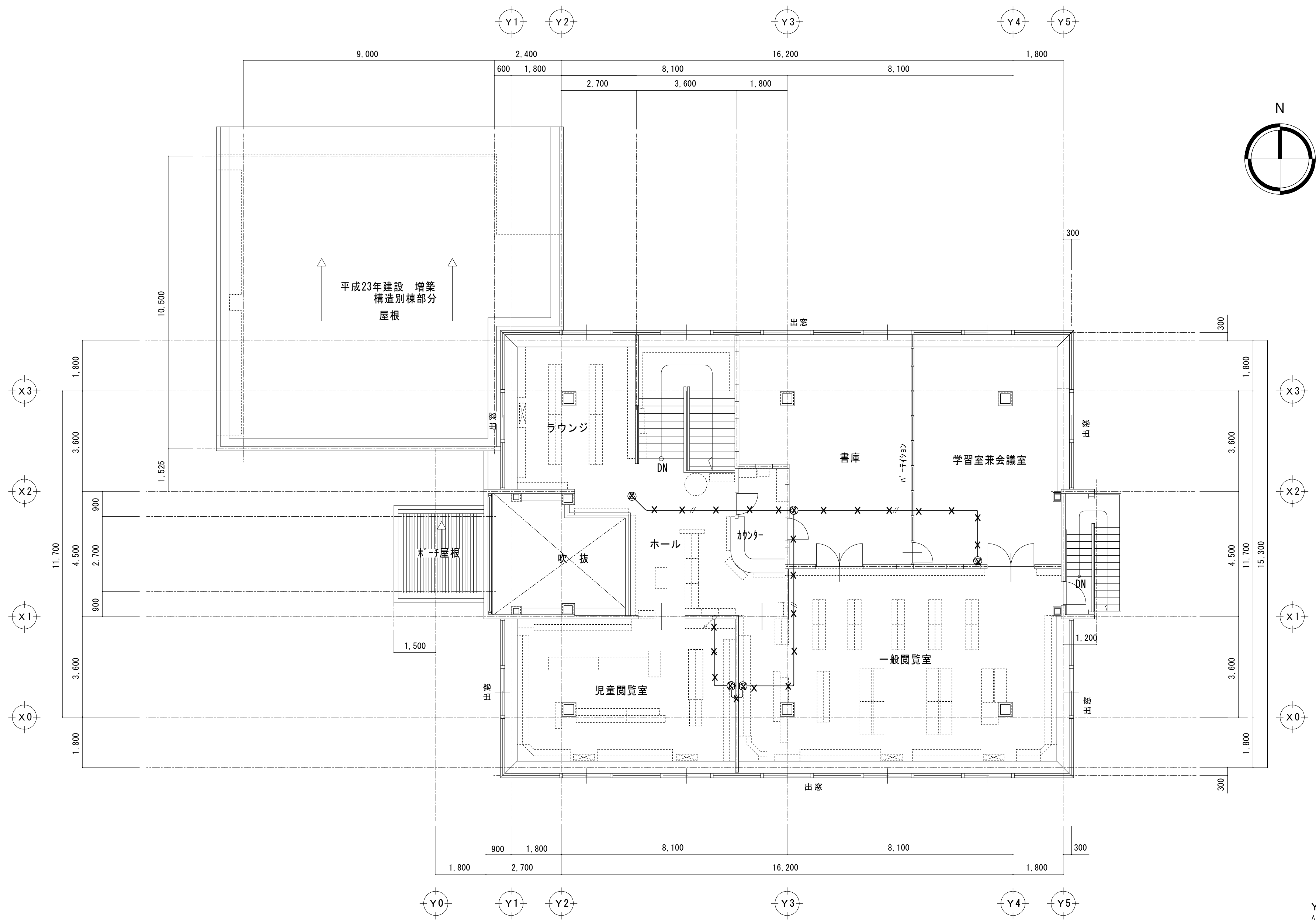
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div>株式会社 創和設計</div> <div>長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代)</div> <div>長野県塩田市大門原町 509 TEL0263-52-8972 (代)</div> <div>一般建築士 大塚登録 第352433号</div> <div>一般建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号</div> <div>小 河 豪</div>	SHEET NO. E - 8 / 6 3
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	改修後 2階 自動火災報知設備図	A2:1/100 A3:1/141	H 2 8 . 8	設備設計一般建築士 第135007号		
					一般建築士 第135007号 小河 節郎		
					一般建築士 第352433号 小河 豪		
					一般建築士 第229029号 伊東 紀典		



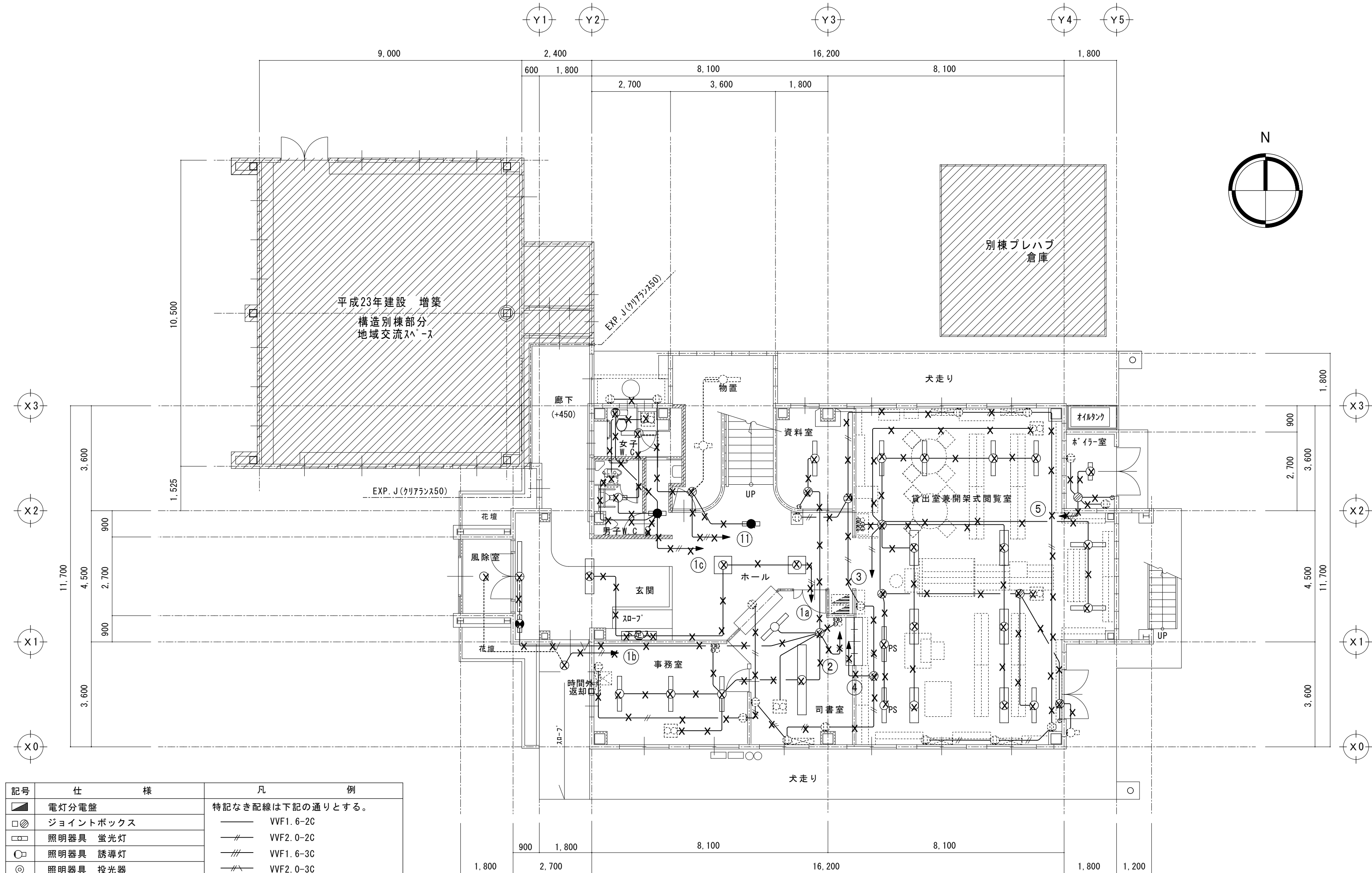
記号	仕 様	凡 例
	引込開閉器盤	特記なき配線は下記の通りとする。 --- ²² --- CV22-4C (G36-#38) --- AE1.2-2C —— 天井ころがし ----- 露出配管 既設配線
	電灯分電盤	
	動力分電盤	
	接地工事	
	ブルボックス (wp:防水型)	
	ジョイントボックス	
	電話用フロアコンセント (既設)	TEL・有線引込 (既設)
	有線用フロアコンセント (既設)	
	放送アンプ (既設)	
	天井埋込スピーカ	
	壁付スピーカ	

現状・撤去 1 階 平 面 図 1/100

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	株式会社 創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 1階弱电設備図	A2:1/100	H28. 7	設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第13507号 小河 節郎	長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小河 豪	E - 9 / 63

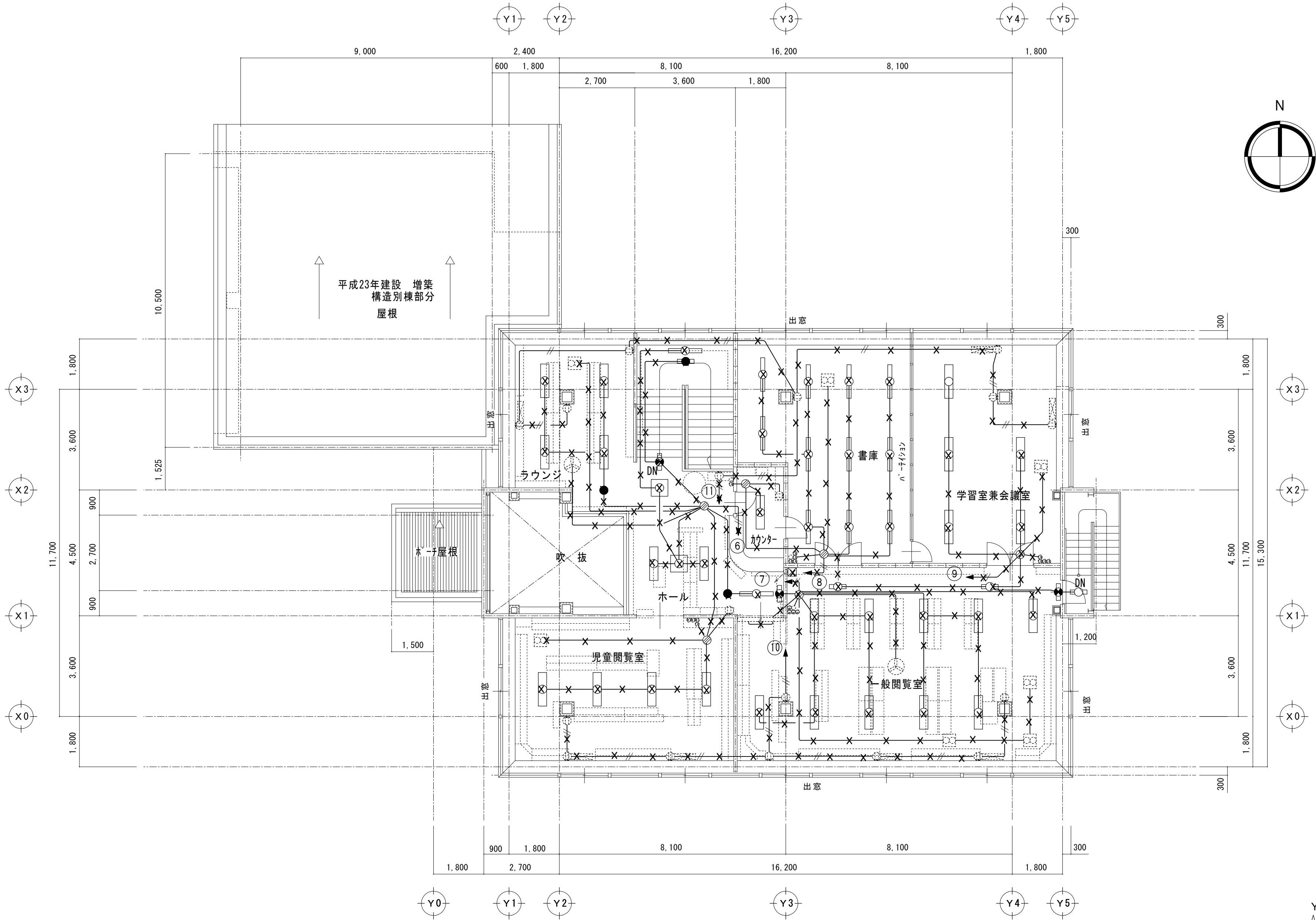


現状・撤去 2 階 平面図 1/100



記号	仕 様	凡 例
	電灯分電盤	特記なき配線は下記の通りとする。 —— VVF1. 6-2C —— VVF2. 0-2C —— VVF1. 6-3C —— VVF2. 0-3C —— VVF1. 6-2C+3C —— VVF1. 6-3C×2 —— VVF1. 6-2C×2+3C —— 天井ころがし ----- 露出配管 既設配線
	ジョイントボックス	
	照明器具 蛍光灯	
	照明器具 誘導灯	
	照明器具 投光器	
	照明器具 ダウンライト	
	換気扇 (別途工事)	
	強弱スイッチ (支給品)	
	埋込スイッチ	
	人感センサー	
	埋込コンセント	

現状・撤去 1 階 平 面 図 1/100



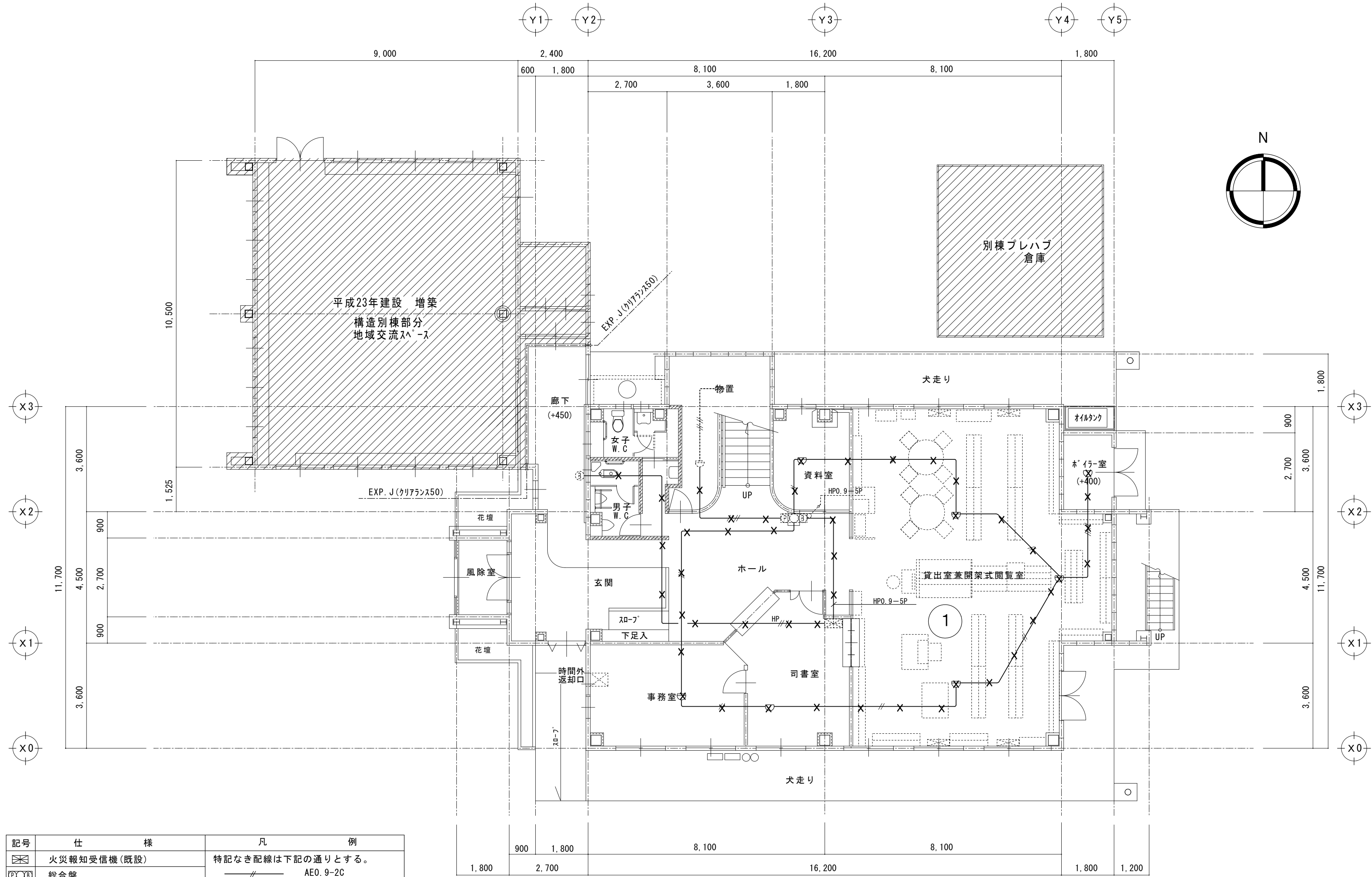
()内は、GLからの床レベルを示す。

現状・撤去	2 階 平 面 図	1/100
-------	-----------	-------

〔既存仕上仕様〕

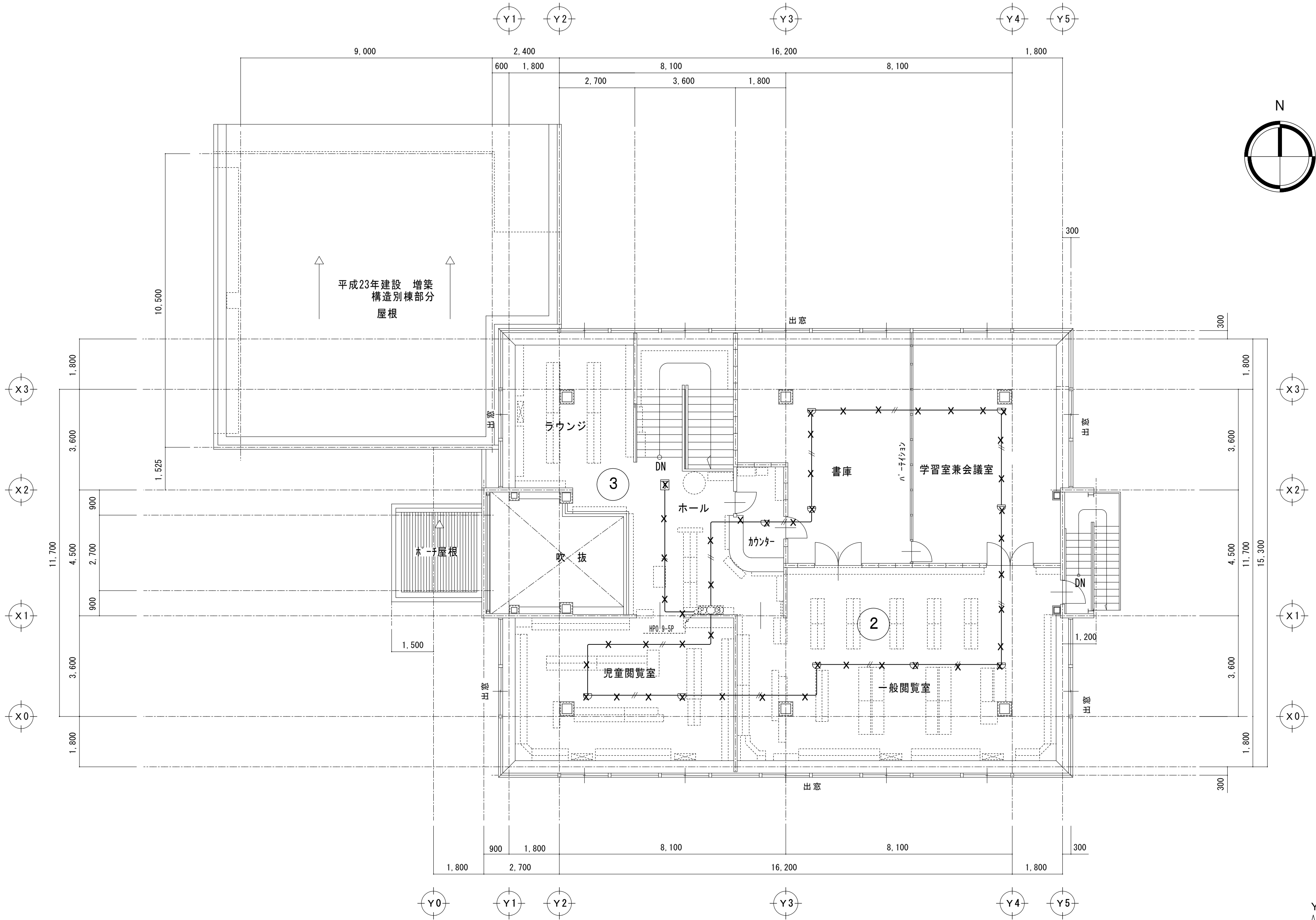
床：U型デッキプレート厚1.6mm＋コンクリート打厚100mm＋モルタル金ゴテ厚40 カベット敷き
壁：タイル下地モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div>株式会社 創和設計</div> <div>長野県上伊那郡美輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代)</div> <div>長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-6972 (代)</div> <div>一級建築士 大臣登録 第352433号</div> <div>一級建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号</div> <div>小 河 豪</div>	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 2階電灯コンセント設備図	A2:1/100 A3:1/≒141	H 2 8 . 8	設備設計一級建築士 第13507号		
					一級建築士 第13507号 小河 節郎		
					一級建築士 第352433号 小河 豪		



記号	仕様	凡例
	火災報知受信機 (既設)	特記なき配線は下記の通りとする。 ——//—— AE0.9-2C ——///—— AE0.9-4 —— 天井ころがし - - - 露出配管 既設配線
	総合盤	
	差動式スポット感知器 2種	
	低温式スポット感知器 1種 防水	
	ベル	

現状・撤去 1 階 平 面 図 1/100



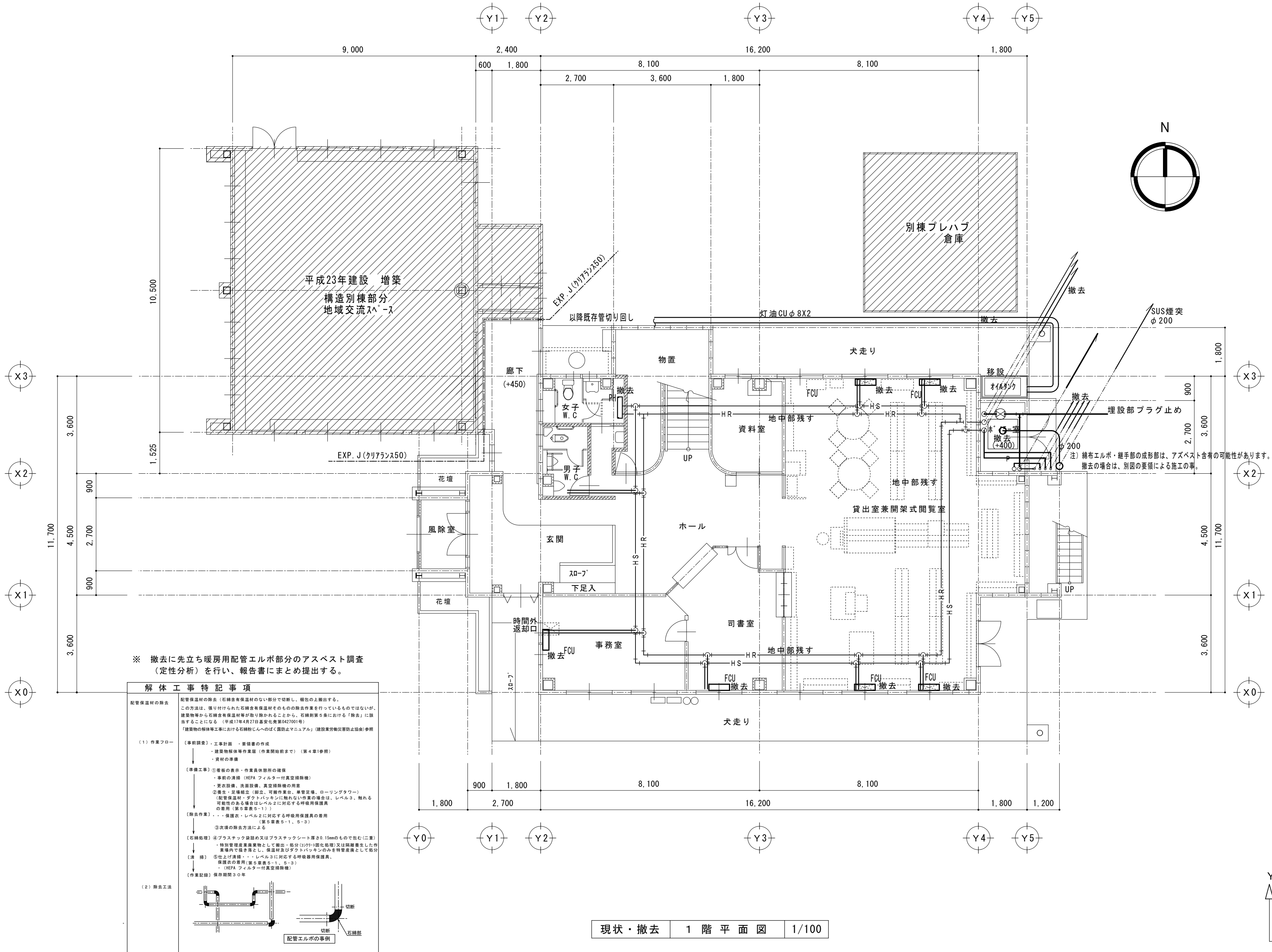
()内は、GLからの床レベルを示す。

現状・撤去	2 階 平 面 図	1/100
-------	-----------	-------

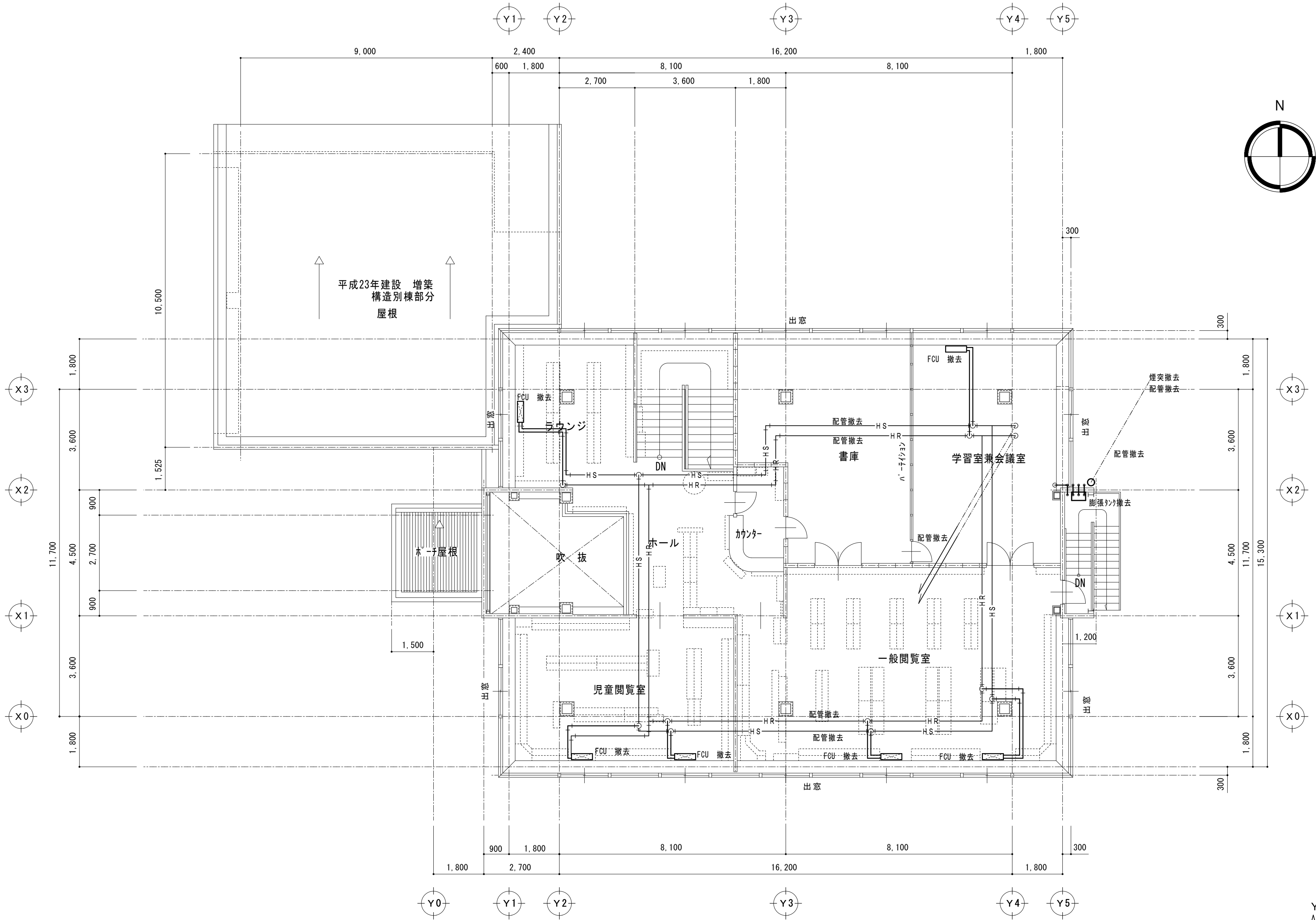
〔既存仕上仕様〕

床：U型デッキプレート厚1.6mm＋コンクリート打厚100mm＋モルタル金ゴテ厚40 カベット敷き
壁：大理石下地モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div>株式会社 創和設計</div> <div>長野県上伊那郡美輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代)</div> <div>長野県塩尻市大門原町 509 TEL0263-52-6972 (代)</div> <div>一般建築士 大臣登録 第352433号</div> <div>一般建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号</div> <div>小 河 豪</div>	SHEET NO. E - 14 / 63
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 2階自動火災報知設備図	A2:1/100 A3:1/≒141	H 2 8 . 8	設備設計一級建築士 第135007号		
					一般建築士 第135007号 小河 節郎		
					一般建築士 第229229号 伊東 和典		



MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK・DRAWING	創和	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 1階平面図 (暖房設備)	A2:1/100 A3:1/≒141	H28.8	設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第33432号 小河 節郎	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大庭登録 第352433号 一級建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小河 豪	M-03 63



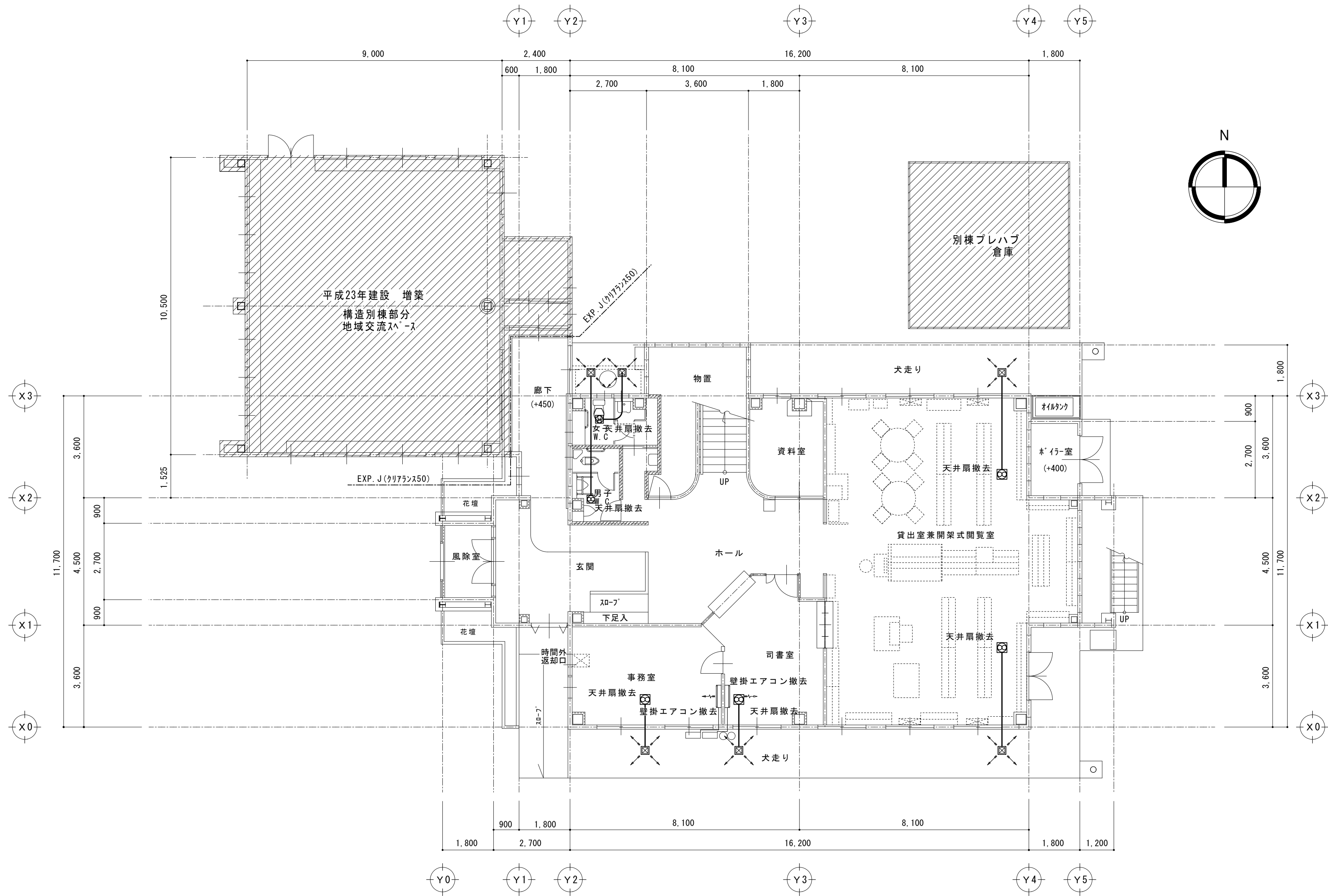
()内は、GLからの床レベルを示す。

現状・撤去	2 階 平 面 図	1/100
-------	-----------	-------

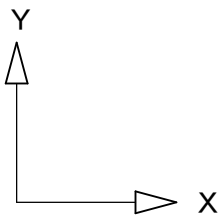
[既存仕上仕様]

床：U型デッキプレート厚1.6mm＋コンクリート打厚100mm＋モルタル金ゴテ厚40 カベット敷き
壁：大理石下地モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

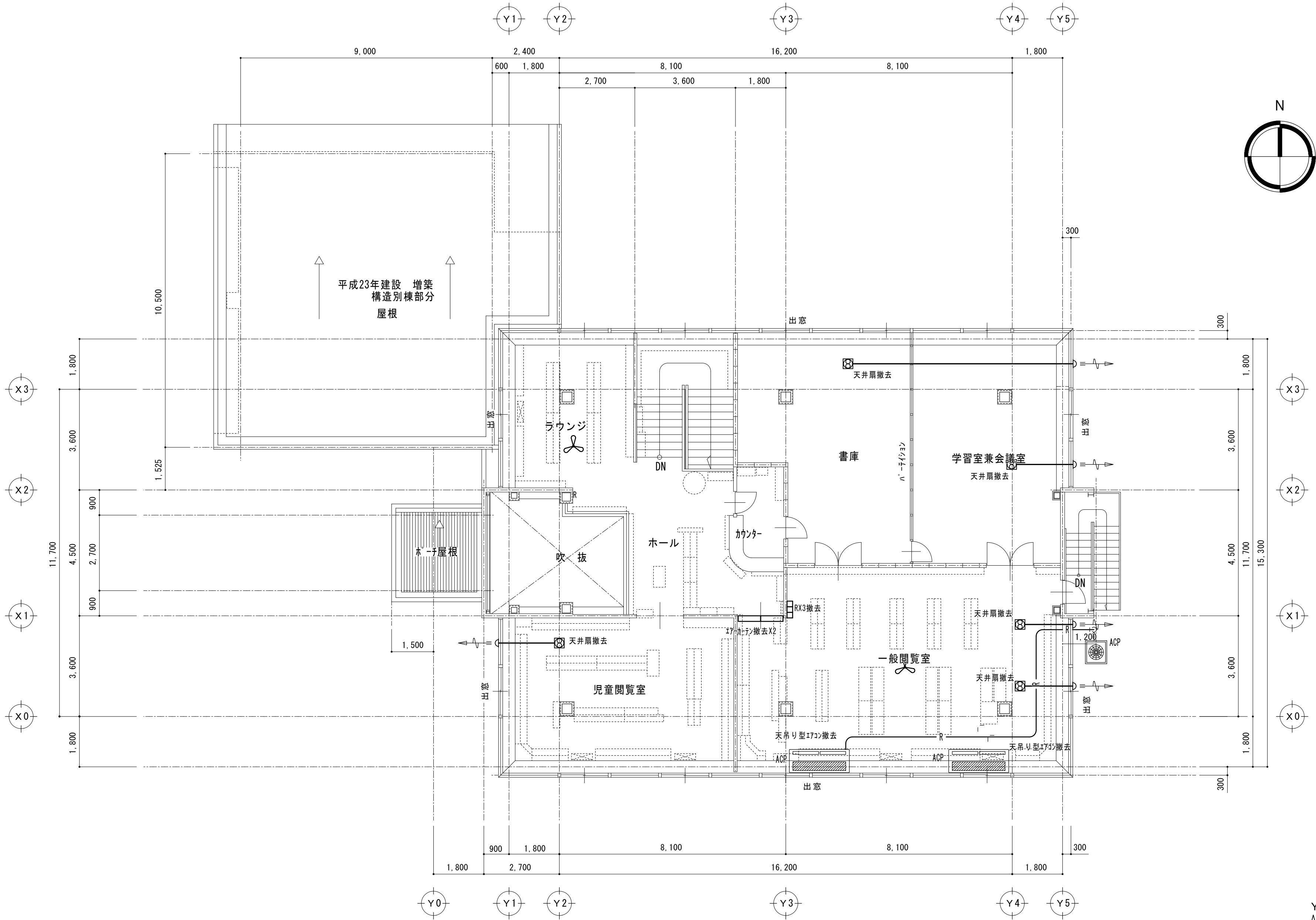
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div>株式会社 創和設計</div> <div>長野県上伊那郡美輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代)</div> <div>長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代)</div> <div>一般建築士 大田登録 第352433号</div> <div>一般建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小 河 豪</div>	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 2階平面図 (暖房設備)	A2:1/100 A3:1/≒141	H 2 8 . 8	設備設計一級建築士 第135007号		
					一般建築士 第135007号 小河 節郎		
					一般建築士 第352433号 小河 豪		



現状・撤去 1 階 平 面 図 1/100



MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div>株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大庭登録 第352433号 一級建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小 河 豪</div>	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 1階平面図 (換気設備)	A2:1/100 A3:1/≒141	H 2 8 . 8	設備設計一級建築士 第135007号 一級建築士 第135007号 小河 節郎	設備設計一級建築士 第352433号 小河 豪 一級建築士 第229029号 伊東 紀典	M-05 / 63




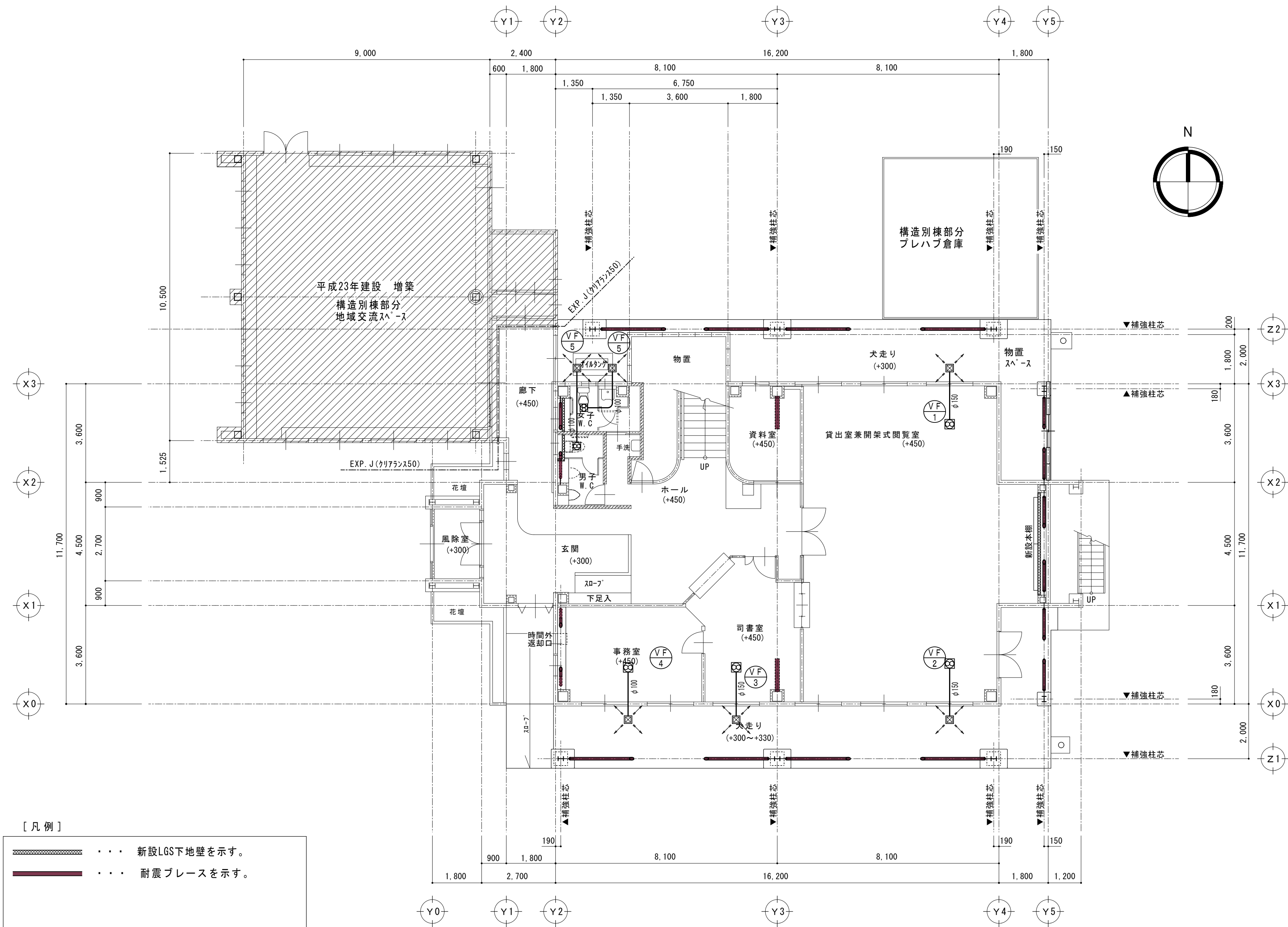
()内は、GLからの床レベルを示す。

現状・撤去 2 階 平 面 図 1/100

[既存仕上仕様]

床：U型デックプレート厚1.6mm＋コンクリート打厚100mm＋モルタル金ゴテ厚40 カベット敷き
壁：メタル下地モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div> 株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大田登録 第352433号 一般建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小河 豪</div>	SHEET NO. <div>M-06 / 63</div>
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 2階平面図 (空調換気設備)	A2:1/100 A3:1/≒141	H28.8	設備設計一級建築士 第13507号 一般建築士 第13507号 小河 節郎 設備設計一級建築士 第35143号 小河 豪 設備設計一級建築士 第22929号 伊東 和典		



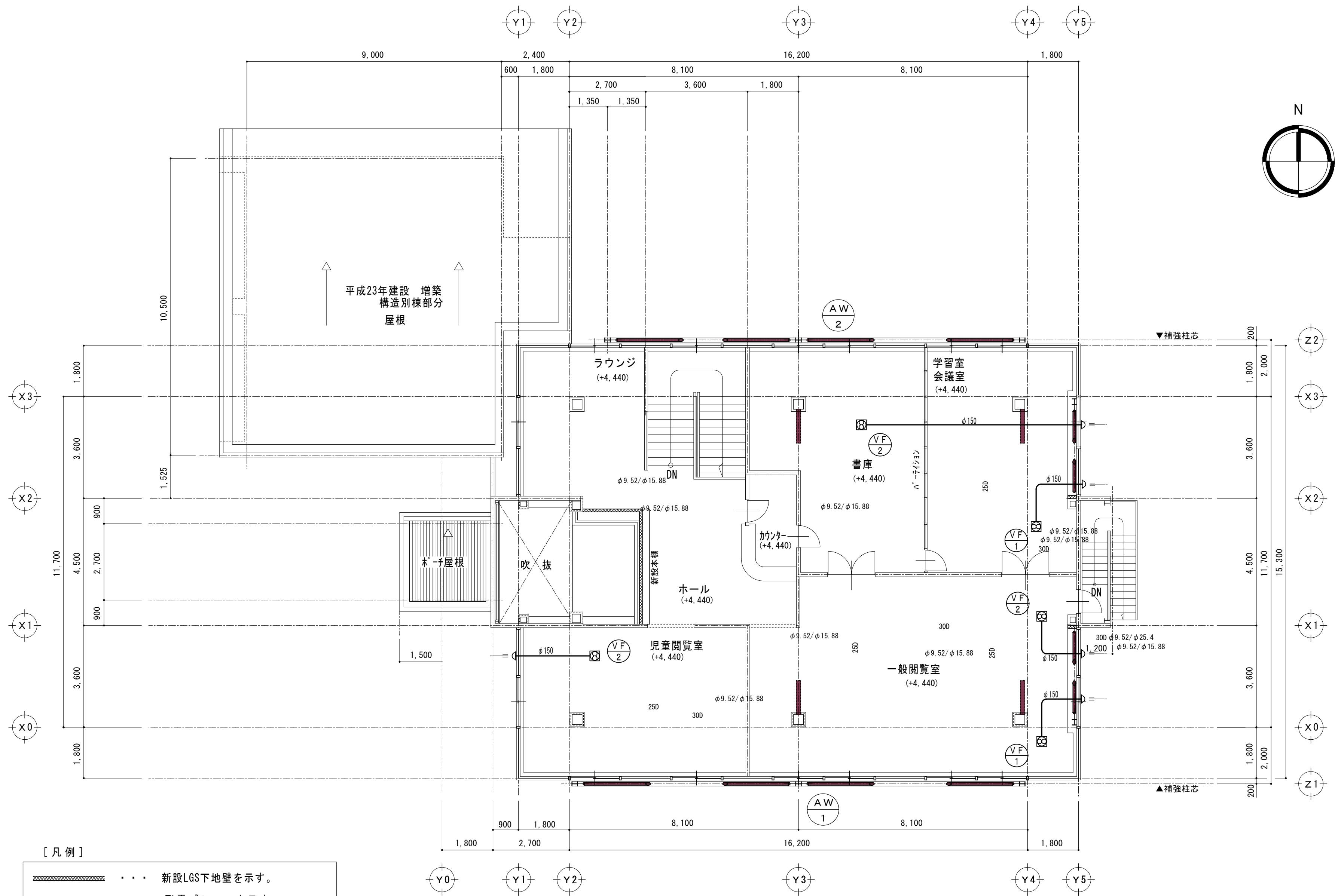
[凡 例]

・・・ 新設LGS下地壁を示す。

・・・ 耐震ブレースを示す。

()内は、GLからの床レベルを示す。

1 階 改修後 平 面 図 1/100



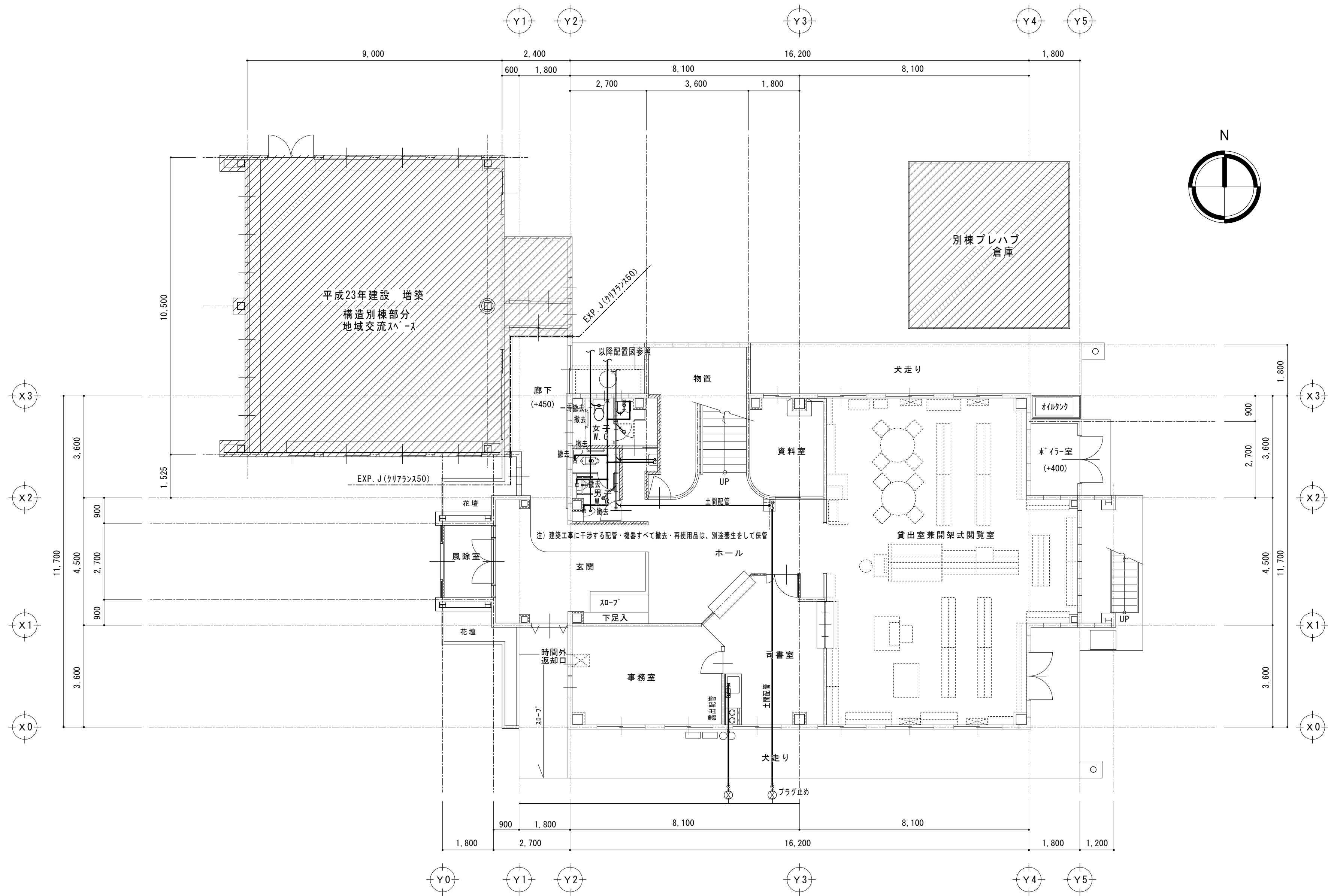
[凡 例]

..... 新設LGS下地壁を示す。

..... 耐震ブレースを示す。

()内は、GLからの床レベルを示す。

改修後	2 階 平 面 図	1/100
-----	-----------	-------



現状・撤去 1 階 平面図 1/100

MEMORANDUM		TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<div>創和株式会社 創和設計</div> <div>長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代)</div> <div>長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代)</div> <div>一般建築士 大田登録 第352433号</div> <div>一般建築士事務所登録第 (上伊) F-87121 号 小河 豪</div>	SHEET NO. M-09 / 63
		平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 1階平面図 (衛生設備)	A2:1/100 A3:1/≒141	H28.8	設備設計一級建築士 第135007号 一般建築士 第135007号 小河 節郎		
						一般建築士 第352433号 小河 豪		
						一般建築士 第229293号 伊東 紀典		

